

**第2次まんのう町総合計画に向けた  
住民意識調査結果報告書**

**まんのう町**

# 目次

1. 調査の概要 .....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の設計 .....	1
(3) 報告書の見方 .....	1
2. 調査結果分析【一般アンケート】 .....	2
1 属性 .....	2
2 町全体に関わる満足度について .....	12
3 まちづくりの方向について .....	32
4 産業振興について .....	36
5 健康について .....	43
6 情報通信について .....	45
7 地域活動について .....	50
8 少子化対策について .....	52
9 教育について .....	57
10 各施策の満足度及び重要度について .....	67
11 自由意見 .....	72
3. 調査結果分析【中学生アンケート】 .....	74
1 あなた自身のことについて .....	74
2 「暮らしやすさ」について .....	77
3 地域活動について .....	80
4 「まち」の満足度について .....	83
5 これからの「まんのう町」と「あなたの将来」について .....	85
6 自由意見 .....	90
4. 調査票 .....	93
1 一般アンケート .....	93
2 中学生アンケート .....	109

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、「第2次まんのう町総合計画（平成32～41年度）」の策定にあたり、本町に居住する住民が、町の現状をどのようにとらえ、将来どのような町になることを希望し、どのような暮らしを望んでいるか、具体的にどのようにまちづくりを進めていくべきかなどを把握するために実施した。

## (2) 調査の設計

調査地域	まんのう町全域
調査対象	町内在住の18歳以上の男女及び満濃中学校全生徒
調査方法	郵送配付・回収
有効対象者数	2,000名(町内在住の18歳以上の男女/住民基本台帳から無作為抽出) 450名(満濃中学校全生徒)
調査期間	平成30年11月
有効回収数(一般)	868票
有効回収率(一般)	43.4%
有効回収数(中学生)	412票
有効回収率(中学生)	91.6%

## (3) 報告書の見方

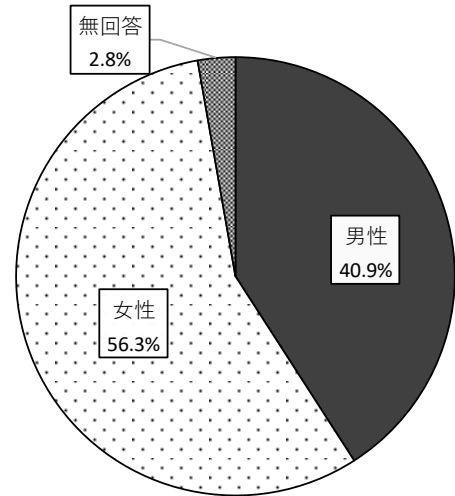
- 「割合」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、割合の合計が100%にならないことがある。
- 回答者を限定する設問（特定の設問において特定の選択肢を回答した方を対象としているため）は、回答者数が調査対象者数を下回る。
- 第1次まんのう町総合計画策定時の住民意識調査（平成18年実施）と同じ設問については、前回調査結果を併記している。
- 設問ごとの単純集計のほかに、属性ごとの傾向が見られたクロス集計を掲載している。また、クロス集計は、属性無回答者を除外して集計しているため、回答者総数と一致しない。

## 2. 調査結果分析【一般アンケート】

### 1 属性

#### 1. 性別

	人数(人)	割合(%)
男性	355	40.9
女性	489	56.3
無回答	24	2.8
全体	868	100.0



回答者の性別は、女性の割合のほうが15.4ポイント高くなっている。

#### 2. 年齢

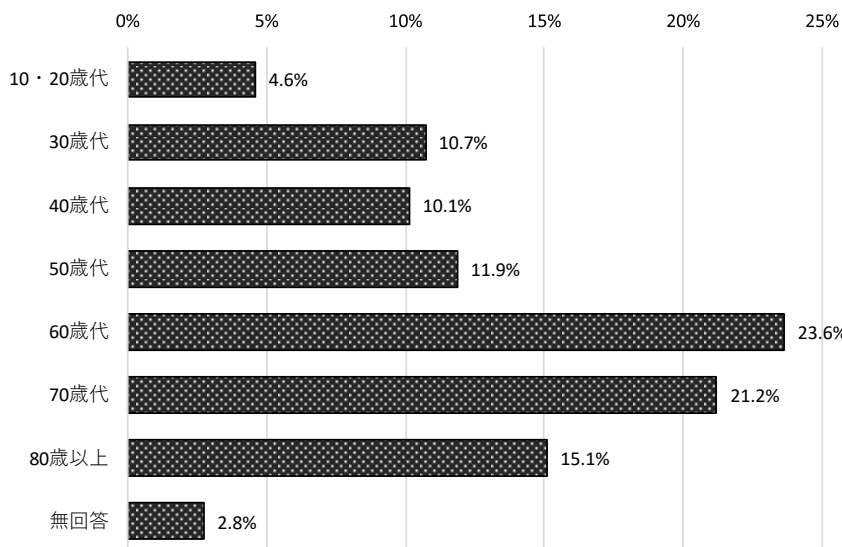
	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	40	4.6
30歳代	93	10.7
40歳代	88	10.1
50歳代	103	11.9
60歳代	205	23.6
70歳代	184	21.2
80歳以上	131	15.1
無回答	24	2.8
全体	868	100.0

住民基本台帳	
平成30年4月1日	
	16.9
	11.2
	12.6
	12.3
	18.4
	13.5
	15.0
	100.0

回答者の年齢層は、60歳代の割合が高くなっている。次に70歳代の割合が高くなっている。

回答者に占める60歳以上の割合は59.9%となっている。

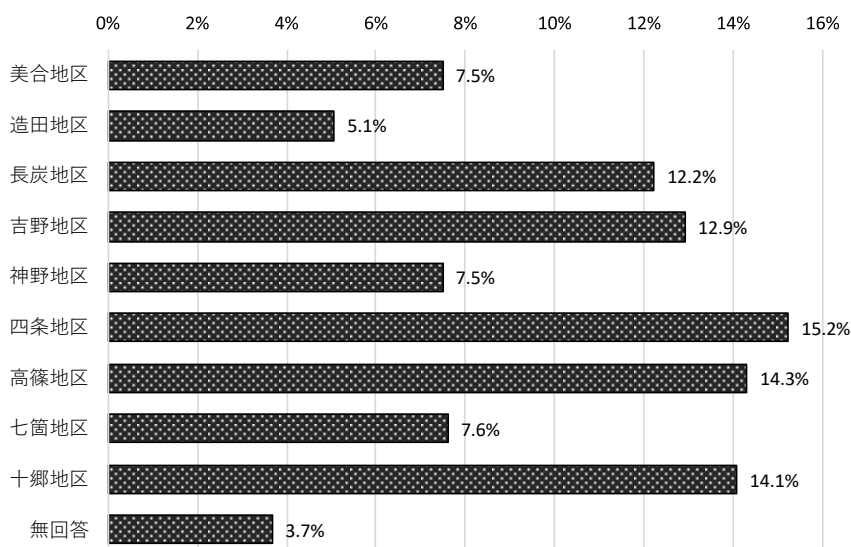
住民基本台帳平成30年4月1日実際の住民の年齢構成と比較すると「60歳代」、「70歳代」の回答者の比率が高くなっている。



### 3. 居住地区

	人数(人)	割合(%)
美合地区	65	7.5
造田地区	44	5.1
長炭地区	106	12.2
吉野地区	112	12.9
神野地区	65	7.5
四条地区	132	15.2
高篠地区	124	14.3
七箇地区	66	7.6
十郷地区	122	14.1
無回答	32	3.7
全体	868	100.0

回答者の居住地区は、四条地区、高篠地区、十郷地区の順に割合が高くなっている。



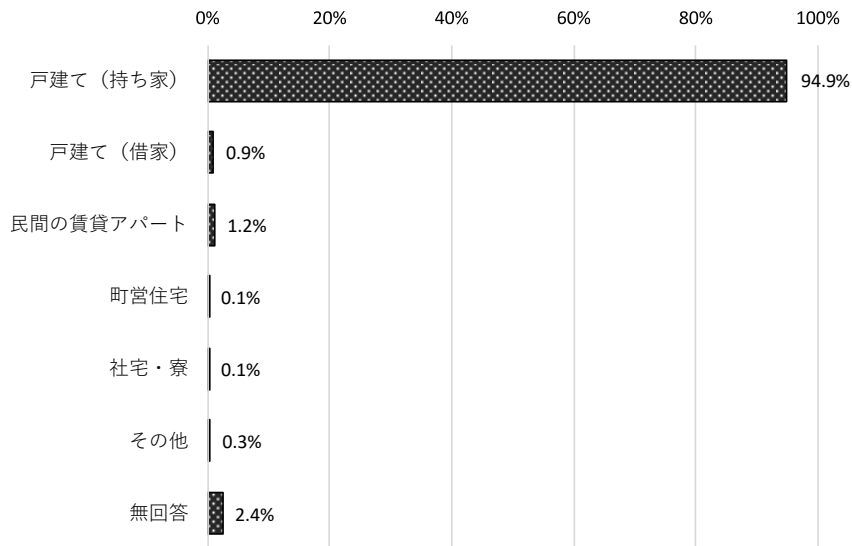
### 4. 住居

	人数(人)	割合(%)
一戸建て(持ち家)	824	94.9
一戸建て(借家)	8	0.9
民間の賃貸アパート	10	1.2
町営住宅	1	0.1
社宅・寮	1	0.1
その他	3	0.3
無回答	21	2.4
全体	868	100.0

回答者の住居は、「一戸建て(持ち家)」が最も多く94.9%、「民間の賃貸アパート」が1.2%の順に割合が高くなっている。

年齢層別にみると、10・20歳代における「一戸建て(賃貸)」「民間の賃貸アパート」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

居住年数別にみると、まんのう町に10年以上居住すると「一戸建て(持家)」の割合が90%をこえる傾向がうかがえる。



### 【年齢層別】

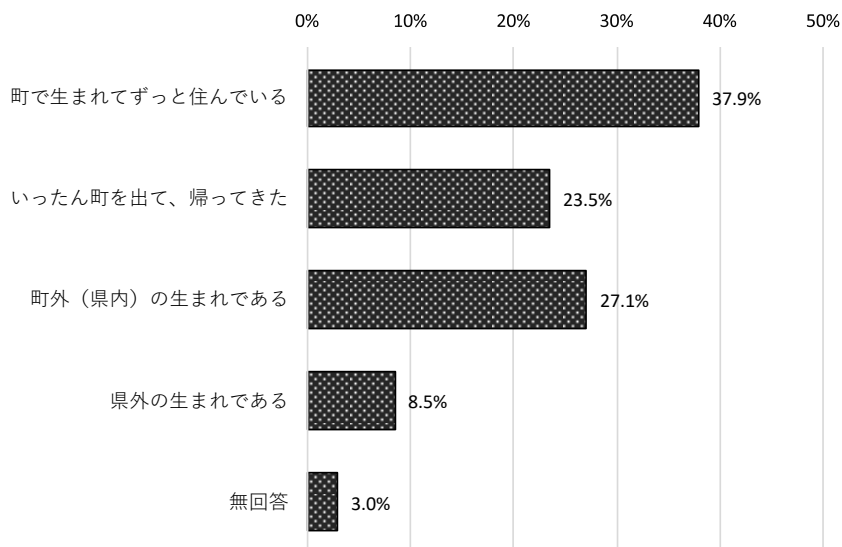
	人数(人)	割合 (%)						
		一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	民間の 賃貸ア パート	町営住宅	社宅・寮	その他	無回答
全体	868	94.9	0.9	1.2	0.1	0.1	0.3	2.4
10・20 歳代	40	90.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 歳代	93	93.5	1.1	4.3	0.0	0.0	0.0	1.1
40 歳代	88	94.3	2.3	2.3	0.0	0.0	1.1	0.0
50 歳代	103	98.1	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
60 歳代	205	99.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
70 歳代	184	98.4	0.0	1.1	0.0	0.0	0.5	0.0
80 歳以上	131	97.7	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8

### 【居住年数別】

	人数(人)	割合 (%)						
		一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	民間の 賃貸ア パート	町営住宅	社宅・寮	その他	無回答
全体	868	94.9	0.9	1.2	0.1	0.1	0.3	2.4
1年未満	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
1年以上5年未満	38	86.8	5.3	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5年以上 10 年未満	47	87.2	6.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0
10 年以上 20 年未満	73	95.9	0.0	1.4	0.0	0.0	2.7	0.0
20 年以上 30 年未満	120	96.7	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
30 年以上	559	99.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4

## 5. 居住歴

	人数(人)	割合(%)	前回調査 (%)
町で生まれてずっと住んでいる	329	37.9	43.6
いったん町を出て、帰ってきた	204	23.5	23.6
町外(県内)の生まれである	235	27.1	24.9
県外の生まれである	74	8.5	7.3
無回答	26	3.0	0.6
全体	868	100.0	



回答者のうち、「町で生まれてずっと住んでいる」の割合が最も高くなっているが、前回調査と比較すると、5.7ポイント減少している。また、最も割合が上昇しているのは、「町外(県内)の生まれである」で2.2ポイントとなっている。

## 6. 居住年数

	人数 (人)	割合 (%)
1年未満	6	0.7
1年以上 5年未満	38	4.4
5年以上 10年未満	47	5.4
10年以上 20年未満	73	8.4
20年以上 30年未満	120	13.8
30年以上	559	64.4
無回答	25	2.9
全体	868	100.0

### 7-1. 転入(転居)前のお住まい ※回答があった項目のみ

	人数(人)	割合(%)
丸亀市	2	33.3
その他	4	66.7
全体	6	100.0

### 7-2. 現在のお住まいに転入(転居)した理由 ※回答があった項目のみ

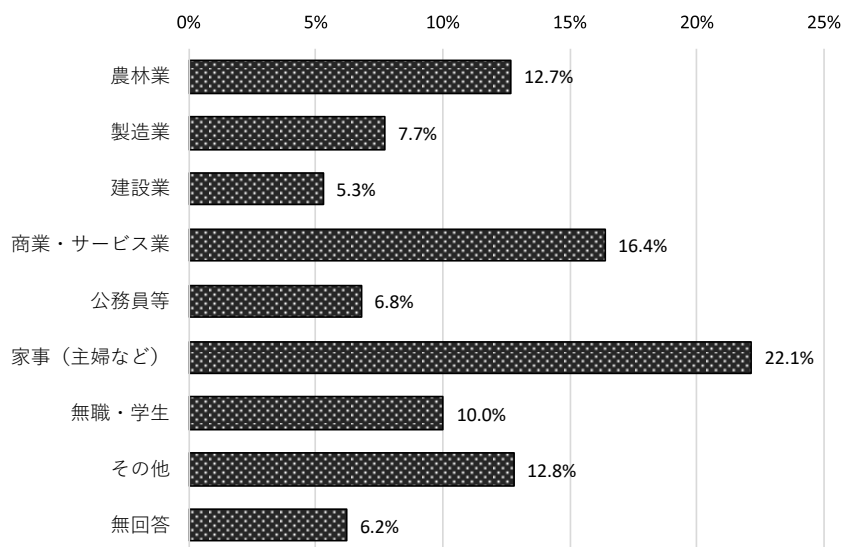
	人数(人)	割合(%)
勤務地または通学地までの交通が便利だと思った	2	33.3
自然環境が良いと思った	1	16.7
家賃や住宅分譲地など、適当な価格の物件があった	1	16.7
近くに親類・友人が住んでいた	1	16.7
その他	1	16.7
全体	6	100.0

居住年数が「1年未満」と回答された方に現在の住居に転入転居した理由を聞いたところ、「勤務地または通学地までの交通が便利だと思った」「自然環境が良いと思った」「屋」家賃や住宅分譲地など、適当な価格の物件があった」など、主に「住むこと」に着目した意見がうかがえる。



## 8. 職業等(産業分野)

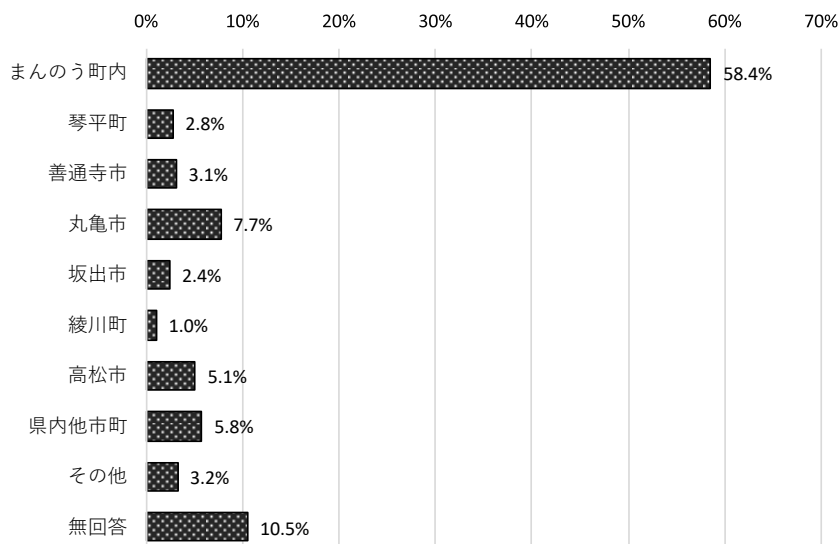
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
農林業	110	12.7	17.7
製造業	67	7.7	9.6
建設業	46	5.3	4.7
商業・サービス業	142	16.4	14.1
公務員等	59	6.8	5.2
家事(主婦など)	192	22.1	18.6
無職・学生	87	10.0	11.1
その他	111	12.8	13.5
無回答	54	6.2	2.5
全体	868	100.0	



回答者のうち、「家事(主婦など)」の割合が最も高くなっている。前回調査と比較すると、最も割合が減少しているのは「農林業」で5.0ポイントとなっている。また、最も割合が上昇しているのは、「家事(主婦など)」で3.5ポイントとなっている。

## 9. 主な就業地・生活地

	人数(人)	割合(%)	前回調査 (%)
まんのう町内	507	58.4	58.6
琴平町	24	2.8	3.6
善通寺市	27	3.1	4.0
丸亀市	67	7.7	9.2
坂出市	21	2.4	
綾川町	9	1.0	
高松市	44	5.1	4.7
県内他市町	50	5.8	
その他	28	3.2	15.7
無回答	91	10.5	4.2
全体	868	100.0	



回答者のうち、「まんのう町」が 58.4%を占める。前回調査と比較すると、その割合は、0.2 ポイント低くなっている。年齢別にみると、60 歳以上の「まんのう町」の割合は 60%よりも高くなっている。10～40 歳代の「丸亀市」の割合は 10%よりも高くなっている。

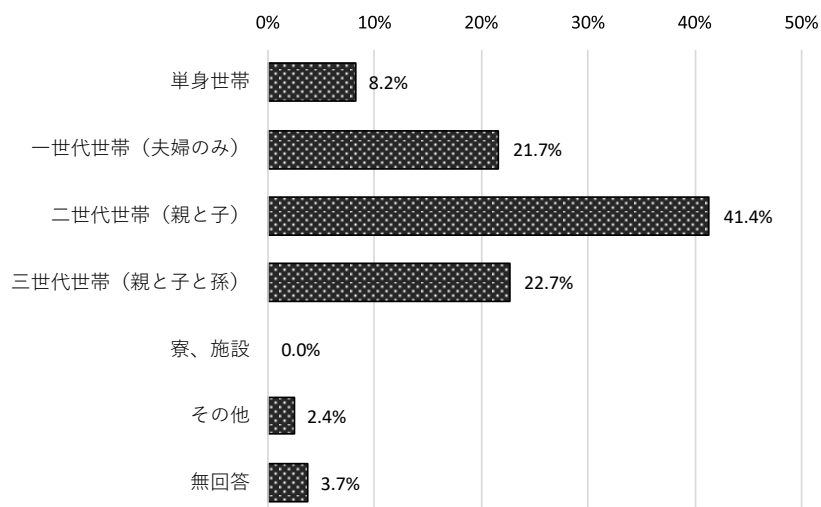
## 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)									
		まんのう町内	琴平町	普通寺市	丸亀市	坂出市	綾川町	高松市	県内他市町	その他	無回答
全体	868	58.4	2.8	3.1	7.7	2.4	1.0	5.1	5.8	3.2	10.5
10・20 歳代	40	40.0	2.5	2.5	15.0	7.5	5.0	12.5	7.5	5.0	2.5
30 歳代	93	36.6	2.2	7.5	22.6	3.2	4.3	8.6	12.9	1.1	1.1
40 歳代	88	44.3	4.5	5.7	13.6	4.5	2.3	5.7	15.9	2.3	1.1
50 歳代	103	45.6	3.9	4.9	9.7	4.9	1.0	12.6	8.7	3.9	4.9
60 歳代	205	64.4	3.9	2.9	5.9	1.5	0.0	4.4	3.9	5.4	7.8
70 歳代	184	76.1	2.2	1.1	2.7	1.6	0.0	1.1	1.6	2.2	11.4
80 歳以上	131	72.5	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	1.5	0.8	2.3	20.6

## 10. 家族構成

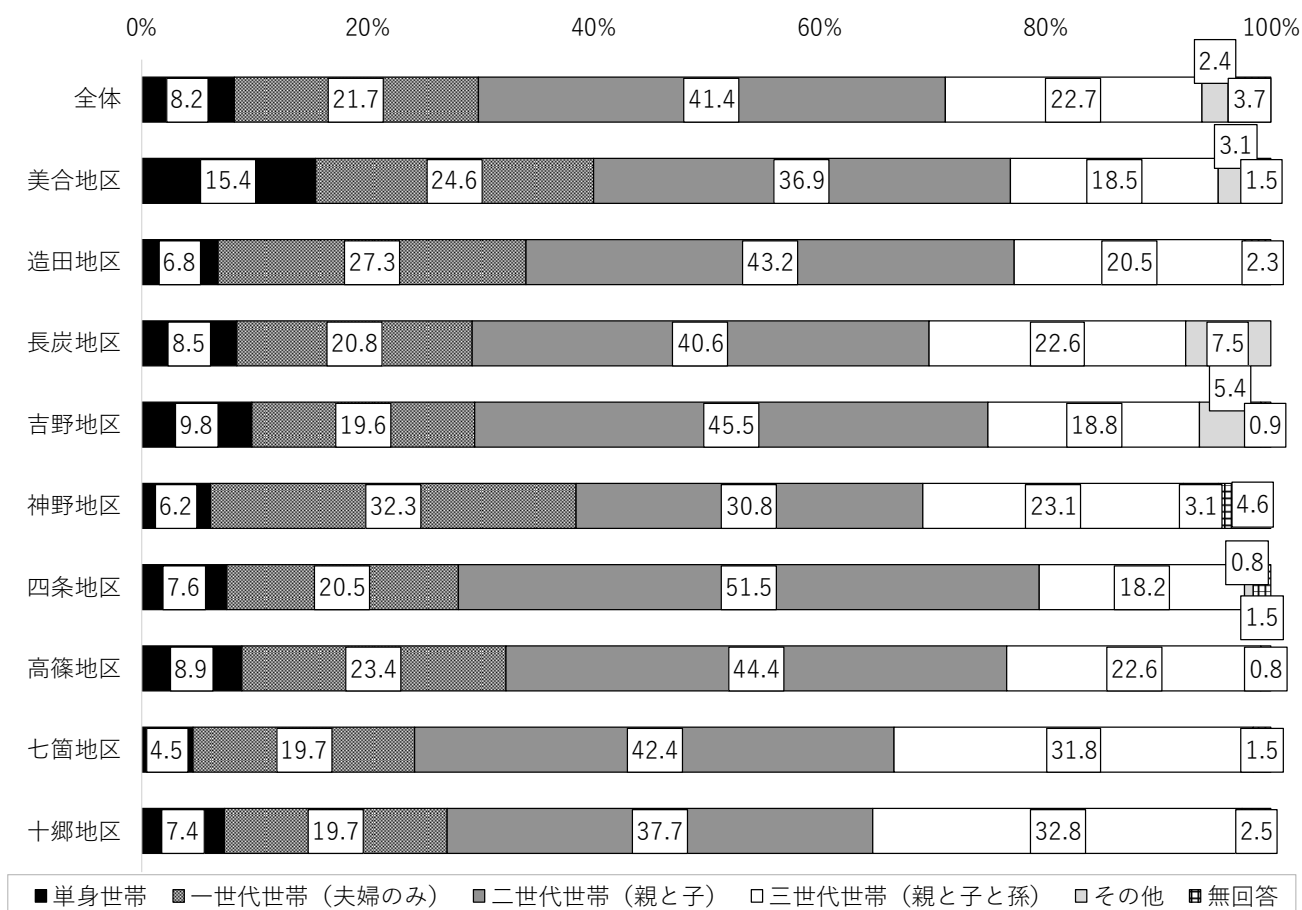
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
単身世帯	71	8.2	6.5
一世代世帯(夫婦のみ)	188	21.7	20.3
二世世代世帯(親と子)	359	41.4	38.3
三世世代世帯(親と子と孫)	197	22.7	31.9
寮、施設	0	0.0	1.3
その他	21	2.4	0.4
無回答	32	3.7	1.3
全体	868	100.0	

回答者のうち、いわゆる核家族が63.1%（「夫婦のみ」と「親と子」の合計）を占める。前回調査と比較すると、核家族の割合は、4.5ポイント高くなっている。地区別（次のページ）にみると、美合地区において「単身世帯」の割合は町内で唯一15%をこえている。七箇地区、十郷地区において三世代以上の世帯の割合が30%をこえている。



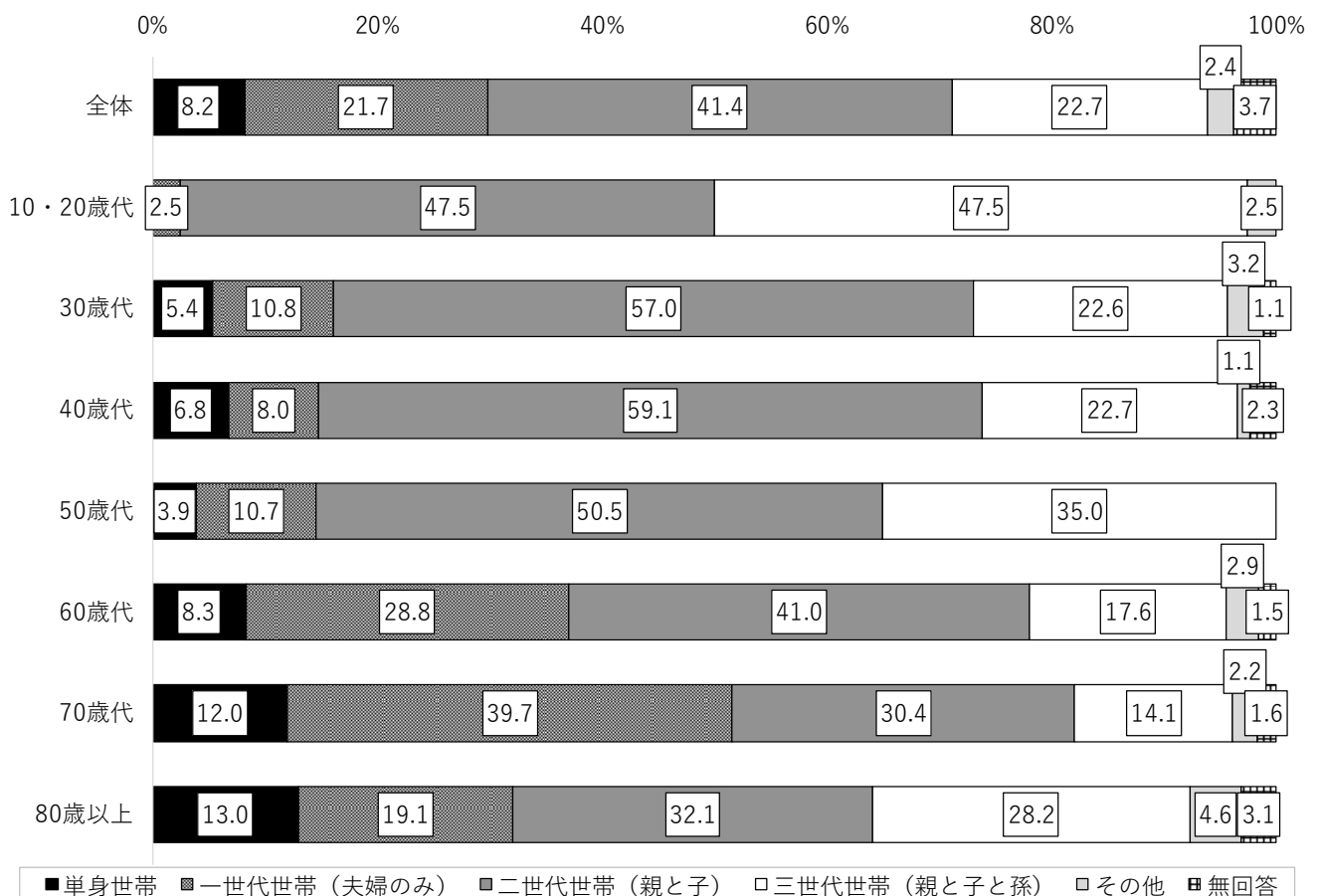
## 【地区別】

	人数(人)	割合(%)						
		単身世帯	一世代世帯(夫婦のみ)	二世代会世帯(親と子)	三世代会世帯(親と子と孫)	寮、施設	その他	無回答
全体	868	8.2	21.7	41.4	22.7	0.0	2.4	3.7
美合地区	65	15.4	24.6	36.9	18.5	0.0	3.1	1.5
造田地区	44	6.8	27.3	43.2	20.5	0.0	0.0	2.3
長炭地区	106	8.5	20.8	40.6	22.6	0.0	7.5	0.0
吉野地区	112	9.8	19.6	45.5	18.8	0.0	5.4	0.9
神野地区	65	6.2	32.3	30.8	23.1	0.0	3.1	4.6
四条地区	132	7.6	20.5	51.5	18.2	0.0	0.8	1.5
高篠地区	124	8.9	23.4	44.4	22.6	0.0	0.8	0.0
七箇地区	66	4.5	19.7	42.4	31.8	0.0	0.0	1.5
十郷地区	122	7.4	19.7	37.7	32.8	0.0	0.0	2.5



## 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)						
		単身世帯	一世代世帯(夫婦のみ)	二世代会世帯(親と子)	三世代会世帯(親と子と孫)	寮、施設	その他	無回答
全体	868	8.2	21.7	41.4	22.7	0.0	2.4	3.7
10・20歳代	40	0.0	2.5	47.5	47.5	0.0	2.5	0.0
30歳代	93	5.4	10.8	57.0	22.6	0.0	3.2	1.1
40歳代	88	6.8	8.0	59.1	22.7	0.0	1.1	2.3
50歳代	103	3.9	10.7	50.5	35.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	205	8.3	28.8	41.0	17.6	0.0	2.9	1.5
70歳代	184	12.0	39.7	30.4	14.1	0.0	2.2	1.6
80歳以上	131	13.0	19.1	32.1	28.2	0.0	4.6	3.1



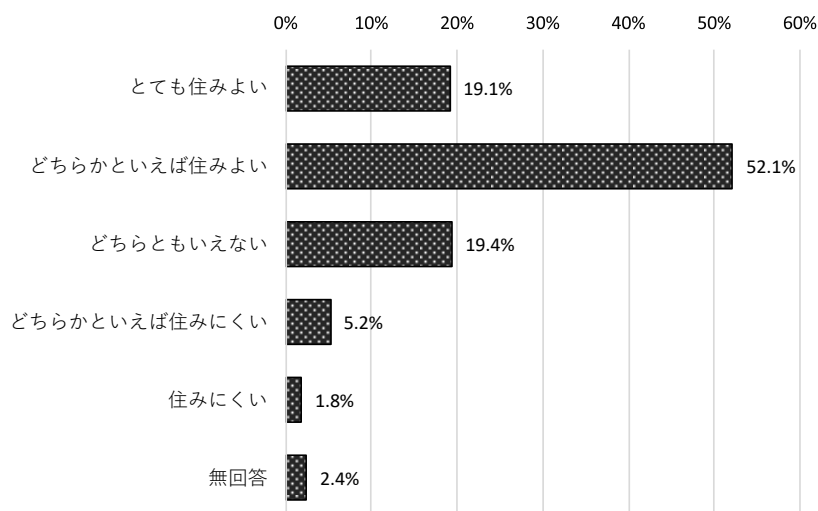
## 2 町全体に関わる満足度について

### 1. まんのう町は住みよいまちか—調査票問2

#### 【全体】

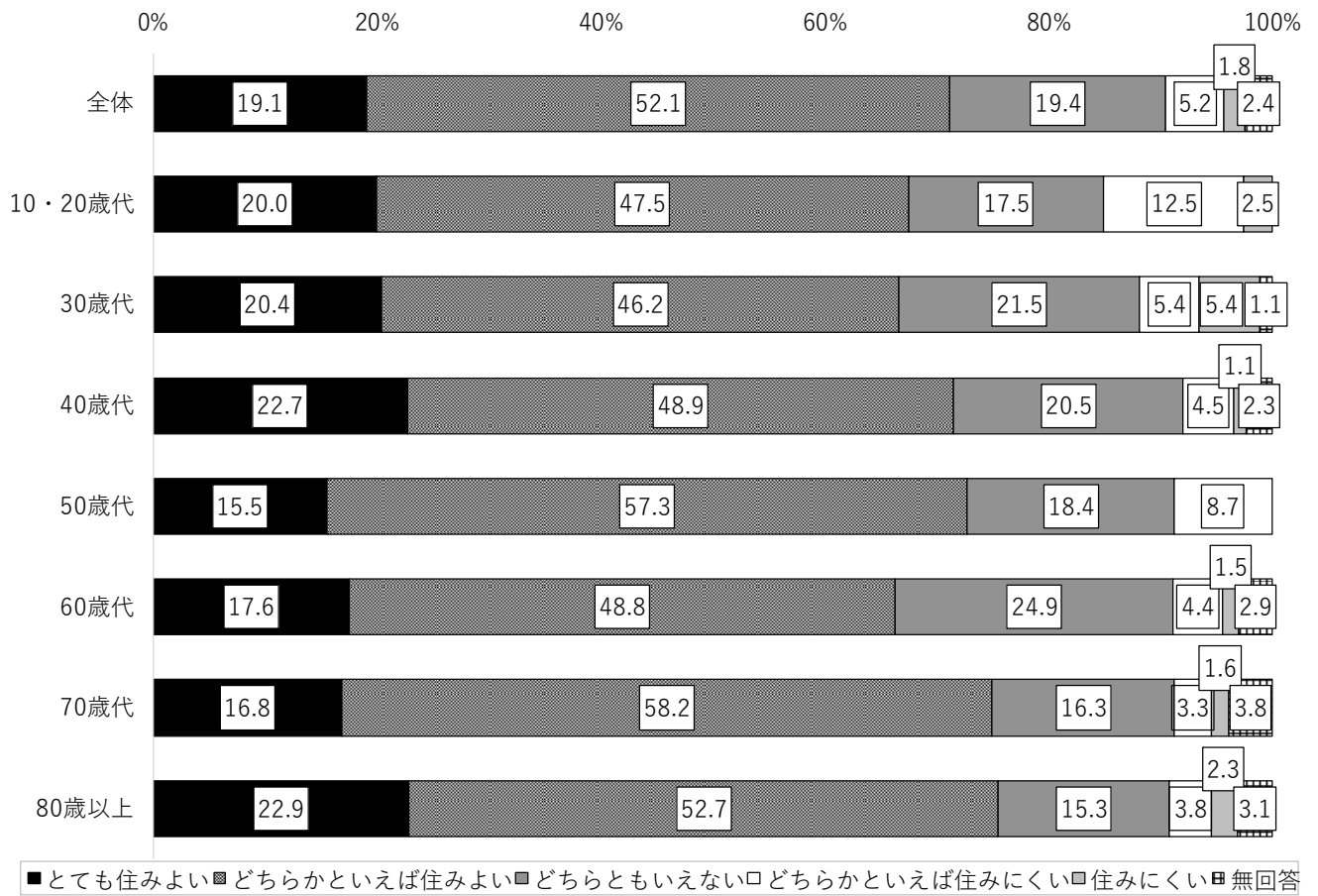
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
とても住みよい	166	19.1	14.5
どちらかといえば住みよい	452	52.1	51.8
どちらともいえない	168	19.4	24.5
どちらかといえば住みにくい	45	5.2	6.4
住みにくい	16	1.8	2.1
無回答	21	2.4	0.7
全体	868	100.0	

回答者のうち、まんのう町を好意的に思っている方の割合(「とても住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計)が71.2%となっている。年齢層ごとにみると、10・20歳代は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」と思っている方の割合の合計が15.0%と高くなっている。



#### 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)					
		とても住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体	868	19.1	52.1	19.4	5.2	1.8	2.4
10・20歳代	40	20.0	47.5	17.5	12.5	2.5	0.0
30歳代	93	20.4	46.2	21.5	5.4	5.4	1.1
40歳代	88	22.7	48.9	20.5	4.5	1.1	2.3
50歳代	103	15.5	57.3	18.4	8.7	0.0	0.0
60歳代	205	17.6	48.8	24.9	4.4	1.5	2.9
70歳代	184	16.8	58.2	16.3	3.3	1.6	3.8
80歳以上	131	22.9	52.7	15.3	3.8	2.3	3.1



## 2. 住む場所で重要な要素として感じている点—調査票問3

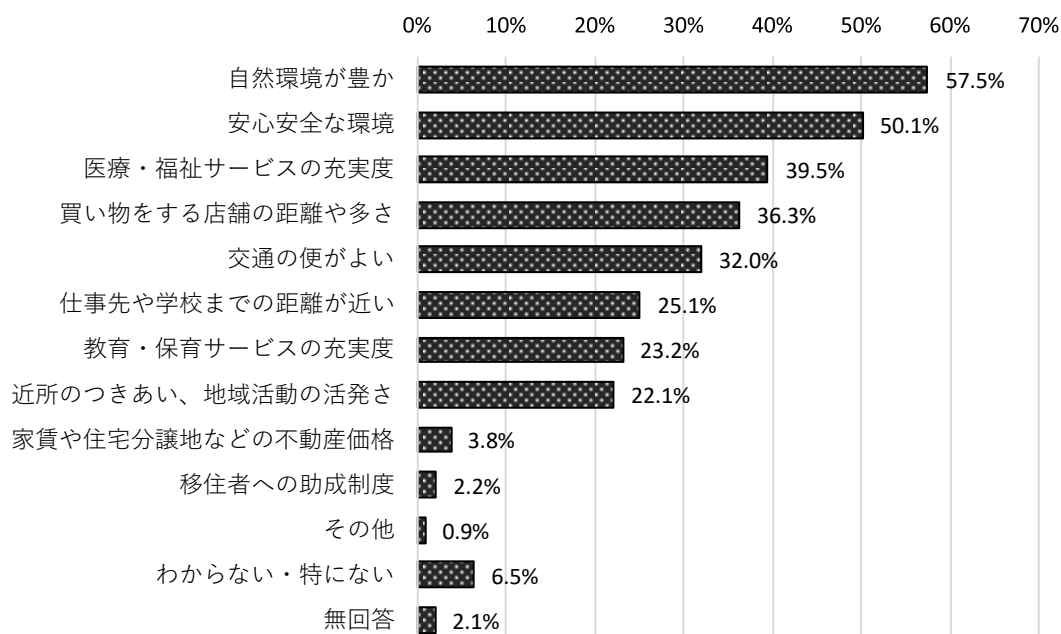
### 【全体】

	人数(人)	割合(%)
自然環境が豊か	499	57.5
安心安全な環境	435	50.1
医療・福祉サービスの充実度	343	39.5
買い物をする店舗の距離や多さ	315	36.3
交通の便がよい	278	32.0
仕事先や学校までの距離が近い	218	25.1
教育・保育サービスの充実度	201	23.2
近所のつきあい、地域活動の活発さ	192	22.1
家賃や住宅分譲地などの不動産価格	33	3.8
移住者への助成制度	19	2.2
その他	8	0.9
わからない・特にない	56	6.5
無回答	18	2.1
回答数	2,615	
回答者数	868	

※回答数とは、複数の回答ができる設問において、すべての回答を合計したものです。

回答者数とは、複数の回答ができる設問において、回答した人数を合計したものです。

複数回答ができる設問における割合(%)は、「回答者数に対する割合」です。(以下全て同じ)。





【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)						
		自然環境が豊か	交通の便がよい	仕事先や学校までの距離が近い	安心安全な環境	教育・保育サービスの充実度	医療・福祉サービスの充実度	家賃や住宅分譲地などの不動産価格
全体	868	57.5	32.0	25.1	50.1	23.2	39.5	3.8
10・20 歳代	40	47.5	32.5	27.5	42.5	22.5	30.0	20.0
30 歳代	93	49.5	45.2	43.0	48.4	41.9	37.6	8.6
40 歳代	88	47.7	37.5	37.5	48.9	34.1	43.2	3.4
50 歳代	103	59.2	40.8	35.9	55.3	33.0	44.7	5.8
60 歳代	205	59.5	32.2	22.9	50.2	20.5	40.5	1.5
70 歳代	184	60.3	26.1	15.8	51.1	12.0	36.4	0.5
80 歳以上	131	62.6	19.1	12.2	48.9	14.5	38.2	2.3

	人数(人)	割合(%)					
		買い物をする店舗の距離や多さ	移住者への助成制度	近所のつきあい、地域活動の活発さ	その他	わからない・特にない	無回答
全体	868	36.3	2.2	22.1	0.9	6.5	2.1
10・20 歳代	40	42.5	5.0	15.0	2.5	7.5	0.0
30 歳代	93	40.9	6.5	16.1	1.1	3.2	0.0
40 歳代	88	38.6	2.3	19.3	2.3	1.1	0.0
50 歳代	103	43.7	1.9	14.6	1.0	1.9	0.0
60 歳代	205	35.6	0.5	23.9	0.5	7.3	2.9
70 歳代	184	37.5	2.2	28.3	1.1	6.5	3.8
80 歳以上	131	24.4	1.5	25.2	0.0	14.5	3.1

## 【地区別】

	人数(人)	割合(%)						
		自然環境が豊か	交通の便がよい	仕事先や学校までの距離が近い	安心安全な環境	教育・保育サービスの充実度	医療・福祉サービスの充実度	家賃や住宅分譲地などの不動産価格
全体	868	57.5	32.0	25.1	50.1	23.2	39.5	3.8
美合地区	65	66.2	26.2	15.4	41.5	18.5	32.3	1.5
造田地区	44	47.7	29.5	22.7	52.3	20.5	34.1	4.5
長炭地区	106	59.4	28.3	23.6	50.9	18.9	34.0	5.7
吉野地区	112	61.6	26.8	23.2	48.2	26.8	44.6	2.7
神野地区	65	58.5	26.2	21.5	46.2	18.5	38.5	3.1
四条地区	132	53.8	43.2	36.4	59.1	27.3	46.2	5.3
高篠地区	124	51.6	38.7	36.3	53.2	27.4	46.0	4.8
七箇地区	66	68.2	24.2	19.7	47.0	30.3	34.8	4.5
十郷地区	122	52.5	33.6	17.2	48.4	18.0	34.4	1.6

	人数(人)	割合(%)					
		買い物をする店舗の距離や多さ	移住者への助成制度	近所のつきあい、地域活動の活発さ	その他	わからない・特にな	無回答
全体	868	36.3	2.2	22.1	0.9	6.5	2.1
美合地区	65	20.0	0.0	26.2	1.5	6.2	6.2
造田地区	44	29.5	0.0	18.2	2.3	11.4	4.5
長炭地区	106	31.1	0.9	25.5	0.0	11.3	0.0
吉野地区	112	36.6	1.8	22.3	0.9	8.9	0.9
神野地区	65	35.4	1.5	24.6	0.0	3.1	3.1
四条地区	132	56.1	4.5	20.5	0.0	5.3	0.8
高篠地区	124	38.7	4.0	18.5	1.6	3.2	0.8
七箇地区	66	22.7	3.0	16.7	4.5	4.5	0.0
十郷地区	122	35.2	0.8	27.0	0.0	5.7	4.9

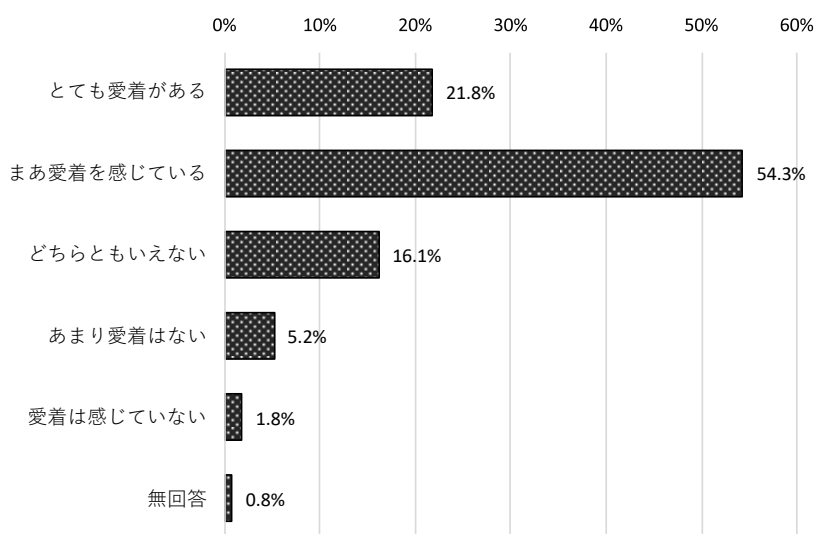
回答者のうち、住む場所で必要な要素として感じているのは「自然環境が豊か」が 57.5%となっている。年齢層ごとにみると年齢を重ねるごとにその傾向は高くなっている。一方で、30～50 歳代のいわゆる子育て世代は「教育・保育サービスの充実度」が他の世代よりも 10 ポイント以上高くなっている。

地区別に見ると、四条地区、高篠地区、七箇地区は「移住者への助成制度」の割合が、他地区に比べて高くなっている。

### 3. まんのう町に愛着を感じているか—調査票問4

#### 【全体】

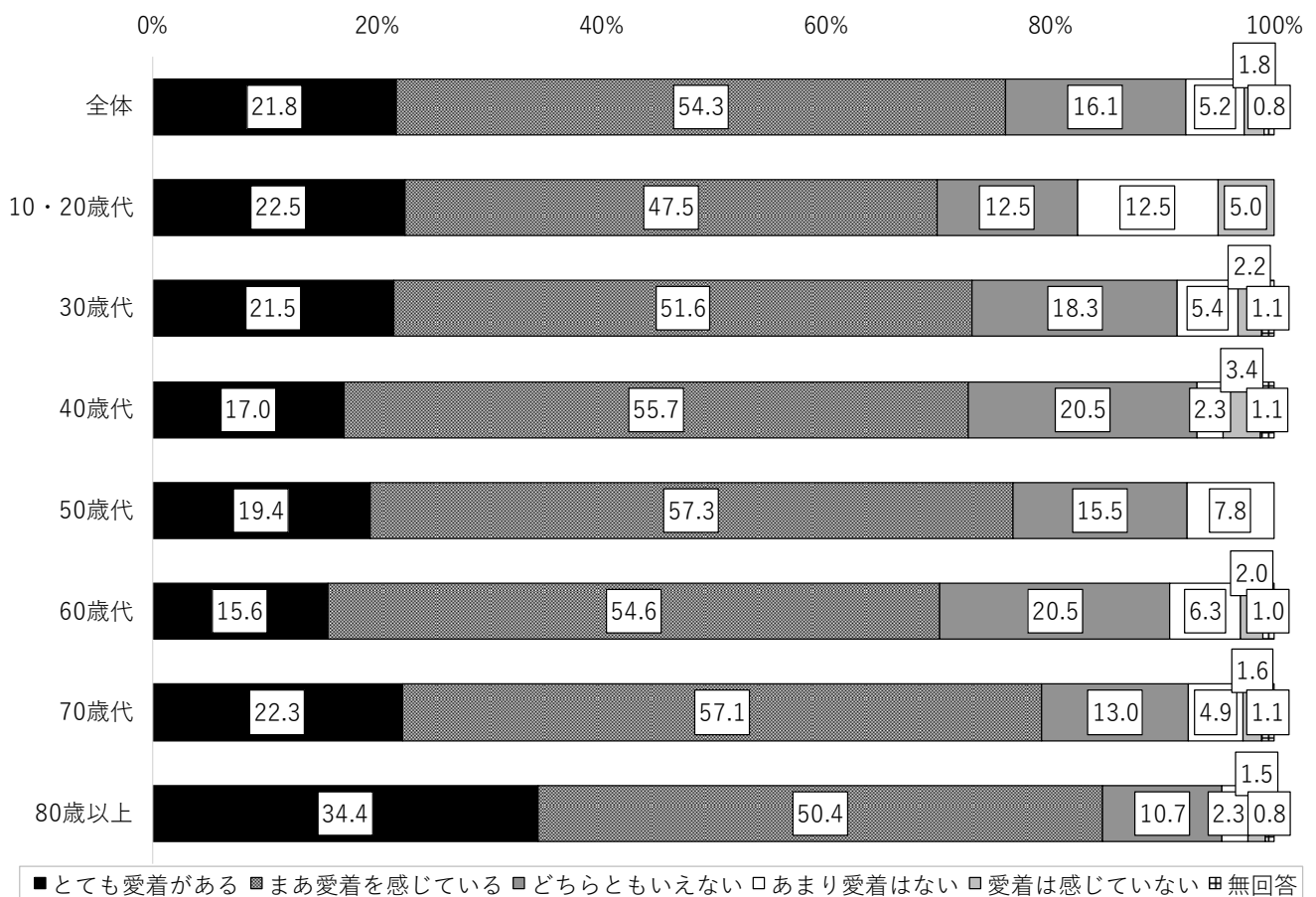
	人数(人)	割合(%)	前回調査 (%)
とても愛着がある	189	21.8	21.7
まあ愛着を感じている	471	54.3	51.0
どちらともいえない	140	16.1	17.7
あまり愛着はない	45	5.2	5.6
愛着は感じていない	16	1.8	3.4
無回答	7	0.8	0.6
全体	868	100.0	



回答者のうち、まんのう町に愛着を感じている(「とても愛着がある」「まあ愛着を感じている」の合計)が76.1%となっており、郷土愛が育まれていることがうかがえる。前回調査よりも3.4ポイント上昇している。一方で、10・20歳代は「あまり愛着はない」、「愛着は感じていない」の割合が他の年代に比べて高くなっており、若い世代にまんのう町への愛着をいかにもってもらうかが課題となっている。

## 【年齢層別】

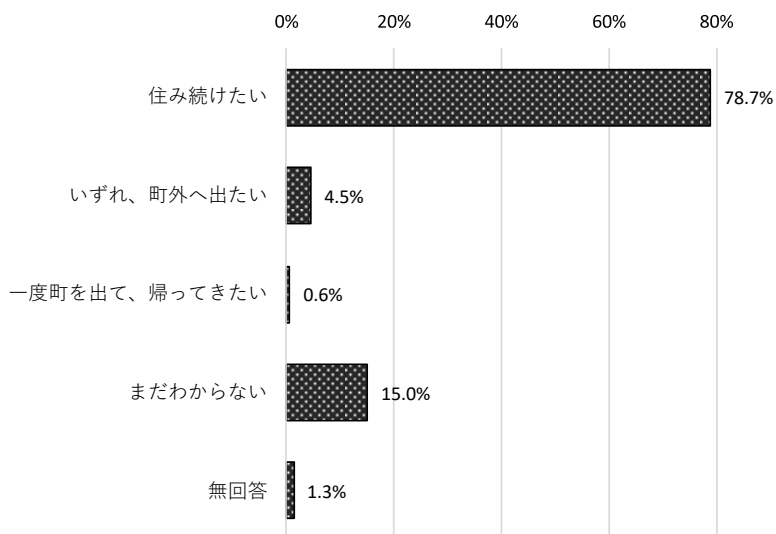
	人数(人)	割合(%)					
		とても愛着がある	まあ愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着はない	愛着は感じていない	無回答
全体	868	21.8	54.3	16.1	5.2	1.8	0.8
10・20歳代	40	22.5	47.5	12.5	12.5	5.0	0.0
30歳代	93	21.5	51.6	18.3	5.4	2.2	1.1
40歳代	88	17.0	55.7	20.5	2.3	3.4	1.1
50歳代	103	19.4	57.3	15.5	7.8	0.0	0.0
60歳代	205	15.6	54.6	20.5	6.3	2.0	1.0
70歳代	184	22.3	57.1	13.0	4.9	1.6	1.1
80歳以上	131	34.4	50.4	10.7	2.3	1.5	0.8



#### 4. これからもまんのう町に住み続けたいか—調査票問5

##### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
住み続けたい	683	78.7	77.2
いずれ、町外へ出たい	39	4.5	5.9
一度町を出て、帰ってきたい	5	0.6	
まだわからない	130	15.0	12.3
無回答	11	1.3	1.8
全体	868	100.0	



##### 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)				
		住み続けたい	いずれ、町外へ出たい	一度町を出て、帰ってきたい	まだわからない	無回答
全体	868	78.7	4.5	0.6	15.0	1.3
10・20 歳代	40	50.0	22.5	2.5	22.5	2.5
30 歳代	93	60.2	7.5	0.0	31.2	1.1
40 歳代	88	75.0	8.0	0.0	15.9	1.1
50 歳代	103	74.8	3.9	1.9	18.4	1.0
60 歳代	205	81.5	2.4	0.0	14.6	1.5
70 歳代	184	84.8	2.7	0.5	12.0	0.0
80 歳以上	131	92.4	0.8	0.0	3.8	3.1

## 【家族構成別】

	人数(人)	割合(%)				
		住み続けたい	いずれ、町外へ出たい	一度町を出て、帰ってきたい	まだわからない	無回答
全体	868	78.7	4.5	0.6	15.0	1.3
単身世帯	71	76.1	2.8	0.0	19.7	1.4
一世代世帯(夫婦のみ)	188	82.4	2.7	0.0	14.4	0.5
二世帯世帯(親と子)	359	78.3	4.7	0.3	16.4	0.3
三世帯世帯(親と子と孫)	197	78.7	6.6	1.0	12.2	1.5
寮、施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	21	57.1	9.5	4.8	19.0	9.5

回答者のうち、「住み続けたい」と回答した方の割合が最も高く78.7%となっている。

年齢別にみると、10・20歳代において「住み続けたい」と回答した方の割合が低く50.0%となっているが、40歳代以上になると「住み続けたい」と回答した方の割合はおおむね75%以上となっている。

家族構成別にみると、「住み続けたい」と回答した方の割合で最も高いのは「一世代世帯(夫婦のみ)」で82.4%となっている。

5. 将来的にまんのう町外へ引っ越す予定があるか—調査票問6

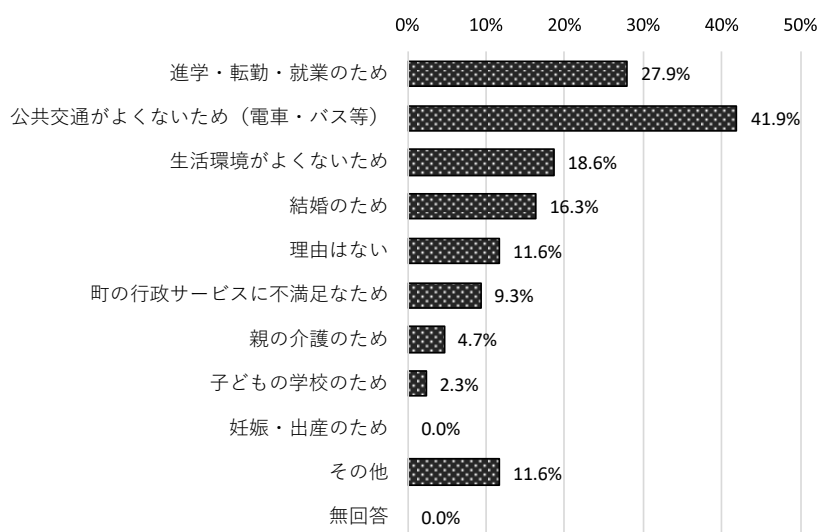
【全体】

	人数(人)	割合(%)
近々、引っ越す予定である	7	0.8
予定はないが、いずれ引っ越すと思う	36	4.1
引っ越す予定はない	694	80.0
わからない	105	12.1
無回答	26	3.0
全体	868	100.0

6. 引っ越す理由—調査票問7

(「5. 将来的にまんのう町外へ引っ越す予定があるか」において「近々、引っ越す予定である」、「予定はないが、いずれ引っ越すと思う」と回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
公共交通がよくないため(電車・バス等)	18	41.9
進学・転勤・就業のため	12	27.9
生活環境がよくないため	8	18.6
結婚のため	7	16.3
理由はない	5	11.6
町の行政サービスに不満足なため	4	9.3
親の介護のため	2	4.7
子どもの学校のため	1	2.3
妊娠・出産のため	0	0.0
その他	5	11.6
無回答	0	0.0
回答数	62	
回答者数	43	



## 【性別】

	人数(人)	割合(%)										
		進学・転勤・就業のため	結婚のため	妊娠・出産のため	子どもの学校のため	親の介護のため	町行政サービスに 不足なため	生活環境がよくないため	公共交通がよくないため (電車・バス等)	理由はない	その他	無回答
全体	43	27.9	16.3	0.0	2.3	4.7	9.3	18.6	41.9	11.6	11.6	0.0
男性	18	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	27.8	44.4	11.1	22.2	0.0
女性	24	29.2	25.0	0.0	4.2	8.3	4.2	12.5	41.7	12.5	4.2	0.0

## 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)										
		進学・転勤・就業のため	結婚のため	妊娠・出産のため	子どもの学校のため	親の介護のため	町行政サービスに 不足なため	生活環境がよくないため	公共交通がよくないため (電車・バス等)	理由はない	その他	無回答
全体	43	27.9	16.3	0.0	2.3	4.7	9.3	18.6	41.9	11.6	11.6	0.0
10・20 歳代	13	53.8	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	23.1	0.0	0.0
30 歳代	11	27.3	18.2	0.0	9.1	9.1	18.2	36.4	36.4	9.1	18.2	0.0
40 歳代	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
50 歳代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0
60 歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
70 歳代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
80 歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

回答者のうち、「引っ越す予定はない」と回答した方の割合が最も高く 80.0%となっている。一方で、「近々、引っ越す予定である」、「予定はないが、いずれ引っ越すと思う」と回答された方の割合は、4.9%となっている。

引っ越す理由については、「進学・転勤・就業のため」、「公共交通がよくないため(電車・バス等)」の順に割合が高くなっている。性別にみると、男性と女性で約 20 ポイントの開きがあるのは、「結婚のため」となっている。

年齢別にみると、10・20 歳代において「進学・転勤・就業のため」と回答した方の割合が 53.8%と高くなっている。



7. 兄弟姉妹・子ども(18歳以上の方)で、現在、町外に住んでいて、町に帰ってきたいと考えている方がいるか—調査票問8

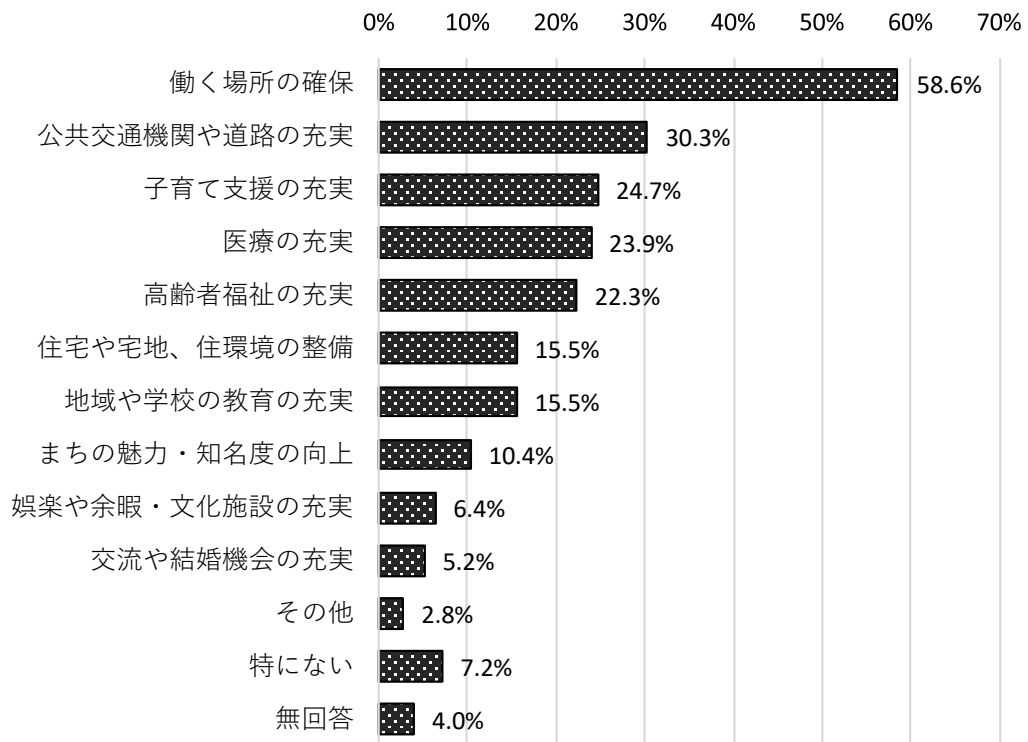
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
いない	565	65.1	58.1
まだわからない	191	22.0	19.7
いる	60	6.9	13.6
無回答	52	6.0	8.6
全体	868	100.0	

8. 家族が町に帰ってくるために何が必要と考えるか—調査票問9  
 (「7. 兄弟姉妹・子ども(18歳以上の方)で、現在、町外に住んでいて、町に帰ってきたいと考えている方がいるか」において「まだわからない」、「いる」と回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
働く場所の確保	147	58.6	59.0
公共交通機関や道路の充実	76	30.3	15.5
子育て支援の充実	62	24.7	19.4
医療の充実	60	23.9	21.9
高齢者福祉の充実	56	22.3	25.4
住宅や宅地、住環境の整備	39	15.5	15.2
地域や学校の教育の充実	39	15.5	18.4
まちの魅力・知名度の向上	26	10.4	6.4
娯楽や余暇・文化施設の充実	16	6.4	13.4
交流や結婚機会の充実	13	5.2	7.8
その他	7	2.8	1.8
特にない	18	7.2	3.5
無回答	10	4.0	15.2
回答数	569		
回答者数	251		

兄弟姉妹・子ども(18歳以上の方)で、現在、町外に住んでいて、町に帰ってきたいと考えている方が「いない」と回答された方の割合は、前回調査に比べて7ポイント上昇している。

「まだわからない」、「いる」と回答された方のうち、「働く場所の確保」と回答した方の割合が最も高く58.6%となっている。次に「公共交通機関や道路の充実」「子育て支援の充実」と回答された方の割合が高くなっている。

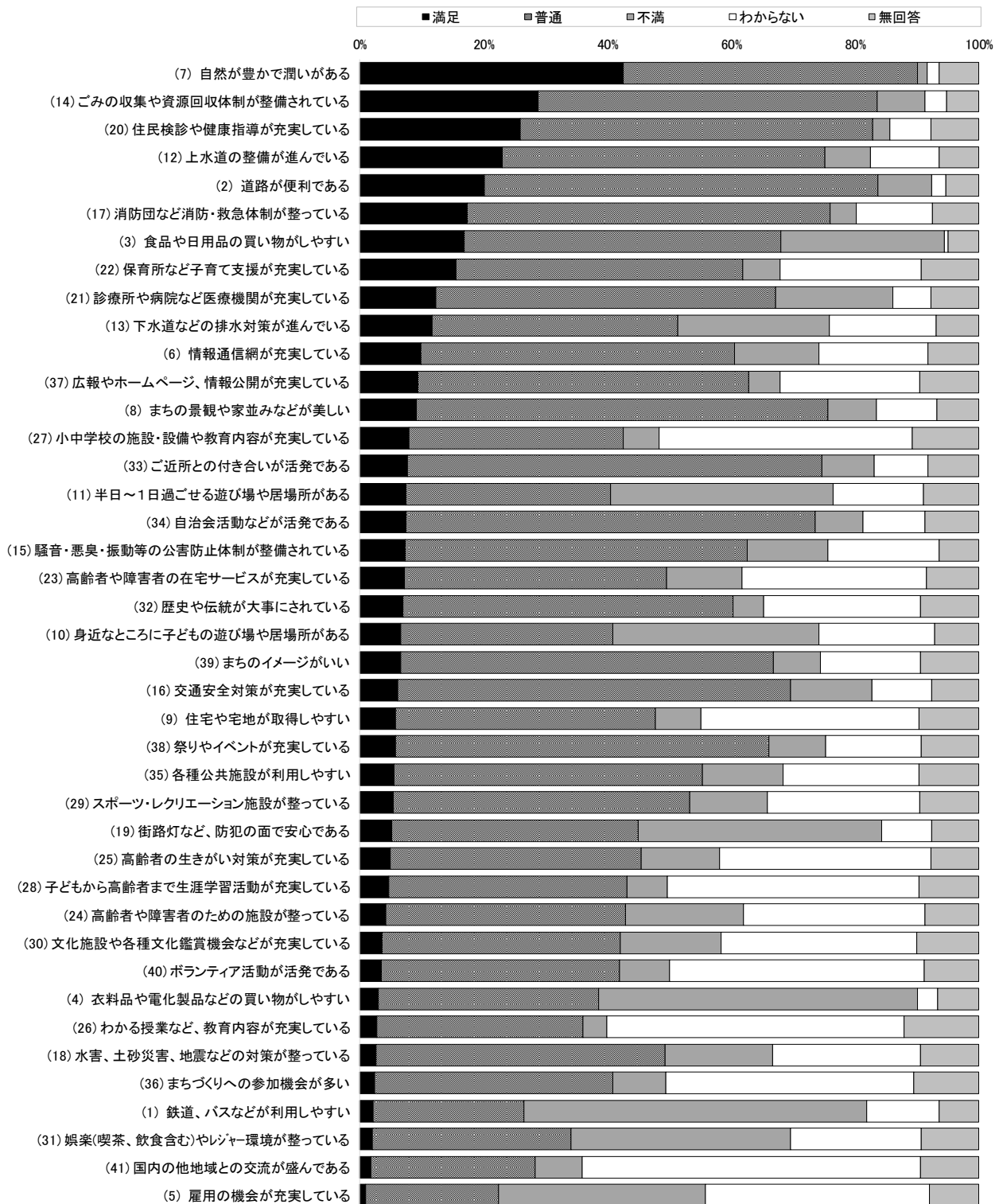


9. 町政の満足度及び重要度－調査票問 10、11

■満足度

		満足	普通	不満	わからない	無回答
利便性	(1) 鉄道、バスなどが利用しやすい	2.1	24.4	55.4	11.8	6.3
	(2) 道路が便利である	20.2	63.6	8.6	2.3	5.3
	(3) 食品や日用品の買い物がしやすい	16.8	51.3	26.4	0.6	5.0
	(4) 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	3.0	35.6	51.5	3.3	6.6
	(5) 雇用の機会が充実している	0.9	21.4	33.5	36.2	7.9
	(6) 情報通信網が充実している	9.8	50.8	13.6	17.6	8.2
快適性	(7) 自然が豊かで潤いがある	42.6	47.5	1.6	2.0	6.3
	(8) まちの景観や家並みなどが美しい	9.1	66.6	7.8	9.8	6.7
	(9) 住宅や宅地が取得しやすい	5.8	42.1	7.3	35.4	9.6
	(10) 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	6.6	34.3	33.3	18.7	7.1
	(11) 半日～1日過ごせる遊び場や居場所がある	7.5	33.1	35.9	14.6	8.9
	(12) 上水道の整備が進んでいる	23.0	52.1	7.4	11.2	6.3
	(13) 下水道などの排水対策が進んでいる	11.6	39.7	24.5	17.3	6.8
	(14) ごみの収集や資源回収体制が整備されている	28.8	54.8	7.7	3.5	5.2
安全性	(15) 騒音・悪臭・振動等の公害防止体制が整備されている	7.3	55.3	13.1	18.0	6.3
	(16) 交通安全対策が充実している	6.1	63.5	13.1	9.7	7.6
	(17) 消防団など消防・救急体制が整っている	17.3	58.8	4.1	12.3	7.5
保健・福祉	(18) 水害、土砂災害、地震などの対策が整っている	2.6	46.7	17.4	24.0	9.3
	(19) 街路灯など、防犯の面で安心である	5.2	39.7	39.4	8.1	7.6
	(20) 住民検診や健康指導が充実している	25.9	56.9	2.9	6.6	7.7
	(21) 診療所や病院など医療機関が充実している	12.2	55.0	19.0	6.1	7.7
	(22) 保育所など子育て支援が充実している	15.6	46.3	6.1	22.8	9.2
	(23) 高齢者や障害者の在宅サービスが充実している	7.1	42.4	12.2	29.8	8.4
教育・文化	(24) 高齢者や障害者のための施設が整っている	4.1	38.8	19.0	29.4	8.6
	(25) 高齢者の生きがい対策が充実している	5.0	40.6	12.7	34.1	7.7
	(26) わかる授業など、教育内容が充実している	2.8	33.3	3.8	48.2	12.0
	(27) 小中学校の施設・設備や教育内容が充実している	7.9	34.7	5.8	40.9	10.7
	(28) 子どもから高齢者まで生涯学習活動が充実している	4.6	38.6	6.5	40.8	9.6
	(29) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	5.4	47.9	12.6	24.7	9.4
	(30) 文化施設や各種文化鑑賞機会などが充実している	3.6	38.5	16.4	31.6	10.0
地域生活	(31) 娯楽(喫茶、飲食含む)やレジャー環境が整っている	2.0	32.1	35.5	21.2	9.2
	(32) 歴史や伝統が大事にされている	6.9	53.5	5.0	25.3	9.3
	(33) ご近所との付き合いが活発である	7.7	66.9	8.5	8.6	8.2
	(34) 自治会活動などが活発である	7.5	66.1	7.7	10.0	8.6
	(35) 各種公共施設が利用しやすい	5.5	49.9	13.0	21.9	9.7
	(36) まちづくりへの参加機会が多い	2.4	38.5	8.5	40.1	10.5
	(37) 広報やホームページ、情報公開が充実している	9.3	53.6	5.1	22.6	9.4
	(38) 祭りやイベントが充実している	5.8	60.4	9.2	15.4	9.2
	(39) まちのイメージがいい	6.6	60.3	7.6	16.2	9.3
	(40) ボランティア活動が活発である	3.5	38.5	8.1	41.2	8.8
	(41) 国内の他地域との交流が盛んである	1.7	26.6	7.6	54.7	9.3

## 町政の満足度（「満足」の割合が高い順）



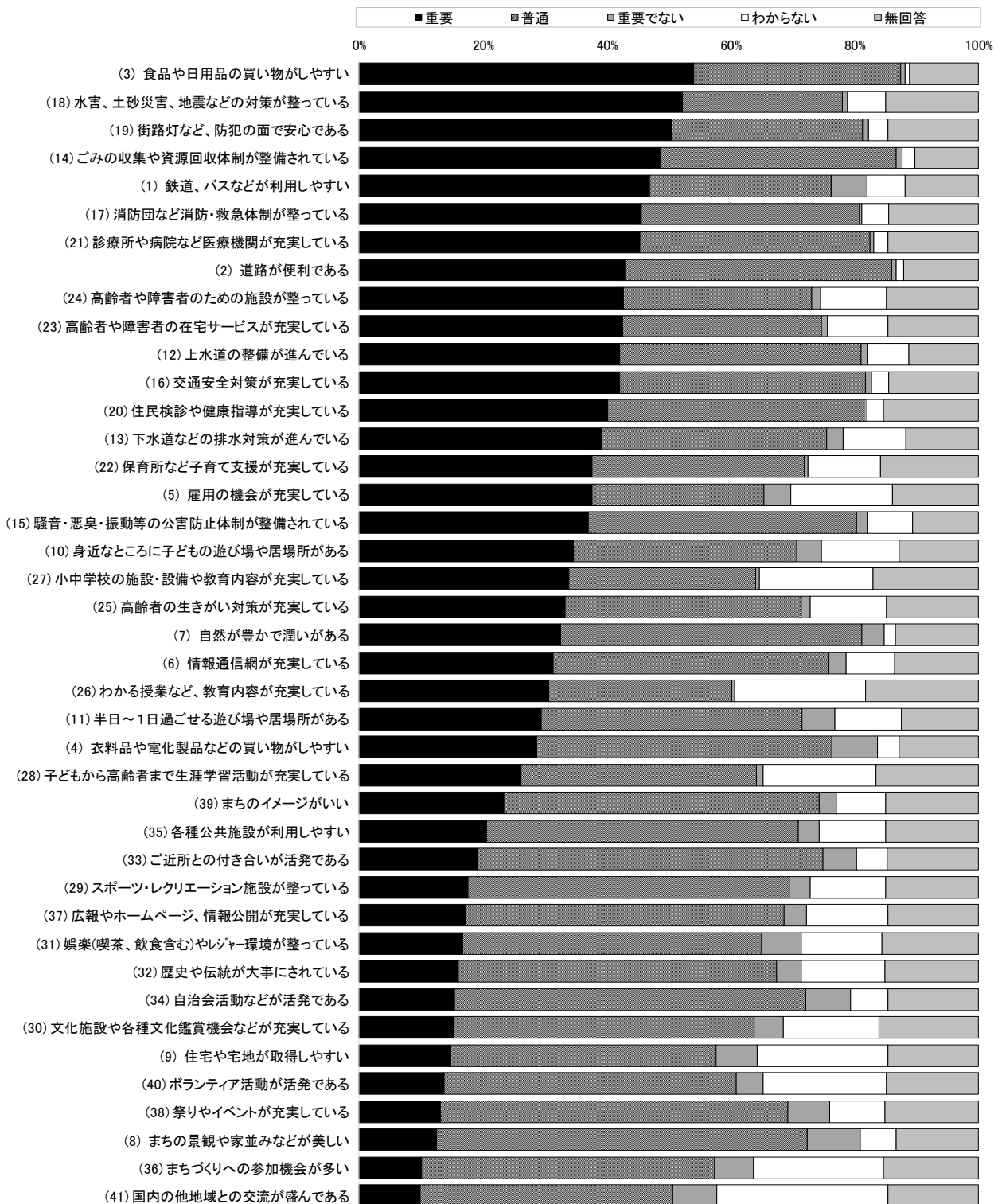
満足度は、「自然が豊かで潤いがある」が最も高く、次いで「ゴミの収集や資源収集体制が整備されている」が高くなっている。

一方、満足度が最も低いのは「雇用の機会が充実している」で、次いで「国内の他地域との交流が盛んである」となっている。

■重要度

		重要	普通	重要な でない	わから ない	無回 答
利便性	(1) 鉄道、バスなどが利用しやすい	46.9	29.4	5.8	6.2	11.8
	(2) 道路が便利である	43.0	43.1	0.7	1.3	12.0
	(3) 食品や日用品の買い物がしやすい	54.0	33.4	0.8	0.7	11.1
	(4) 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	28.7	47.7	7.4	3.5	12.8
	(5) 雇用の機会が充実している	37.6	27.9	4.3	16.5	13.8
	(6) 情報通信網が充実している	31.3	44.6	2.8	7.8	13.5
快適性	(7) 自然が豊かで潤いがある	32.5	48.7	3.6	1.8	13.4
	(8) まちの景観や家並みなどが美しい	12.6	59.8	8.6	5.8	13.2
	(9) 住宅や宅地が取得しやすい	14.7	43.0	6.6	21.1	14.6
	(10) 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	34.6	36.2	3.9	12.6	12.8
	(11) 半日～1日過ごせる遊び場や居場所がある	29.4	42.2	5.3	10.7	12.4
	(12) 上水道の整備が進んでいる	42.1	39.1	1.0	6.7	11.2
	(13) 下水道などの排水対策が進んでいる	39.2	36.4	2.6	10.1	11.6
	(14) ごみの収集や資源回収体制が整備されている	48.6	38.1	0.9	2.1	10.3
安全性	(15) 騒音・悪臭・振動等の公害防止体制が整備されている	37.0	43.3	1.8	7.3	10.6
	(16) 交通安全対策が充実している	42.1	39.7	0.9	2.9	14.4
	(17) 消防団など消防・救急体制が整っている	45.6	35.3	0.3	4.4	14.4
保健・福祉	(18) 水害、土砂災害、地震などの対策が整っている	52.2	25.9	0.8	6.1	15.0
	(19) 街路灯など、防犯の面で安心である	50.5	30.9	0.9	3.2	14.5
	(20) 住民検診や健康指導が充実している	40.2	41.4	0.5	2.6	15.3
	(21) 診療所や病院など医療機関が充実している	45.4	37.1	0.7	2.2	14.6
	(22) 保育所など子育て支援が充実している	37.7	34.2	0.6	11.8	15.8
	(23) 高齢者や障害者の在宅サービスが充実している	42.6	32.0	1.0	9.7	14.6
	(24) 高齢者や障害者のための施設が整っている	42.7	30.4	1.4	10.6	14.9
教育・文化	(25) 高齢者の生きがい対策が充実している	33.3	38.1	1.4	12.3	14.9
	(26) わかる授業など、教育内容が充実している	30.6	29.5	0.6	21.1	18.2
	(27) 小中学校の施設・設備や教育内容が充実している	33.9	30.2	0.6	18.4	16.9
	(28) 子どもから高齢者まで生涯学習活動が充実している	26.2	38.0	1.0	18.3	16.5
	(29) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	17.6	51.8	3.5	12.1	15.0
	(30) 文化施設や各種文化鑑賞機会などが充実している	15.3	48.5	4.7	15.4	16.0
	(31) 娯楽(喫茶、飲食含む)やレジャー環境が整っている	16.7	48.3	6.5	13.0	15.6
地域生活	(32) 歴史や伝統が大事にされている	16.0	51.4	4.0	13.5	15.1
	(33) ご近所との付き合いが活発である	19.1	55.8	5.5	4.8	14.7
	(34) 自治会活動などが活発である	15.4	56.7	7.3	6.0	14.6
	(35) 各種公共施設が利用しやすい	20.6	50.3	3.3	10.7	15.0
	(36) まちづくりへの参加機会が多い	10.1	47.2	6.3	21.0	15.3
	(37) 広報やホームページ、情報公開が充実している	17.2	51.5	3.6	13.2	14.5
	(38) 祭りやイベントが充実している	13.1	56.1	6.8	8.9	15.1
	(39) まちのイメージがいい	23.4	50.9	2.8	7.9	15.0
	(40) ボランティア活動が活発である	13.7	47.2	4.3	19.9	14.9
	(41) 国内の他地域との交流が盛んである	9.8	40.9	7.1	27.5	14.6

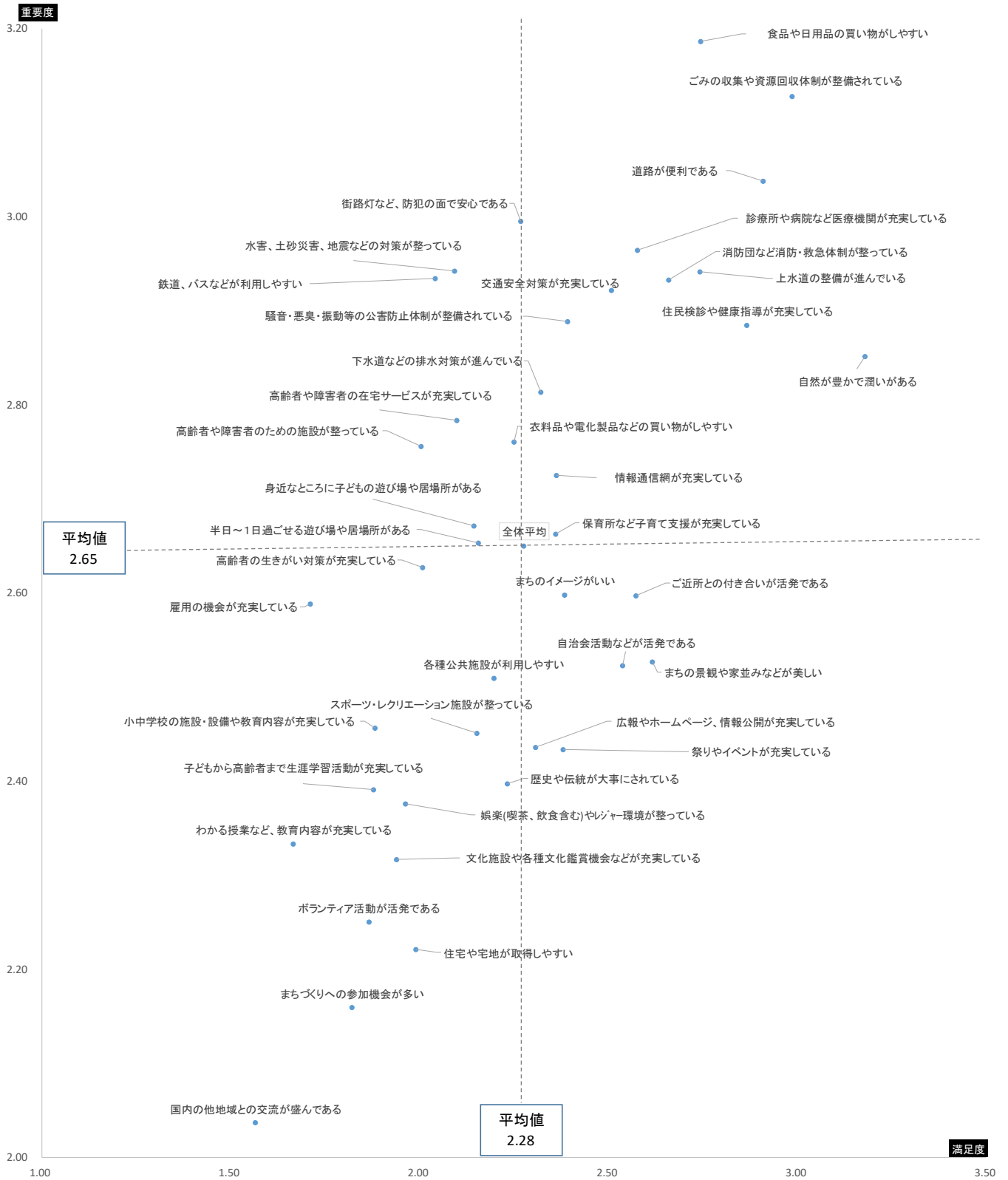
## 町政の重要度（「重要」の割合が高い順）



重要度は、「食品や日用品の買い物がしやすい」が最も高く、次いで「水害、土砂災害、地震などの対策が整っている」が高くなっている。

一方、重要度が最も低いのは「国内の他地域との交流が盛んである」で、次いで「まちづくりへの参加機会が多い」となっている。

# CS分析



★グラフの見方

重要度は平均より高く 満足度は平均より低い 【重要改善項目】	重要度が平均より高く 満足度も平均より高い
重要度は平均より低く 満足度も平均より低い	重要度は平均より低く 満足度は平均より高い

点数について  
 満足(重要):4点  
 やや満足(やや重要):3点  
 やや不満(やや重要でない):2点  
 不満(重要でない):1点

として、各選択肢の点数を、それを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除したものを各施策の得点としている。

★重要改善項目に該当した施策

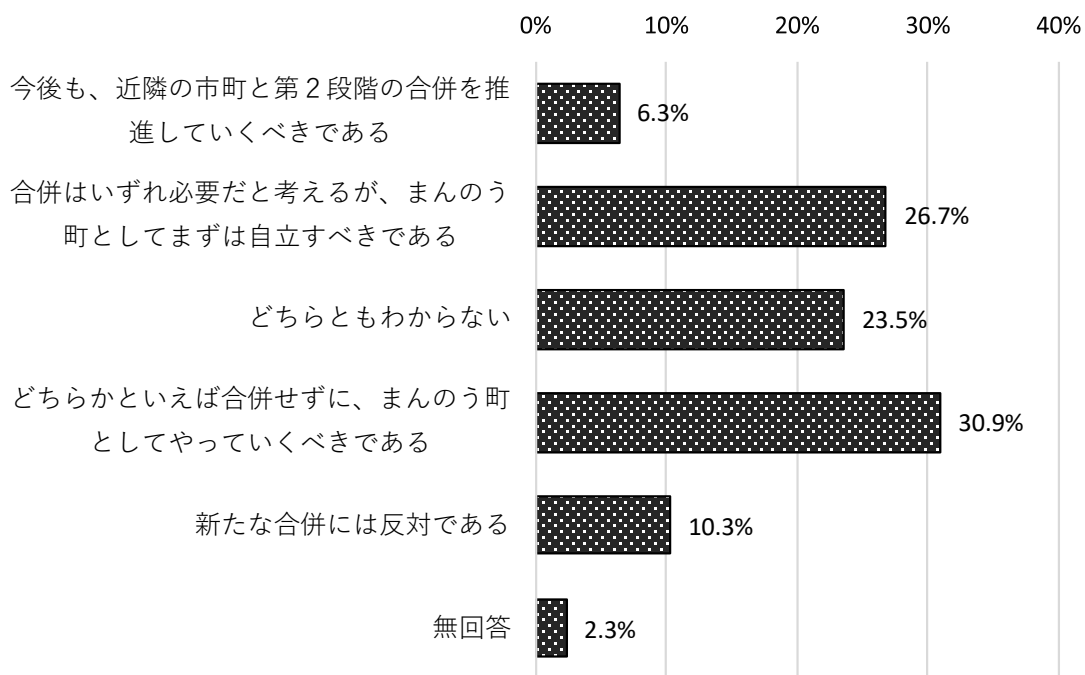
利便性	鉄道、バスなどが利用しやすい
	衣料品や電化製品などの買い物がしやすい
快適性	身近なところに子どもの遊び場や居場所がある
	半日～1日過ごせる遊び場や居場所がある
安全性	水害、土砂災害、地震などの対策が整っている
保健・福祉	街路灯など、防犯の面で安心である
	高齢者や障害者の在宅サービスが充実している
	高齢者や障害者のための施設が整っている

満足度、重要度をそれぞれ点数化すると、特に重要改善度が高い項目は「保健・福祉」においてが4施策となっている。



10. 将来、まんのう町が新たな合併をするかということについて—調査票問 12

	人数(人)	割合(%)
今後も、近隣の市町と第2段階の合併を推進していくべきである	55	6.3
合併はいずれ必要だと考えるが、まんのう町としてまずは自立すべきである	232	26.7
どちらともわからない	204	23.5
どちらかといえば合併せずに、まんのう町としてやっていくべきである	268	30.9
新たな合併には反対である	89	10.3
無回答	20	2.3
全体	868	100.0



「どちらかといえば合併せずに、まんのう町としてやっていくべきである」と回答された方の割合が、30.9%と最も高くなっている。

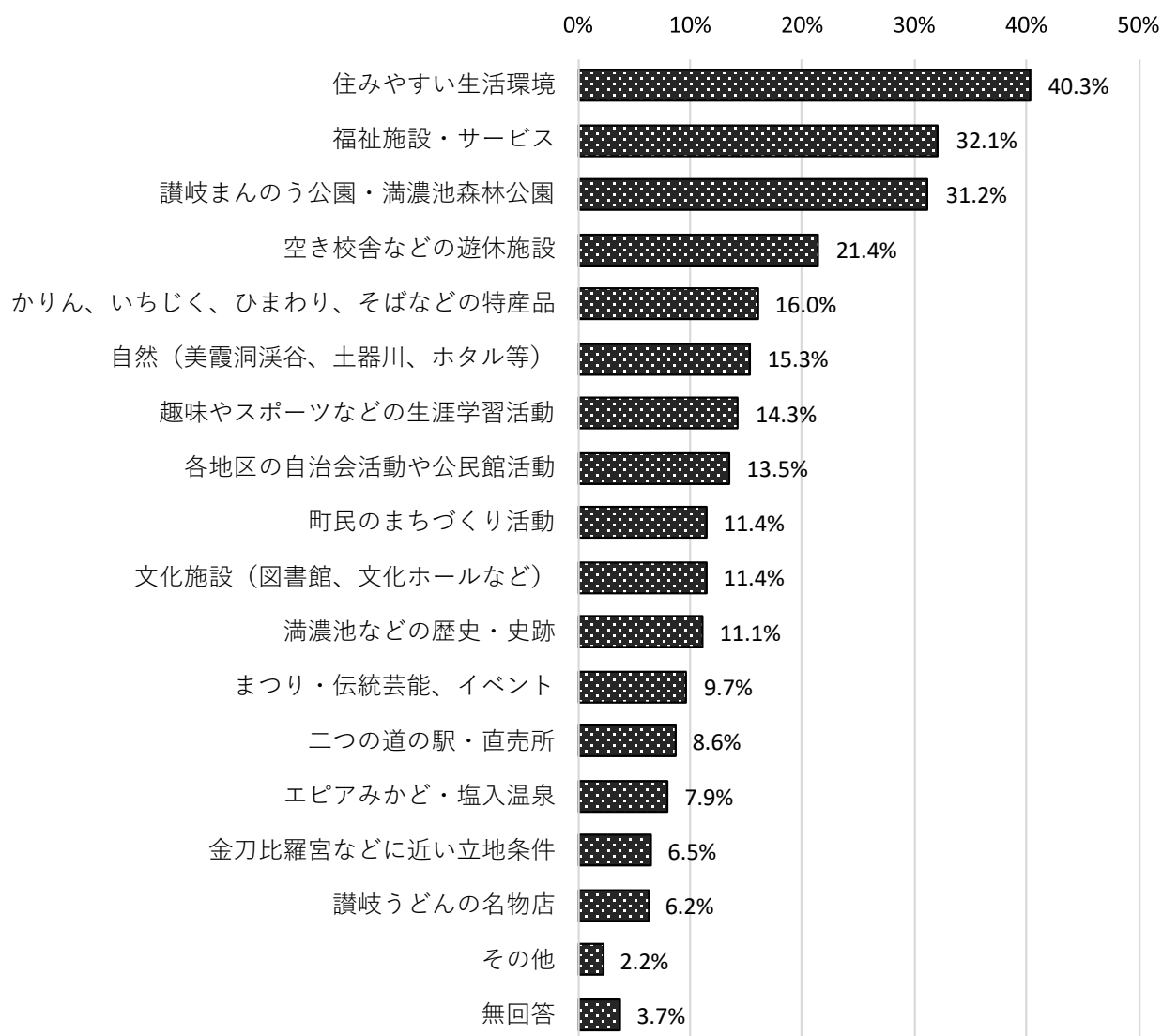
### 3 まちづくりの方向について

#### 1. これからまちづくりを進める上で、何を有効に活用していけばよいかー調査票問 13

##### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査 (%)
住みやすい生活環境	350	40.3	42.9
福祉施設・サービス	279	32.1	32.3
讃岐まんのう公園・満濃池森林公園	271	31.2	25.4
空き校舎などの遊休施設	186	21.4	29.2
かりん、いちじく、ひまわり、そばなどの特産品	139	16.0	6.5
自然(美霞洞溪谷、土器川、ホタル等)	133	15.3	20.0
趣味やスポーツなどの生涯学習活動	124	14.3	14.7
各地区の自治会活動や公民館活動	117	13.5	14.8
町民のまちづくり活動	99	11.4	15.7
文化施設(図書館、文化ホールなど)	99	11.4	
満濃池などの歴史・史跡	96	11.1	11.3
まつり・伝統芸能、イベント	84	9.7	9.9
二つの道の駅・直売所	75	8.6	8.9
エピアみかど・塩入温泉	69	7.9	24.0
金刀比羅宮などに近い立地条件	56	6.5	4.3
讃岐うどんの名物店	54	6.2	7.9
その他	19	2.2	3.4
無回答	32	3.7	3.0
回答数	2,282		
回答者数	868		

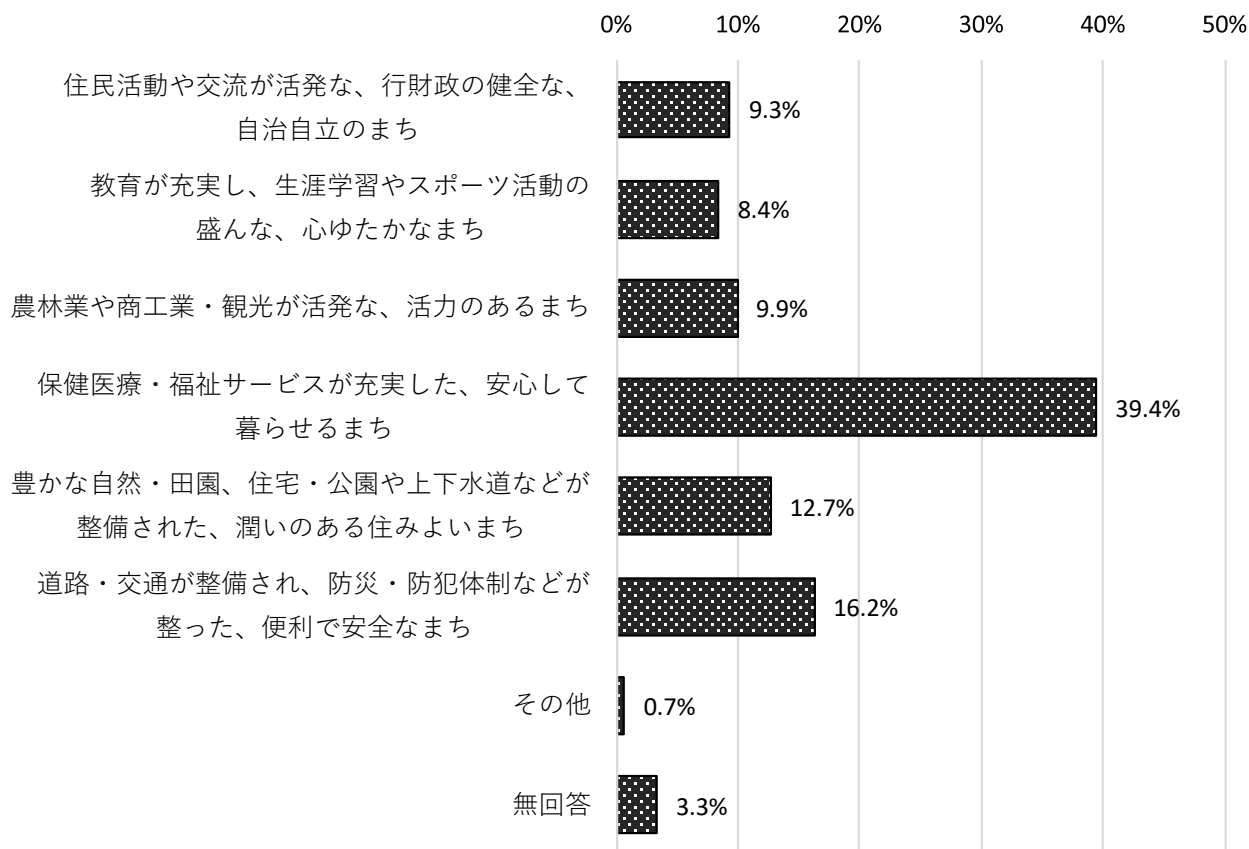
「住みやすい生活環境」と回答された方の割合が、40.3%と最も高くなっている。前回調査でも最も高い割合となっている。前回調査よりも10ポイント以上上昇しているのは「かりん、いちじく、ひまわり、そばなどの特産品」となっている。



2. 将来のまんのう町がどんなまちになって欲しいか。－調査票問 14

【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
住民活動や交流が活発な、行財政の健全な、自治自立のまち	81	9.3	9.6
教育が充実し、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち	73	8.4	7.1
農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち	86	9.9	8.9
保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせるまち	342	39.4	41.4
豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち	110	12.7	14.2
道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち	141	16.2	13.8
その他	6	0.7	1.0
無回答	29	3.3	4.0
全体	868	100.0	



回答者のうち、「保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせるまち」と回答された方の割合が39.4%と最も高くなっている。前回調査よりも最もポイントが上昇したのは、「道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち」となっている。

年齢別に見ると、10～40歳代では「教育が充実し、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち」、「農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち」が高くなっており、60歳代以上は「保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせるまち」が高くなっている。

## 【年齢層別】

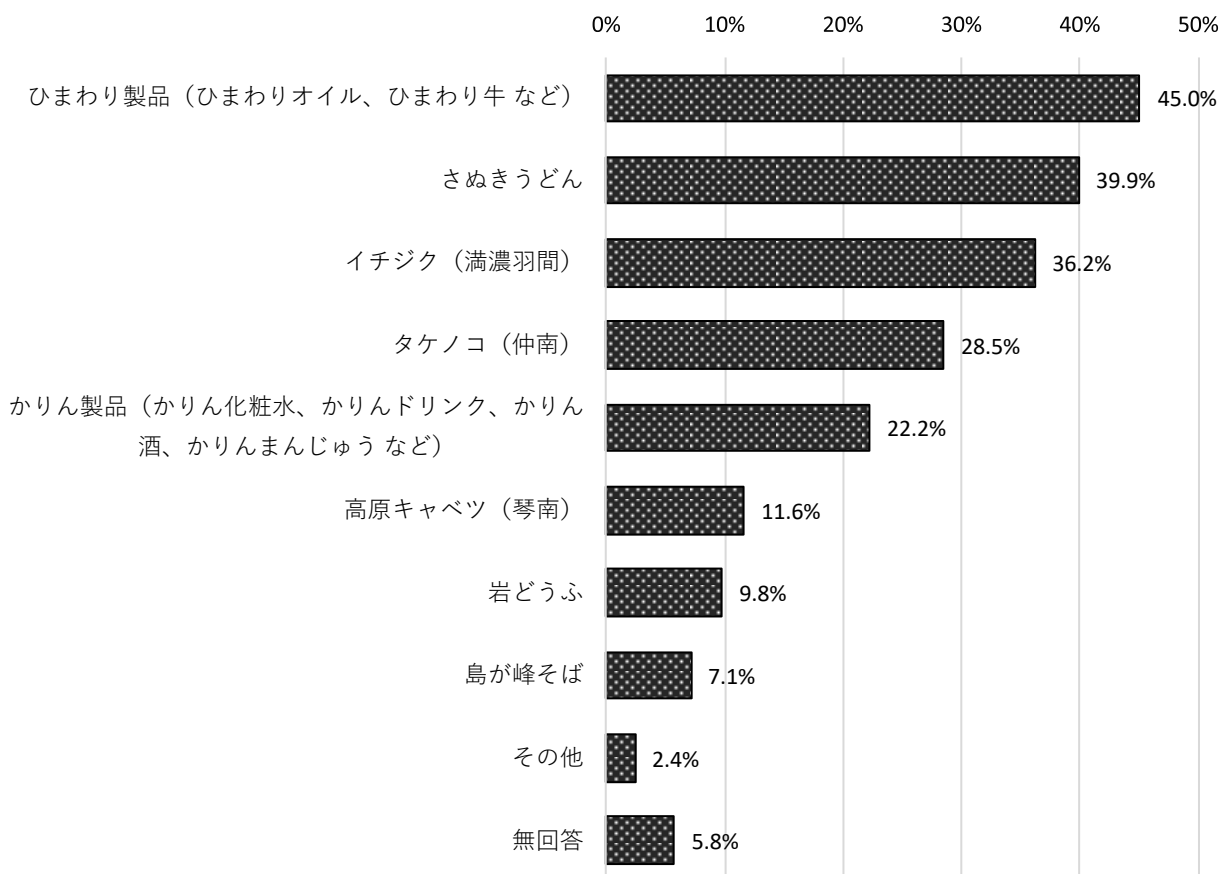
	人数(人)	割合(%)							
		全な、自治自立のまち	住民活動や交流が活発な、行財政の健全な、自治自立のまち	教育が充実し、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち	農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち	保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせるまち	みよいまち	水道などが整備された、潤いのある住みよいまち	豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち
全体	868	9.3	8.4	9.9	39.4	12.7	16.2	0.7	
10・20歳代	40	2.5	10.0	12.5	30.0	17.5	27.5	0.0	
30歳代	93	10.8	14.0	16.1	25.8	12.9	18.3	0.0	
40歳代	88	3.4	20.5	10.2	31.8	10.2	21.6	1.1	
50歳代	103	9.7	11.7	9.7	37.9	16.5	13.6	0.0	
60歳代	205	8.8	7.8	8.3	41.0	16.6	14.1	0.0	
70歳代	184	12.5	2.2	8.2	47.8	8.7	15.2	1.1	
80歳以上	131	10.7	3.1	9.2	47.3	8.4	13.7	2.3	

## 4 産業振興について

1. まんのう町の特産品について、あなたが町外に住んでいる知り合いに紹介したいものについて一調査票問 15

### 【全体】

	人数(人)	割合(%)
ひまわり製品(ひまわりオイル、ひまわり牛 など)	391	45.0
さぬきうどん	346	39.9
イチジク(満濃羽間)	314	36.2
タケノコ(仲南)	247	28.5
かりん製品(かりん化粧水、かりんドリンク、かりん酒、かりんまんじゅう など)	193	22.2
高原キャベツ(琴南)	101	11.6
岩どうふ	85	9.8
島が峰そば	62	7.1
その他	21	2.4
無回答	50	5.8
回答数	1,810	
回答者数	868	



回答者のうち、「ひまわり製品(ひまわりオイル、ひまわり牛 など)」と回答された方の割合が 45.0%と最も高くなっている。

年齢別に見ると、40～50歳代では「かりん製品(かりん化粧水、かりんドリンク、かりん酒、かりんまんじゅう など)」が高くなっており、80歳代以上は「さぬきうどん」が高くなっている。

### 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)									
		ひまわり製品(ひまわりオイル、ひまわり牛 など)	かりん製品(かりん化粧水、かりんドリンク、かりん酒、かりんまんじゅう など)	岩ごうふ	さぬきうどん	島が峰そば	高原キャベツ(琴南)	タケノコ(仲南)	イチジク(満濃羽間)	その他	無回答
全体	868	45.0	22.2	9.8	39.9	7.1	11.6	28.5	36.2	2.4	5.8
10・20歳代	40	32.5	30.0	7.5	42.5	0.0	7.5	25.0	32.5	0.0	0.0
30歳代	93	47.3	14.0	8.6	40.9	7.5	7.5	22.6	39.8	3.2	4.3
40歳代	88	51.1	20.5	9.1	37.5	10.2	5.7	19.3	36.4	1.1	4.5
50歳代	103	56.3	26.2	14.6	35.9	4.9	7.8	26.2	41.7	4.9	1.0
60歳代	205	42.9	23.9	7.8	37.1	7.3	11.7	30.2	36.1	2.9	6.3
70歳代	184	44.0	19.0	9.2	40.2	6.5	15.2	30.4	36.4	1.6	6.5
80歳以上	131	36.6	26.7	10.7	48.1	9.2	16.8	34.4	31.3	1.5	9.9

2. まんのう町が誇れるものとして、あなたが町外に住んでいる知り合いに紹介したいものについて一調査票問 16

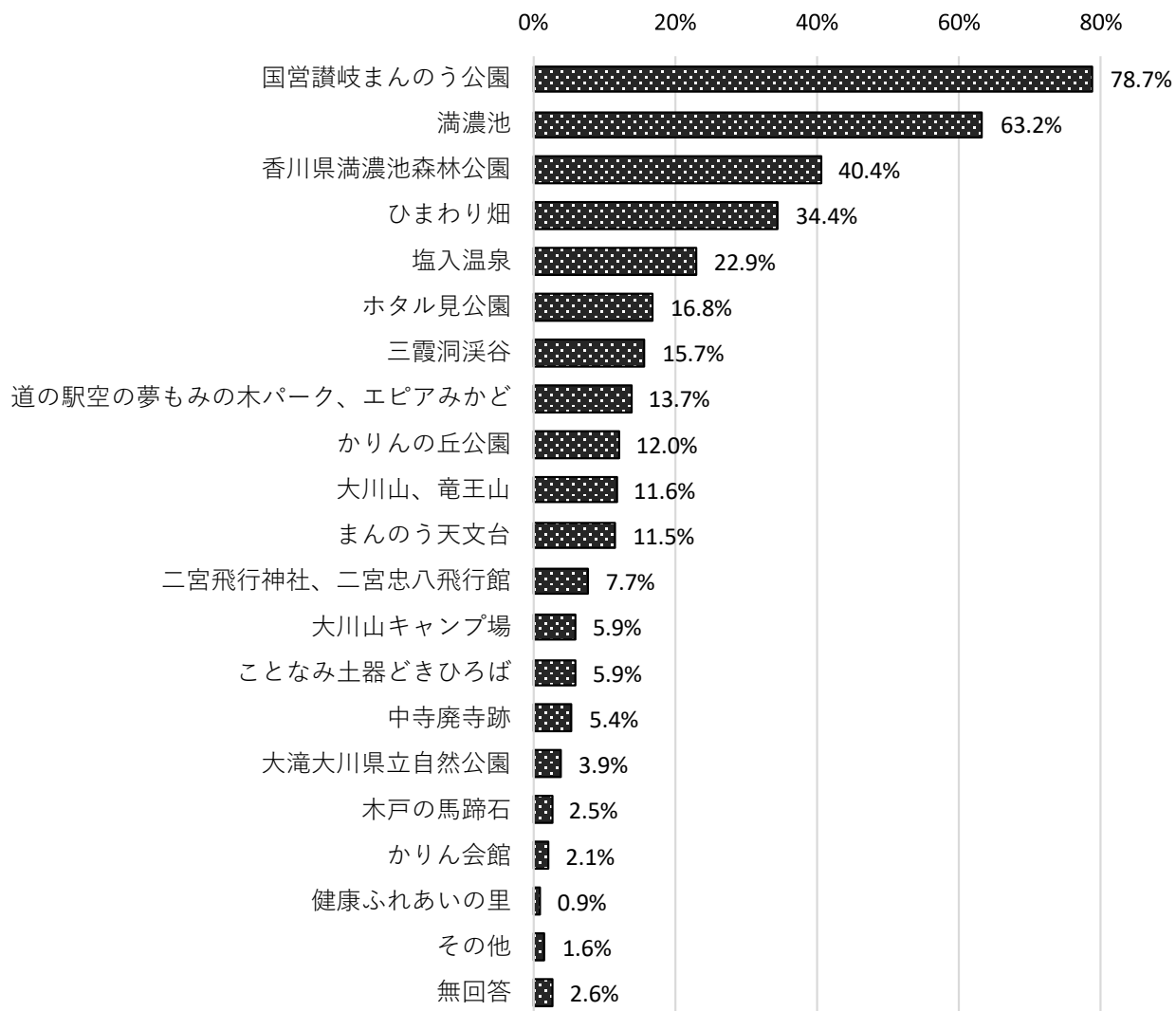
【全体】

	人数(人)	割合(%)
国営讃岐まんのう公園	683	78.7
満濃池	549	63.2
香川県満濃池森林公園	351	40.4
ひまわり畑	299	34.4
塩入温泉	199	22.9
ホテル見公園	146	16.8
三霞洞溪谷	136	15.7
道の駅空の夢もみの木パーク、エピアみかど	119	13.7
かりんの丘公園	104	12.0
大川山、竜王山	101	11.6
まんのう天文台	100	11.5
二宮飛行神社、二宮忠八飛行館	67	7.7
大川山キャンプ場	51	5.9
ことなみ土器どきひろば	51	5.9
中寺廃寺跡	47	5.4
大滝大川県立自然公園	34	3.9
木戸の馬蹄石	22	2.5
かりん会館	18	2.1
健康ふれあいの里	8	0.9
その他	14	1.6
無回答	23	2.6
回答数	3,122	
回答者数	868	

回答者のうち、「国営讃岐まんのう公園」と回答された方の割合が 78.7%と最も高くなっている。次に「満濃池」、「香川県満濃池森林公園」となっており、まんのう町民における満濃池の占める位置の高さがうかがえる。

年齢別に見ると、10～30 歳代では「ひまわり畑」が 50%以上と高くなっている。40 歳代以上は「三霞洞溪谷」の割合が他の世代に比べて高くなっている。





【年齢層別】

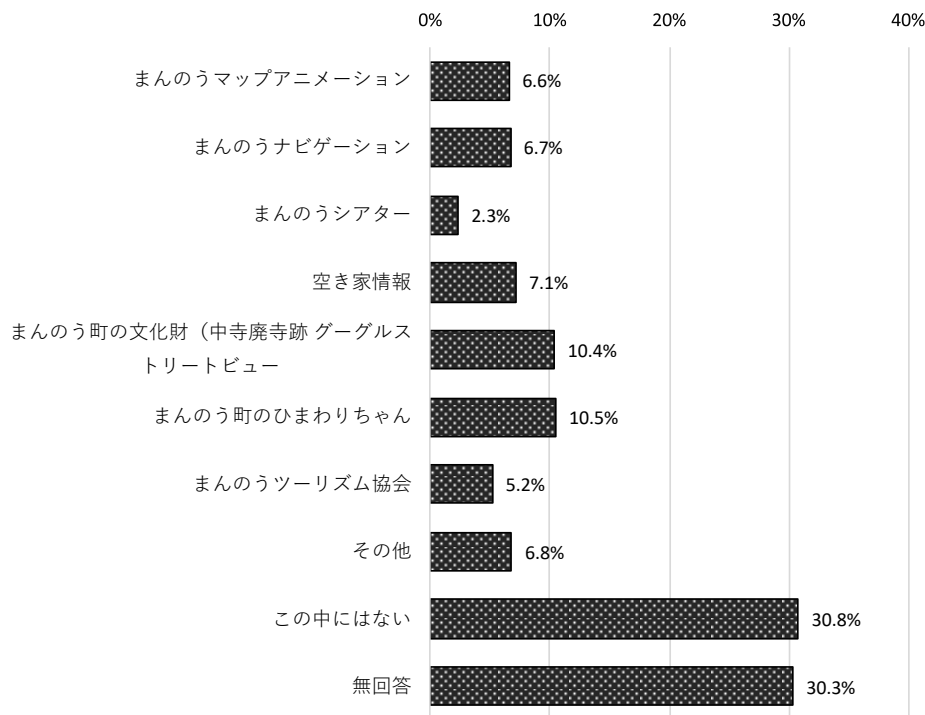
	人数(人)	割合(%)									
		かりんの丘公園	三霞洞溪谷	大川山、竜王山	木戸の馬蹄石	大滝大川県立自然公園	大川山キャンプ場	健康ふれあいの里	ことなみ土器どきひろば	国営讃岐まんのう公園	ホテル見公園
全体	868	12.0	15.7	11.6	2.5	3.9	5.9	0.9	5.9	78.7	16.8
10・20 歳代	40	5.0	5.0	10.0	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	67.5	32.5
30 歳代	93	21.5	10.8	4.3	1.1	0.0	2.2	0.0	5.4	83.9	26.9
40 歳代	88	18.2	14.8	6.8	1.1	4.5	4.5	0.0	5.7	76.1	11.4
50 歳代	103	9.7	10.7	14.6	2.9	3.9	3.9	0.0	9.7	84.5	17.5
60 歳代	205	8.8	16.1	9.8	3.4	2.4	6.3	0.0	4.4	80.0	13.2
70 歳代	184	10.3	19.6	13.0	1.1	1.6	5.4	1.6	3.8	77.7	14.7
80 歳以上	131	11.5	20.6	18.3	4.6	10.7	9.9	3.1	7.6	74.0	16.0

	人数(人)	割合(%)									
		香川県満濃池森林公園	道の駅空の夢もみの木パーク、エピアみかど	塩入温泉	二宮飛行神社、二宮忠八飛行館	ひまわり畑	まんのう天文台	かりん会館	満濃池	中寺廃寺跡	その他
全体	868	40.4	13.7	22.9	7.7	34.4	11.5	2.1	63.2	5.4	1.6
10・20 歳代	40	35.0	7.5	32.5	7.5	52.5	7.5	5.0	52.5	5.0	2.5
30 歳代	93	33.3	12.9	24.7	5.4	54.8	10.8	2.2	43.0	2.2	1.1
40 歳代	88	36.4	2.3	15.9	2.3	39.8	11.4	0.0	55.7	4.5	5.7
50 歳代	103	43.7	10.7	25.2	7.8	45.6	14.6	1.0	68.9	6.8	1.0
60 歳代	205	37.6	12.7	18.5	6.3	31.7	9.3	2.0	65.9	6.3	1.0
70 歳代	184	45.7	17.4	22.3	7.6	22.8	11.4	3.3	71.7	5.4	0.5
80 歳以上	131	42.7	22.1	27.5	15.3	23.7	14.5	2.3	64.9	5.3	1.5

3. まんのう町についてよく知ることができるための情報として、町のHPで調べてみたことがあるのはどの情報かー調査票問 17

【全体】

	人数(人)	割合(%)
まんのうマップアニメーション	57	6.6
まんのうナビゲーション	58	6.7
まんのうシアター	20	2.3
空き家情報	62	7.1
まんのう町の文化財(中寺廃寺跡 グーグルストリートビュー)	90	10.4
まんのう町のひまわりちゃん	91	10.5
まんのうツーリズム協会	45	5.2
その他	59	6.8
この中にはない	267	30.8
無回答	263	30.3
回答数	1,012	
回答者数	868	



回答者のうち、「まんのう町のひまわりちゃん」、「まんのう町の文化財(中寺廃寺跡 グーグルストリートビュー)」と回答された方の割合が 10%をこえている。一方で、「この中にはない」と回答された方の割合は 30.8%となっている。

年齢別に見ると、30～40 歳代では「空き家情報」が他の世代よりも高くなっている。10・20 歳代は「この中にはない」の割合が 50%となっている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)									
		まんのうマップアニメーション	まんのうナビゲーション	まんのうシアター	空き家情報	まんのう町の文化財(中寺廃寺跡 グーグルストリートビュー)	まんのう町のひまわりちゃん	まんのうツーリズム協会	その他	この中にはない	無回答
全体	868	6.6	6.7	2.3	7.1	10.4	10.5	5.2	6.8	30.8	30.3
10・20 歳代	40	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	12.5	5.0	15.0	50.0	12.5
30 歳代	93	4.3	5.4	3.2	14.0	4.3	14.0	8.6	4.3	51.6	11.8
40 歳代	88	6.8	3.4	1.1	11.4	8.0	6.8	15.9	3.4	47.7	11.4
50 歳代	103	2.9	12.6	4.9	4.9	9.7	14.6	7.8	3.9	37.9	18.4
60 歳代	205	8.3	7.8	0.5	4.9	10.7	4.9	3.4	5.9	29.3	36.6
70 歳代	184	7.1	6.0	2.7	5.4	13.6	10.9	1.6	8.2	15.8	46.2
80 歳以上	131	6.1	4.6	3.1	8.4	13.0	16.0	2.3	7.6	16.8	39.7

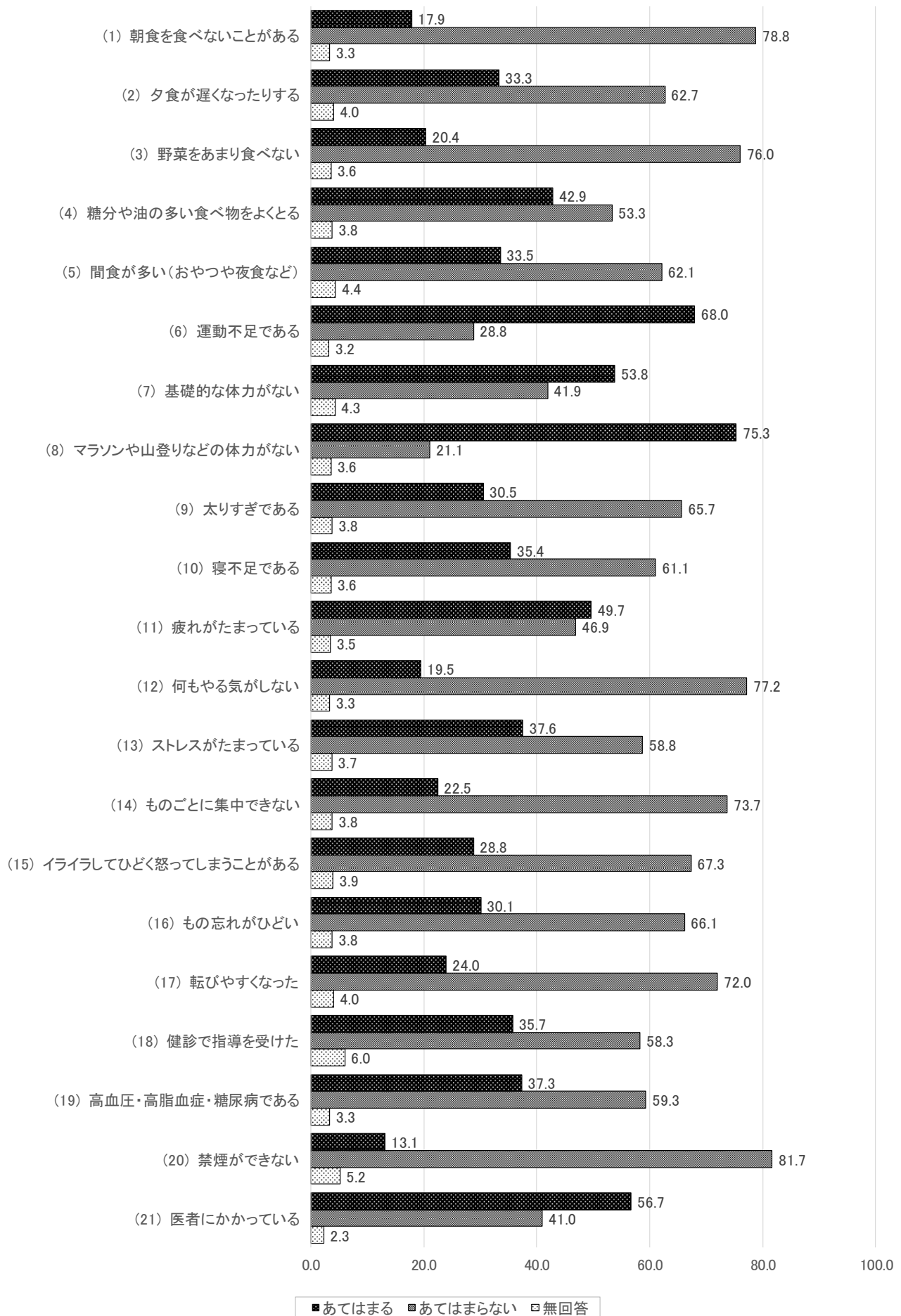
## 5 健康について

### 1. 健康について－調査票問 18

	あてはまる	あてはまらない	無回答
(1) 朝食を食べないことがある	17.9	78.8	3.3
(2) 夕食が遅くなったりする	33.3	62.7	4.0
(3) 野菜をあまり食べない	20.4	76.0	3.6
(4) 糖分や油の多い食べ物をよくとる	42.9	53.3	3.8
(5) 間食が多い(おやつや夜食など)	33.5	62.1	4.4
(6) 運動不足である	68.0	28.8	3.2
(7) 基礎的な体力がない	53.8	41.9	4.3
(8) マラソンや山登りなどの体力がない	75.3	21.1	3.6
(9) 太りすぎである	30.5	65.7	3.8
(10) 寝不足である	35.4	61.1	3.6
(11) 疲れがたまっている	49.7	46.9	3.5
(12) 何もやる気がしない	19.5	77.2	3.3
(13) ストレスがたまっている	37.6	58.8	3.7
(14) ものごとに集中できない	22.5	73.7	3.8
(15) イライラしてひどく怒ってしまうことがある	28.8	67.3	3.9
(16) もの忘れがひどい	30.1	66.1	3.8
(17) 転びやすくなった	24.0	72.0	4.0
(18) 健診で指導を受けた	35.7	58.3	6.0
(19) 高血圧・高脂血症・糖尿病である	37.3	59.3	3.3
(20) 禁煙ができない	13.1	81.7	5.2
(21) 医者にかかっている	56.7	41.0	2.3

回答者のうち、「運動不足である」と回答された方の割合が 68.0%となっている。また、「疲れがたまっている」「ストレスがたまっている」と回答された方の割合はいずれも 30%となっている。

また、認知症との関連が深いとされる「もの忘れがひどい」についても、30.1%となっており、高齢化社会が進行していく中での懸念材料となることがうかがわれる。

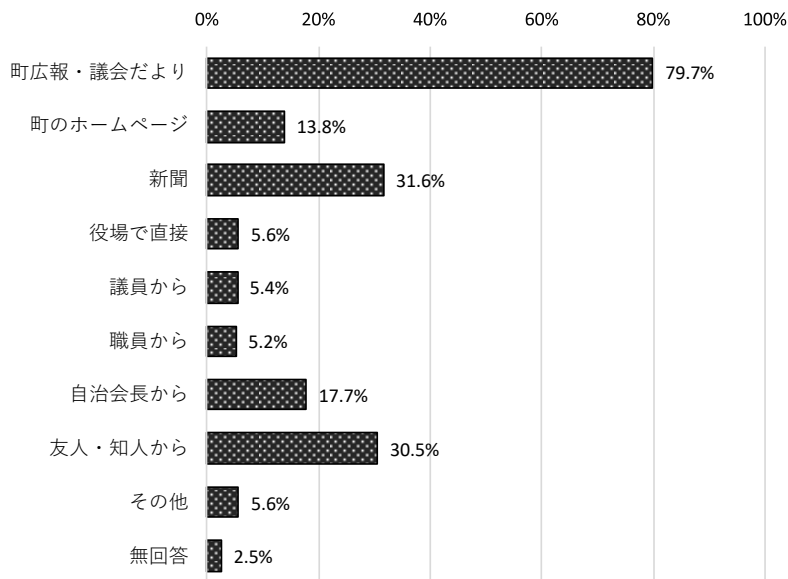


## 6 情報通信について

### 1. 町に関する情報を主に何から得ているかー調査票問 19

#### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
町広報・議会だより	692	79.7	79.2
町のホームページ	120	13.8	6.8
新聞	274	31.6	33.5
役場で直接	49	5.6	3.7
議員から	47	5.4	5.2
職員から	45	5.2	2.7
自治会長から	154	17.7	12.0
友人・知人から	265	30.5	31.5
その他	49	5.6	4.9
無回答	22	2.5	4.3
回答数	1,717		
回答者数	868		



回答者のうち、「町広報・議会だより」と回答された方の割合が 79.7%と高い割合となっている。「町のホームページ」と回答された方の割合は、前回調査よりも 7ポイント上昇している。

また、「自治会長から」についても、前回調査よりも 5.7ポイント上昇しており、地域でのつながりがつよまっていることがうかがわれる。

## 【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)								
		町広報・議会だより	町のホームページ	新聞	役場で直接	議員から	自治会長から	友人・知人から	その他	無回答
全体	868	79.7	13.8	31.6	5.6	5.4	5.2	17.7	30.5	5.6
10・20 歳代	40	45.0	15.0	15.0	2.5	0.0	7.5	2.5	22.5	12.5
30 歳代	93	63.4	20.4	10.8	5.4	1.1	6.5	7.5	34.4	9.7
40 歳代	88	78.4	21.6	25.0	5.7	3.4	6.8	9.1	35.2	8.0
50 歳代	103	82.5	16.5	31.1	7.8	2.9	5.8	13.6	23.3	4.9
60 歳代	205	84.9	12.7	26.8	5.4	3.9	3.9	17.6	30.7	4.4
70 歳代	184	88.0	3.8	46.7	6.5	10.9	5.4	26.1	28.3	2.2
80 歳以上	131	79.4	18.3	45.0	5.3	9.2	3.8	28.2	36.6	6.1

## 【地区別】

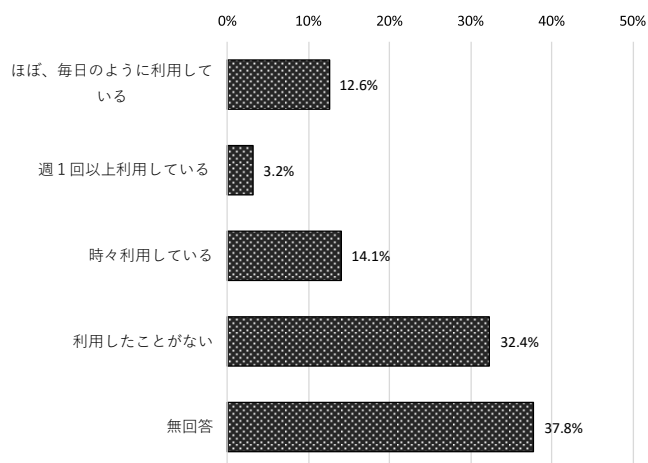
	人数(人)	割合(%)								
		町広報・議会だより	町のホームページ	新聞	役場で直接	議員から	自治会長から	友人・知人から	その他	無回答
全体	868	79.7	13.8	31.6	5.6	5.4	5.2	17.7	30.5	5.6
美合地区	65	78.5	10.8	35.4	7.7	1.5	7.7	20.0	36.9	6.2
造田地区	44	84.1	18.2	22.7	6.8	6.8	2.3	22.7	31.8	9.1
長炭地区	106	83.0	13.2	36.8	7.5	8.5	8.5	12.3	21.7	7.5
吉野地区	112	78.6	17.0	28.6	5.4	1.8	4.5	11.6	33.9	5.4
神野地区	65	73.8	13.8	33.8	9.2	7.7	4.6	32.3	40.0	6.2
四条地区	132	79.5	15.2	34.8	5.3	5.3	3.8	12.9	32.6	6.8
高篠地区	124	82.3	14.5	28.2	5.6	3.2	4.8	12.9	26.6	5.6
七箇地区	66	71.2	18.2	30.3	6.1	13.6	4.5	24.2	24.2	6.1
十郷地区	122	80.3	8.2	32.8	2.5	4.9	5.7	25.4	33.6	1.6



2. 普段、パソコンやスマホ(携帯電話)で、電子メールのやりとりやホームページの閲覧をしていますか。  
 ー調査票問 20、21

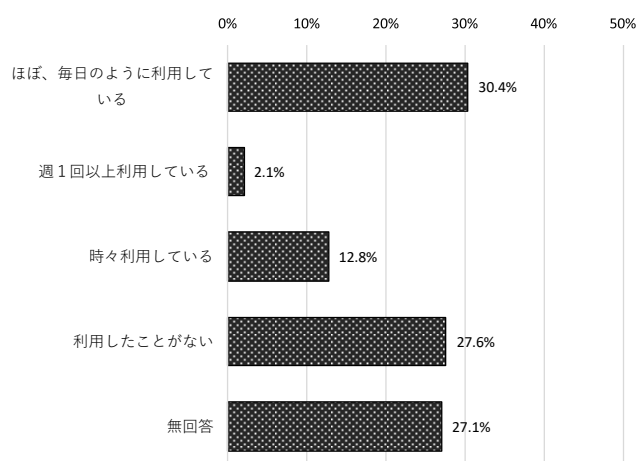
【パソコン】

	人数 (人)	割合 (%)	前回調査 (%)
ほぼ、毎日のように利用している	109	12.6	7.9
週1回以上利用している	28	3.2	4.9
時々利用している	122	14.1	9.6
利用したことがない	281	32.4	53.9
無回答	328	37.8	23.7
全体	868	100.0	



【スマホ(携帯電話)】

	人数 (人)	割合 (%)	前回調査 (%)
ほぼ、毎日のように利用している	264	30.4	15.3
週1回以上利用している	18	2.1	2.5
時々利用している	111	12.8	8.0
利用したことがない	240	27.6	52.2
無回答	235	27.1	22.0
全体	868	100.0	

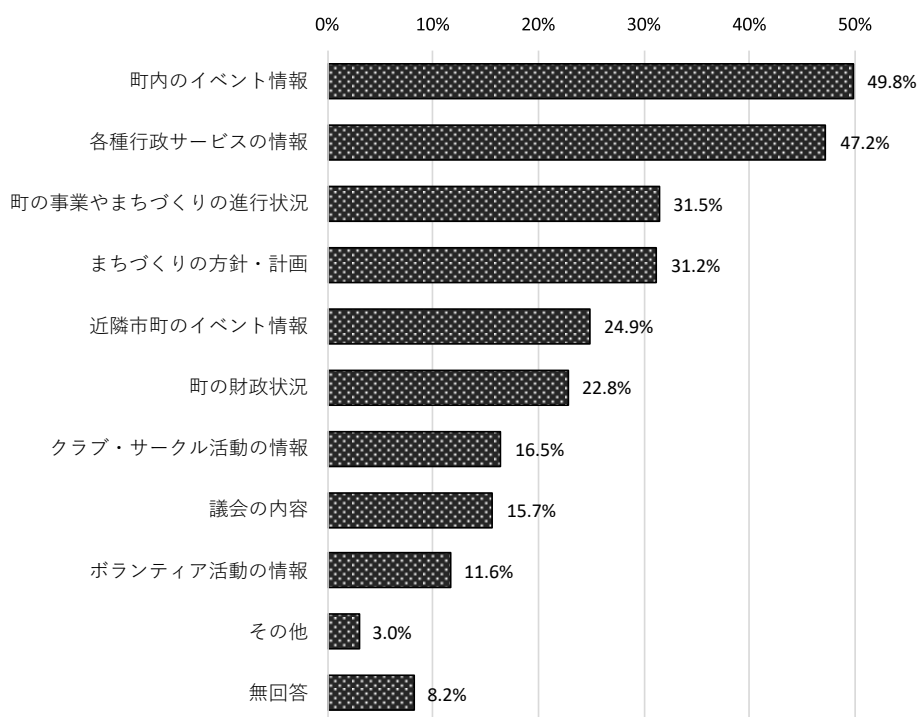


パソコンもスマホ(携帯)も「利用したことがない」と回答された方の割合は、前回調査よりも大幅に減少しており、生活の中でデジタル通信機器の占める位置の大きさがうかがえる。

### 3. 町からどのような内容の情報を入手したいかー調査票問 22

#### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
町内のイベント情報	432	49.8	42.6
各種行政サービスの情報	410	47.2	44.5
町の事業やまちづくりの進行状況	273	31.5	39.8
まちづくりの方針・計画	271	31.2	43.6
近隣市町のイベント情報	216	24.9	19.6
町の財政状況	198	22.8	36.2
クラブ・サークル活動の情報	143	16.5	17.5
議会の内容	136	15.7	32.9
ボランティア活動の情報	101	11.6	13.6
その他	26	3.0	2.4
無回答	71	8.2	7.7
回答数	2,277		
回答者数	868		



「町内のイベント情報」「各種行政サービスの情報」と回答された方の割合は、前回調査と同様に40%をこえている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)										
		町内のイベント情報	近隣市町のイベント情報	まちづくりの方針・計画	町の事業やまちづくりの進行状況	町の財政状況	各種行政サービスの情報	クラブ・サークル活動の情報	ボランティア活動の情報	議会の内容	その他	無回答
全体	868	49.8	24.9	31.2	31.5	22.8	47.2	16.5	11.6	15.7	3.0	8.2
10・20 歳代	40	60.0	22.5	20.0	25.0	20.0	35.0	15.0	7.5	0.0	0.0	2.5
30 歳代	93	71.0	39.8	14.0	23.7	15.1	33.3	21.5	9.7	8.6	4.3	5.4
40 歳代	88	64.8	46.6	18.2	27.3	13.6	48.9	27.3	9.1	10.2	3.4	1.1
50 歳代	103	62.1	31.1	25.2	28.2	22.3	56.3	17.5	12.6	17.5	1.0	3.9
60 歳代	205	42.4	18.5	35.1	33.2	23.4	51.2	17.6	10.7	12.2	2.0	11.2
70 歳代	184	39.1	18.5	44.0	34.8	31.0	49.5	13.6	15.8	19.6	2.7	8.2
80 歳以上	131	35.9	13.7	35.1	37.4	24.4	43.5	5.3	11.5	26.7	5.3	16.0

## 7 地域活動について

1. 自治会や何らかのグループの組織に加わって、まちづくり活動への参加状況及び今後の、参加、継続希望について－調査票問 23、24

	参加している 現在	今後参加したい・ 続けたい
(1) 自治会・町内会活動	55.4	24.8
(2) 伝統芸能や祭りなどの保存活動	25.6	16.2
(3) 保育所・幼稚園・学校(PTA活動など)の行事	15.4	13.0
(4) 子ども会やスポーツ少年団、青少年の自主活動などの支援	7.7	10.9
(5) 青年グループ・団体活動	2.1	6.8
(6) 女性の会など女性グループ・団体活動	7.5	8.9
(7) 老人クラブ活動	10.1	10.8
(8) JA、森林組合、商工会などの経済団体活動	6.2	7.8
(9) スポーツ・レクリエーション活動	9.0	15.1
(10) 趣味や教養、芸術などのクラブ・サークル活動	10.8	19.6
(11) 歴史・文化の学習、調査、保存活動	3.5	10.3
(12) 生涯学習や読書、公民館活動などのボランティア活動	6.5	11.1
(13) 子どもの遊びや体験活動、教育などのボランティア活動	3.0	9.2
(14) パソコンの研修などのIT(情報通信)ボランティア活動	0.6	8.9
(15) 食育など健康づくり、保健・医療、衛生などの保健活動	3.8	10.8
(16) 子育て支援のボランティア活動	1.7	8.9
(17) 高齢者や障害者へのボランティア活動	5.1	10.1
(18) 自然の保護や自然体験、花植えなどのボランティア活動	2.6	12.7
(19) 里山の保全や植林、林業体験などの森林ボランティア活動	1.7	7.8
(20) 公園や道路、河川の維持・管理などのボランティア活動	4.3	9.1
(21) うどん打ち体験や観光ガイドなど観光ボランティア活動	1.2	7.4
(22) ごみのリサイクルや地球環境保全などの環境ボランティア活動	10.3	10.4
(23) 共同購入、食べ物の安全性などの消費者活動	3.3	8.3
(24) 自主防災や防火、防犯、交通安全などのボランティア活動	8.1	10.7
(25) 特産品・名物料理などの「まんのうブランド」の開発・販売	2.0	9.4
(26) まちづくり活動(研究会、情報発信、人材育成など)	1.8	7.3
(27) まちづくりイベントの主催・協力・参加	5.3	12.7
(28) 行政の各種委員会等への参加	2.8	7.6
(29) 他地域の人々との交流活動や国際交流	2.6	9.4
無回答	31.3	44.1
全体	100.0	100.0

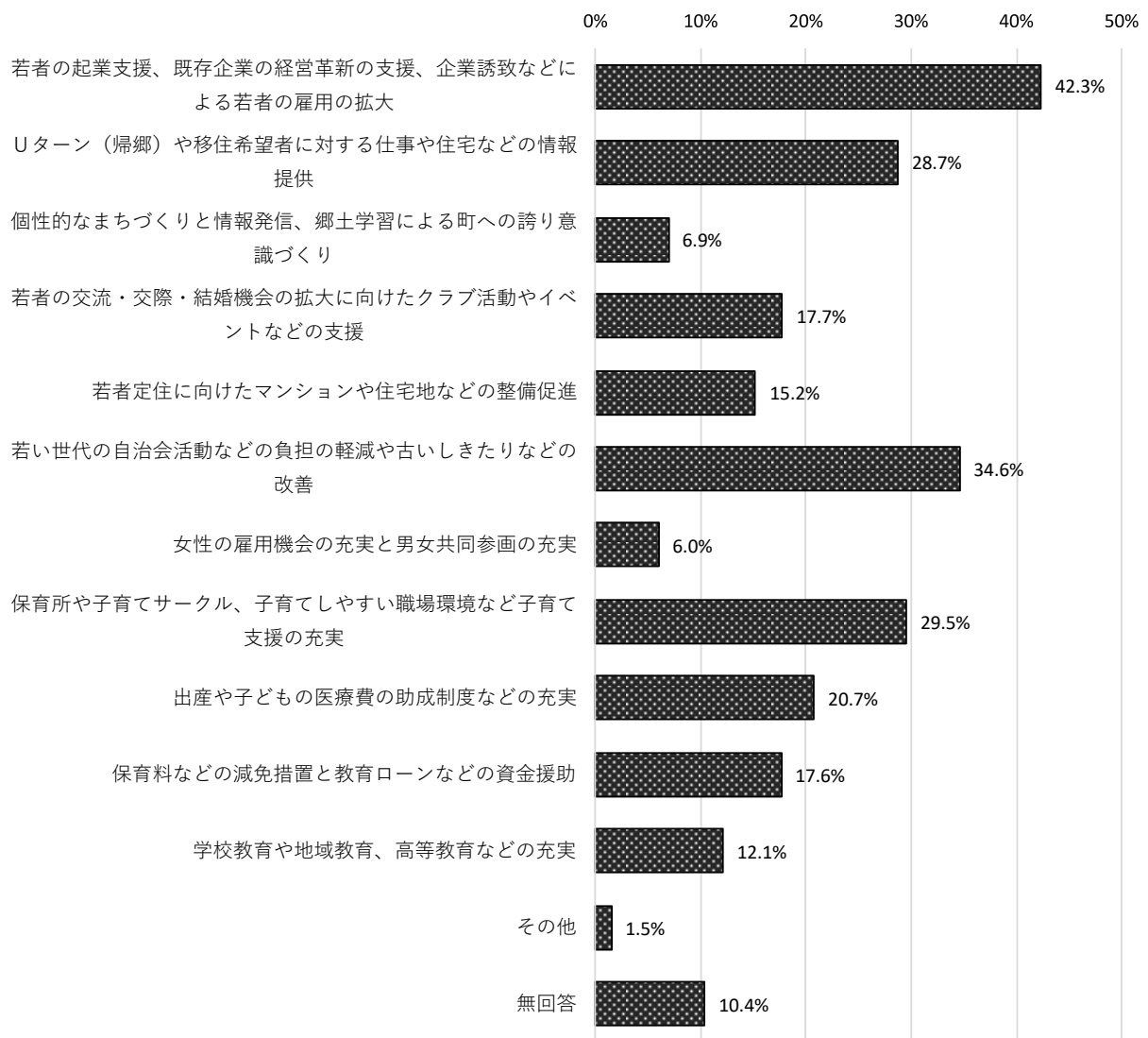


## 8 少子化対策について

1. 少子化が進むまんのう町において、若者の定住や結婚・子育てのためにどのようなことが必要だと思うことについて－調査票問 25

	人数(人)	割合(%)
若者の起業支援、既存企業の経営革新支援、企業誘致などによる若者の雇用拡大	367	42.3
若い世代の自治会活動などの負担の軽減や古いしきたりなどの改善	300	34.6
保育所や子育てサークル、子育てしやすい職場環境など子育て支援の充実	256	29.5
Uターン(帰郷)や移住希望者に対する仕事や住宅などの情報提供	249	28.7
出産や子どもの医療費の助成制度などの充実	180	20.7
若者の交流・交際・結婚機会の拡大に向けたクラブ活動やイベントなどの支援	154	17.7
保育料などの減免措置と教育ローンなどの資金援助	153	17.6
若者定住に向けたマンションや住宅地などの整備促進	132	15.2
学校教育や地域教育、高等教育などの充実	105	12.1
個性的なまちづくりと情報発信、郷土学習による町への誇り意識づくり	60	6.9
女性の雇用機会の充実と男女共同参画の充実	52	6.0
その他	13	1.5
無回答	90	10.4
回答数	2,111	
回答者数	868	

「若者の起業支援、既存企業の経営革新支援、企業誘致などによる若者の雇用拡大」、  
「若い世代の自治会活動などの負担の軽減や古いしきたりなどの改善」と回答された方の割合は、  
40%をこえている。



2. (結婚している、していないに関わらず)今いる子どもの人数も含めて、理想的な子どもの数は何人と考えるかー調査票問 26

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1人	15	1.7
2人	319	36.8
3人	418	48.2
4人	25	2.9
5人以上	6	0.7
子どもはいらない	19	2.2
無回答	66	7.6
全体	868	100.0

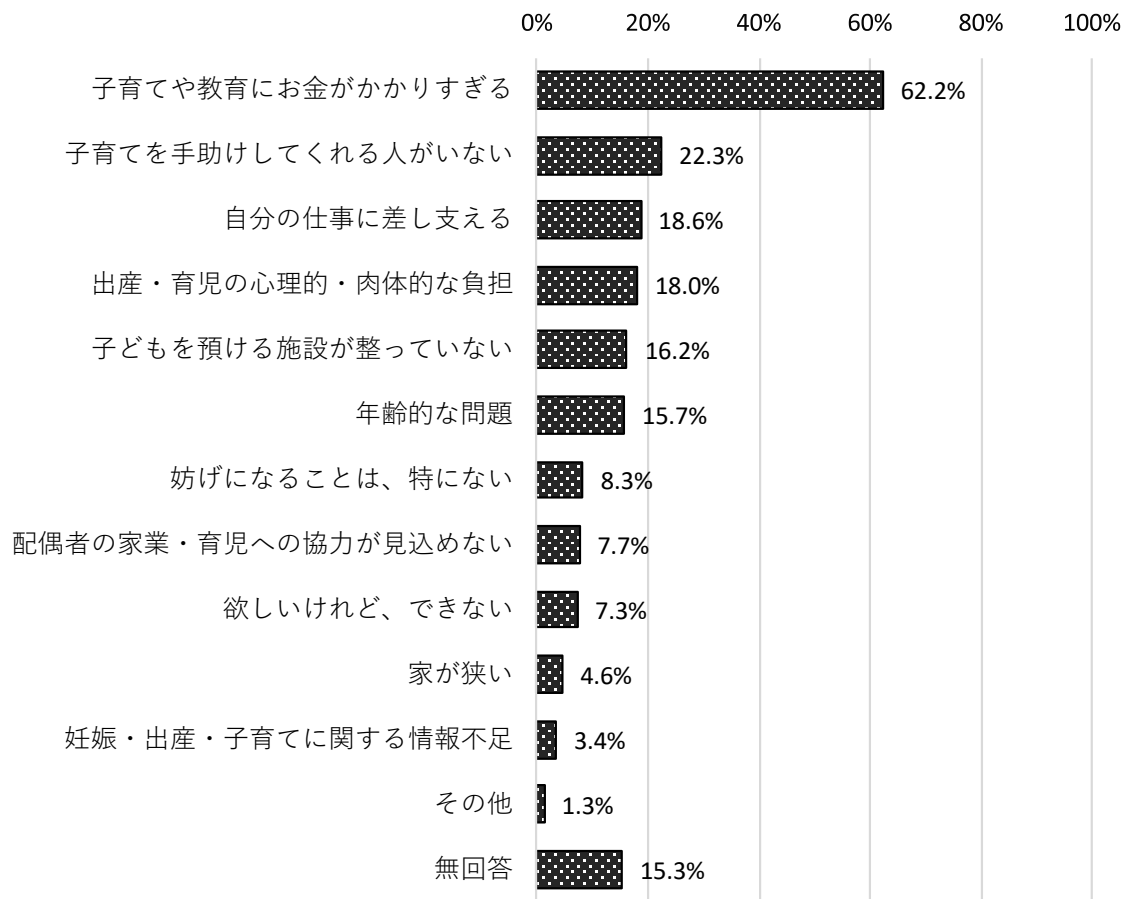


22. 理想的な子どもの数を実現するうえで、妨げとなることは何と考えるかー調査票問 27  
 (「21. (結婚している、していないに関わらず)今いる子どもの人数も含めて、理想的な子どもの数は何人と考えるか」において「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」と回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
子育てや教育にお金がかかりすぎる	487	62.2
子育てを手助けしてくれる人がいない	175	22.3
自分の仕事に差し支える	146	18.6
出産・育児の心理的・肉体的な負担	141	18.0
子どもを預ける施設が整っていない	127	16.2
年齢的な問題	123	15.7
妨げになることは、特にない	65	8.3
配偶者の家業・育児への協力が見込めない	60	7.7
欲しいけれど、できない	57	7.3
家が狭い	36	4.6
妊娠・出産・子育てに関する情報不足	27	3.4
その他	10	1.3
無回答	120	15.3
回答数	1,574	
回答者数	783	

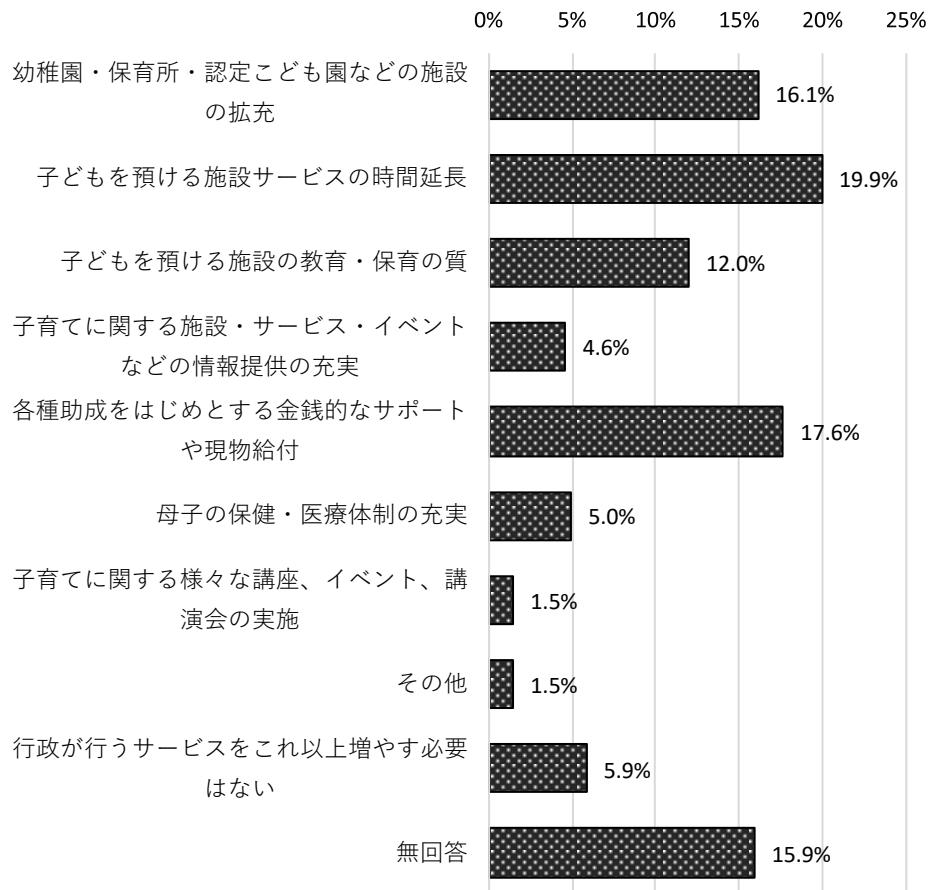
「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答された方の割合は、62.2%となっている。  
 次が「子育てを手助けしてくれる人がいない」で、22.3%となっている。  
 また、「出産・行くの心理的・肉体的な負担」が 18.0%となっているなど、子育て支援の政策をよりすすめて、理想の家族像が実現できるまちづくりが望まれる。





3. 今後、出産・育児に関するサービスとして、まんのう町が最も力を入れるべきだと思うことについて  
—調査票問 28

	人数(人)	割合(%)
幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充	140	16.1
子どもを預ける施設サービスの時間延長	173	19.9
子どもを預ける施設の教育・保育の質	104	12.0
子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	40	4.6
各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付	153	17.6
母子の保健・医療体制の充実	43	5.0
子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施	13	1.5
その他	13	1.5
行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	51	5.9
無回答	138	15.9
全体	868	100.0



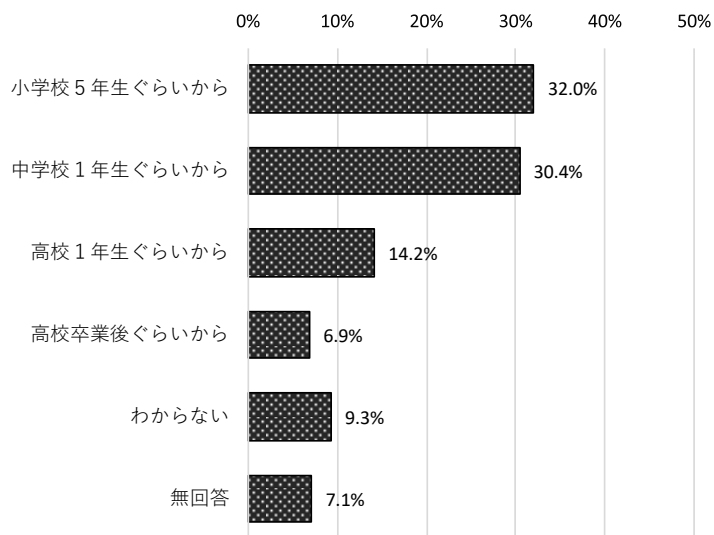
「子どもを預ける施設サービスの時間延長」と回答された方の割合は、19.9%となっている。次が「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」で、17.6%となっている。

一方で「行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない」が 5.9%となっているなど、子育て支援の政策には、まんのう町全体での理解が必要と感じられる。

## 9 教育について

1. 子どもが親の保護のもとから次第に離れ、大人になっていくためのいろんな体験を始めるのはいつごろからがよいと考えるかー調査票問 29

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
小学校5年生ぐらいから	278	32.0	32.5
中学校1年生ぐらいから	264	30.4	33.4
高校1年生ぐらいから	123	14.2	16.2
高校卒業後ぐらいから	60	6.9	7.6
わからない	81	9.3	6.1
無回答	62	7.1	4.2
全体	868	100.0	

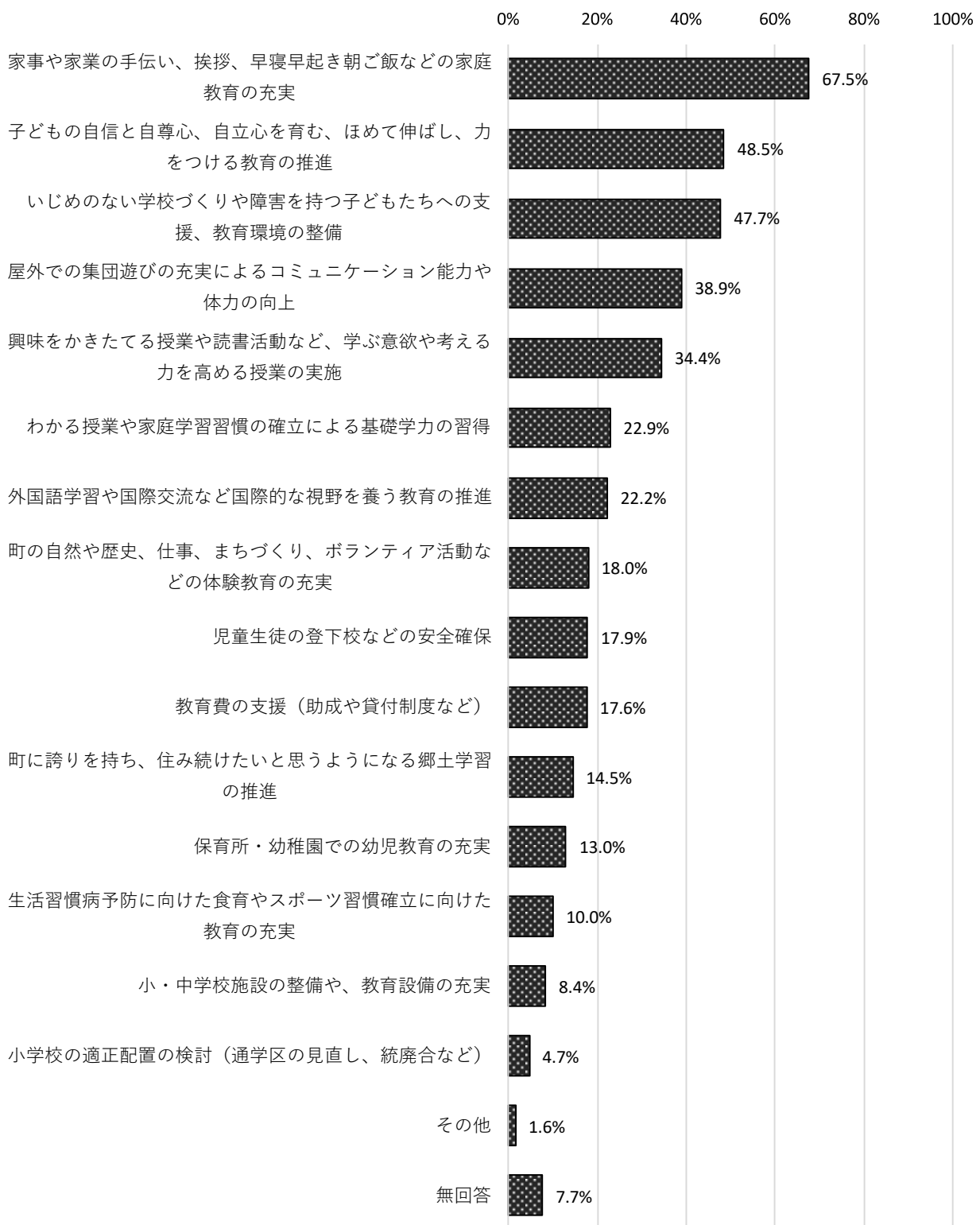


「わからない」と回答された方の割合が上昇しているが、ほぼ前回調査と同様の結果となっている。

2. 子どもの教育について重要と考えることについて—調査票問 30

【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
家事や家業の手伝い、挨拶、早寝早起き朝ご飯などの家庭教育の充実	586	67.5	77.0
子どもの自信と自尊心、自立心を育む、ほめて伸ばし、力をつける教育の推進	421	48.5	49.1
いじめのない学校づくりや障害を持つ子どもたちへの支援、教育環境の整備	414	47.7	50.7
屋外での集団遊びの充実によるコミュニケーション能力や体力の向上	338	38.9	34.9
興味をかきたてる授業や読書活動など、学ぶ意欲や考える力を高める授業の実施	299	34.4	36.8
わかる授業や家庭学習習慣の確立による基礎学力の習得	199	22.9	29.1
外国語学習や国際交流など国際的な視野を養う教育の推進	193	22.2	14.2
町の自然や歴史、仕事、まちづくり、ボランティア活動などの体験教育の充実	156	18.0	26.1
児童生徒の登下校などの安全確保	155	17.9	26.6
教育費の支援(助成や貸付制度など)	153	17.6	12.6
町に誇りを持ち、住み続けたいと思うようになる郷土学習の推進	126	14.5	22.8
保育所・幼稚園での幼児教育の充実	113	13.0	13.9
生活習慣病予防に向けた食育やスポーツ習慣確立に向けた教育の充実	87	10.0	12.9
小・中学校施設の整備や、教育設備の充実	73	8.4	13.9
小学校の適正配置の検討(通学区の見直し、統廃合など)	41	4.7	10.5
その他	14	1.6	0.9
無回答	67	7.7	3.4
回答数	3,435		
回答者数	868		



「家事や家業の手伝い、挨拶、早寝早起き朝ご飯などの家庭教育の充実」と回答された方の割合が67.5%と最も高くなっている。次に「子どもの自信と自尊心、自立心を育む、ほめて伸ばし、力をつける教育の推進」と回答された方の割合48.5%となっている。前回調査と比べて「外国語学習や国際交流など国際的な視野を養う教育の推進」、「教育費の支援(助成や貸付制度など)」の回答された方の割合が上昇している。

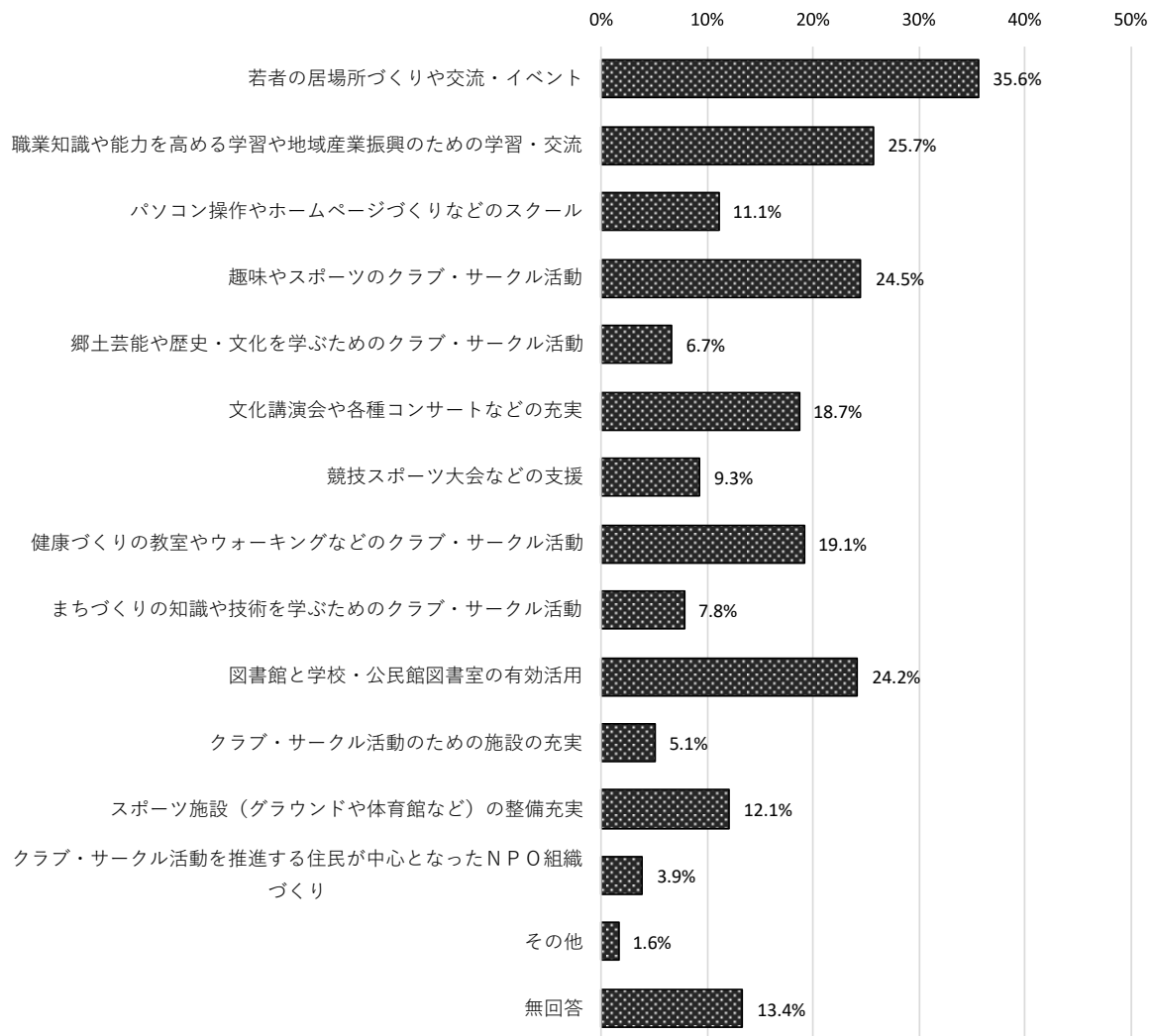
### 3. 町の社会教育や社会体育に望むことについて－調査票問 31

#### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
若者の居場所づくりや交流・イベント	309	35.6	34.0
職業知識や能力を高める学習や地域産業振興のための学習・交流	223	25.7	35.0
パソコン操作やホームページづくりなどのスクール	96	11.1	15.7
趣味やスポーツのクラブ・サークル活動	213	24.5	26.0
郷土芸能や歴史・文化を学ぶためのクラブ・サークル活動	58	6.7	11.4
文化講演会や各種コンサートなどの充実	162	18.7	18.5
競技スポーツ大会などの支援	81	9.3	11.6
健康づくりの教室やウォーキングなどのクラブ・サークル活動	166	19.1	23.4
まちづくりの知識や技術を学ぶためのクラブ・サークル活動	68	7.8	12.2
図書館と学校・公民館図書室の有効活用	210	24.2	28.8
クラブ・サークル活動のための施設の充実	44	5.1	8.0
スポーツ施設(グラウンドや体育館など)の整備充実	105	12.1	12.8
クラブ・サークル活動を推進する住民が中心となったNPO組織づくり	34	3.9	5.5
その他	14	1.6	0.9
無回答	116	13.4	7.1
回答数	1,899		
回答者数	868		

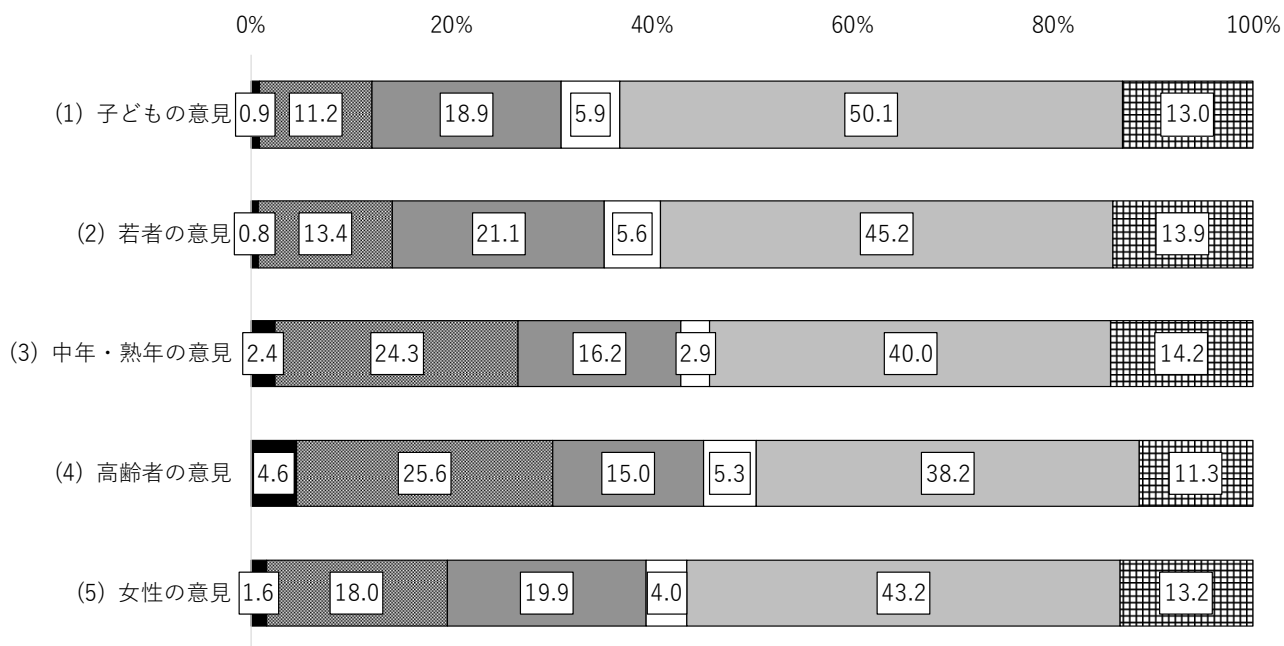
「若者の居場所づくりや交流・イベント」と回答された方の割合が 35.6%と最も高くなっており、前回調査同様最も高くなっている。

次に「職業知識や能力を高める学習や地域産業振興のための学習・交流」と回答された方の割合が 25.7%となっている。



#### 4. 政策への意見の反映について—調査票問 32

	反映されている 十分	反映されている ある程度	反映されていない あまり	反映されていない 全く	わからない	無回答
(1) 子どもの意見	0.9	11.2	18.9	5.9	50.1	13.0
(2) 若者の意見	0.8	13.4	21.1	5.6	45.2	13.9
(3) 中年・熟年の意見	2.4	24.3	16.2	2.9	40.0	14.2
(4) 高齢者の意見	4.6	25.6	15.0	5.3	38.2	11.3
(5) 女性の意見	1.6	18.0	19.9	4.0	43.2	13.2



■十分反映されている ■ある程度反映されている ■あまり反映されていない □全く反映されていない □わからない ■無回答

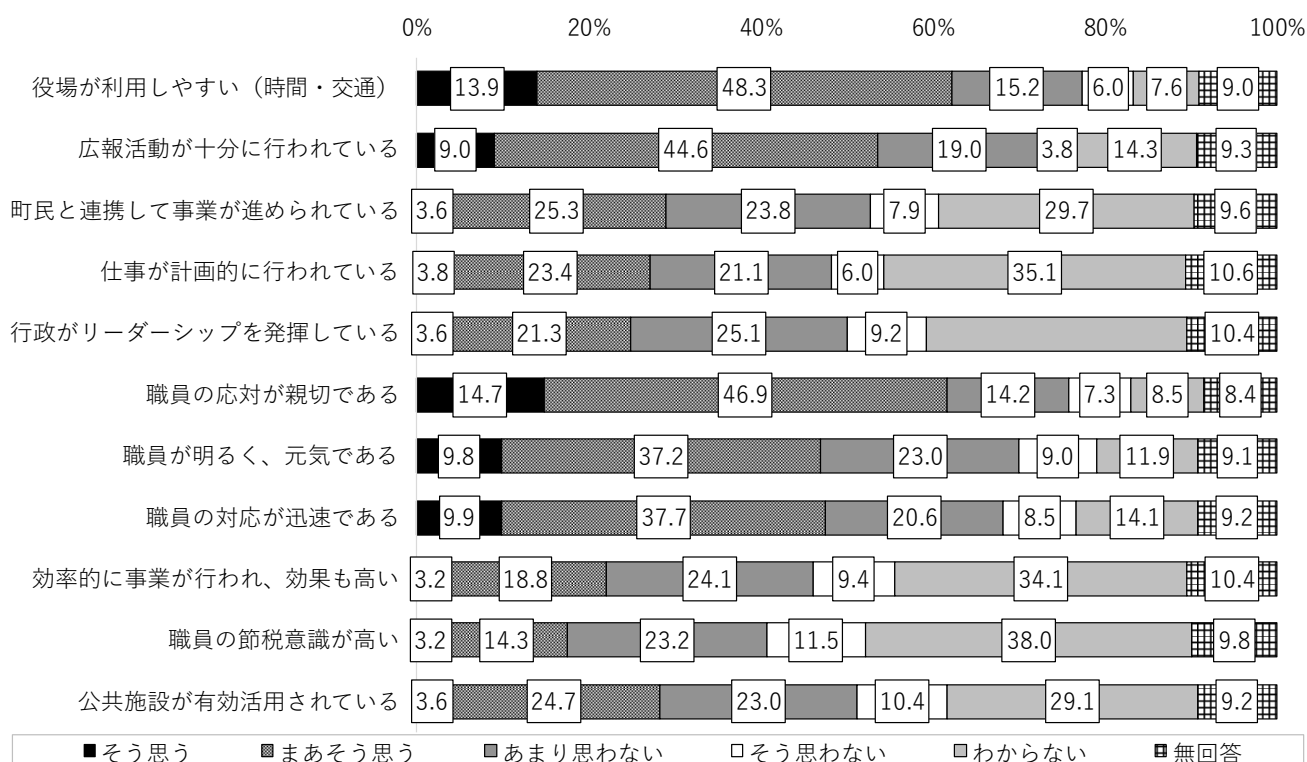
反映されている(「十分反映されている」「ある程度反映されている」の合計)と回答された方の割合が最も高いのは「高齢者」となっている。一方で、最も低いのは「子ども」、次に「若者」となっている。

全ての世代に魅力的なまちになるためには、町民の多様な特性に対応した政策づくりが必要であることがうかがえる。



5. 普段町政について感じること—調査票問 33

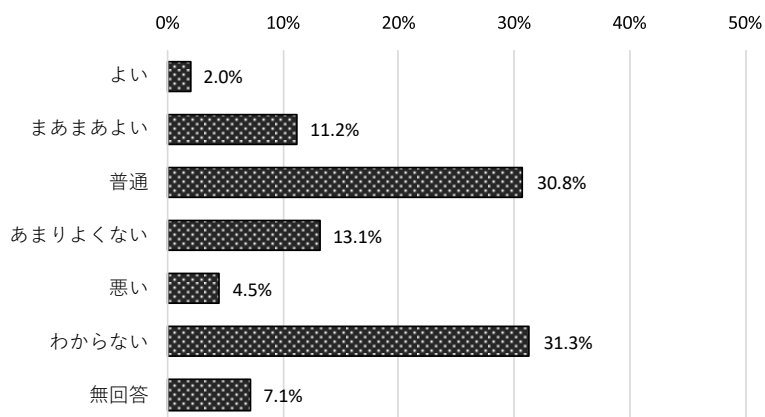
	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない	無回答
(1) 役場が利用しやすい(時間・交通)	13.9	48.3	15.2	6.0	7.6	9.0
(2) 広報活動が十分に行われている	9.0	44.6	19.0	3.8	14.3	9.3
(3) 町民と連携して事業が進められている	3.6	25.3	23.8	7.9	29.7	9.6
(4) 仕事が計画的に行なわれている	3.8	23.4	21.1	6.0	35.1	10.6
(5) 行政がリーダーシップを発揮している	3.6	21.3	25.1	9.2	30.4	10.4
(6) 職員の対応が親切である	14.7	46.9	14.2	7.3	8.5	8.4
(7) 職員が明るく、元気である	9.8	37.2	23.0	9.0	11.9	9.1
(8) 職員の対応が迅速である	9.9	37.7	20.6	8.5	14.1	9.2
(9) 効率的に事業が行われ、効果も高い	3.2	18.8	24.1	9.4	34.1	10.4
(10) 職員の節税意識が高い	3.2	14.3	23.2	11.5	38.0	9.8
(11) 公共施設が有効活用されている	3.6	24.7	23.0	10.4	29.1	9.2



6. 町の財政状況について、どのように考えるかー調査票問 34

【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
よい	17	2.0	0.1
まあまあよい	97	11.2	4.9
普通	267	30.8	19.0
あまりよくない	114	13.1	24.2
悪い	39	4.5	10.8
わからない	272	31.3	35.4
無回答	62	7.1	5.6
全体	868	100.0	

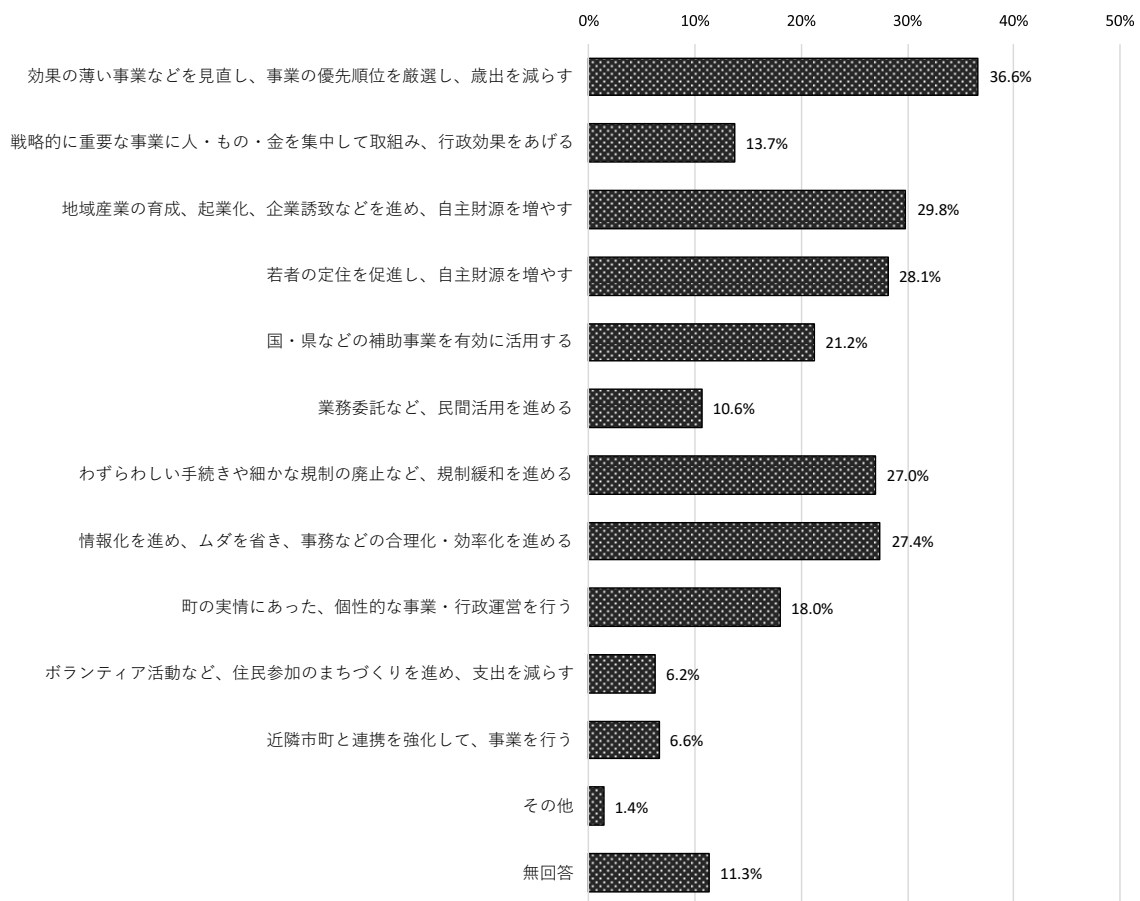


よい（「よい」「まあまあよい」の合計）と回答された方の割合は 13.2%となっており、前回調査と比べて 8.2 ポイント上昇している。

7. 行政改革・財政改革のために、重要だと思うことについて－調査票問 35

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす	318	36.6	37.2
戦略的に重要な事業に人・もの・金を集中して取組み、行政効果をあげる	119	13.7	6.4
地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす	259	29.8	27.6
若者の定住を促進し、自主財源を増やす	244	28.1	25.1
国・県などの補助事業を有効に活用する	184	21.2	17.3
業務委託など、民間活用を進める	92	10.6	9.1
わずらわしい手続きや細かな規制の廃止など、規制緩和を進める	234	27.0	15.8
情報化を進め、ムダを省き、事務などの合理化・効率化を進める	238	27.4	19.7
町の実情にあった、個性的な事業・行政運営を行う	156	18.0	25.9
ボランティア活動など、住民参加のまちづくりを進め、支出を減らす	54	6.2	11.6
近隣市町と連携を強化して、事業を行う	57	6.6	3.8
その他	12	1.4	0.8
無回答	98	11.3	
回答数	2,065		
回答者数	868		

「効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす」と回答された方の割合は36.6%となっており、前回調査と同様に最も高くなっている。次に「地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす」が29.8%となっている。前回調査と比べて10ポイント以上上昇しているのは、「わずらわしい手続きや細かな規制の廃止など、規制緩和を進める」となっている。

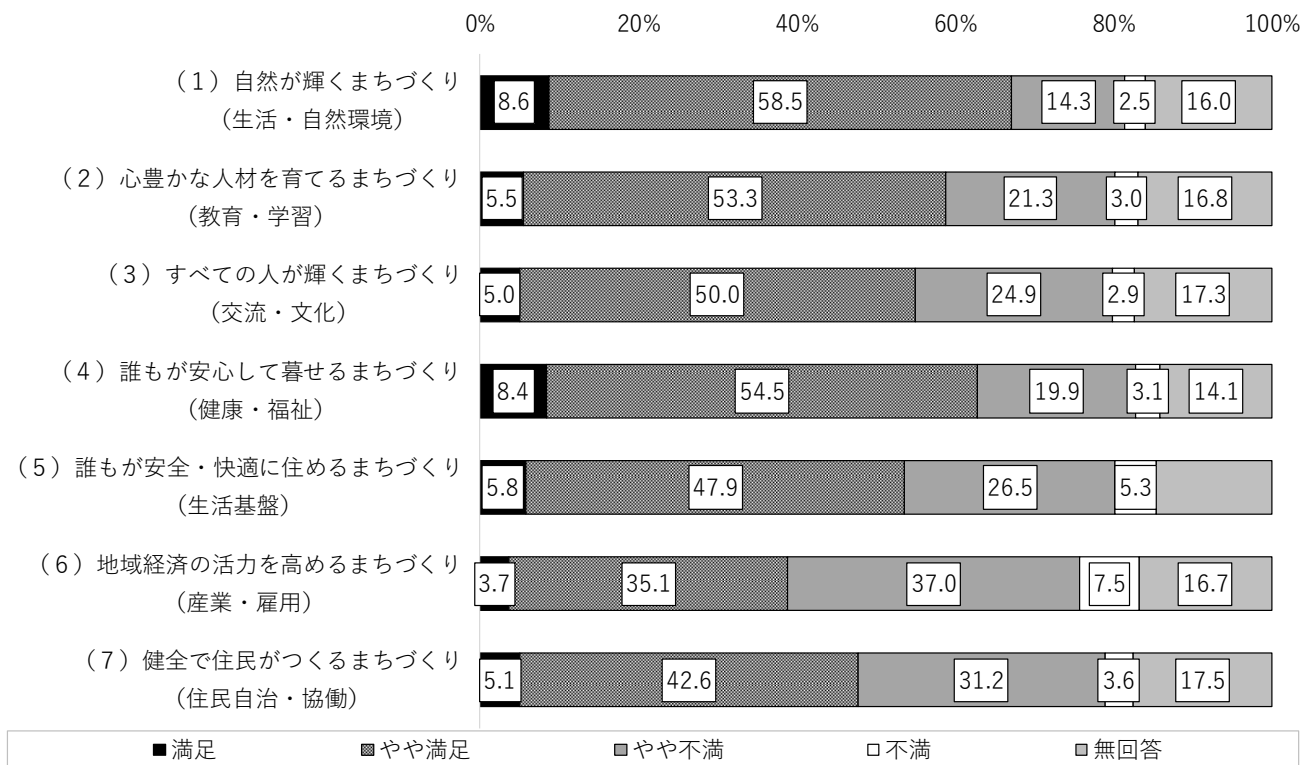


## 10 各施策の満足度及び重要度について

1. まんのう町が総合計画の体系に基づいて取り組んでいる各分野についての満足度及び重要度について—調査票問 36、37

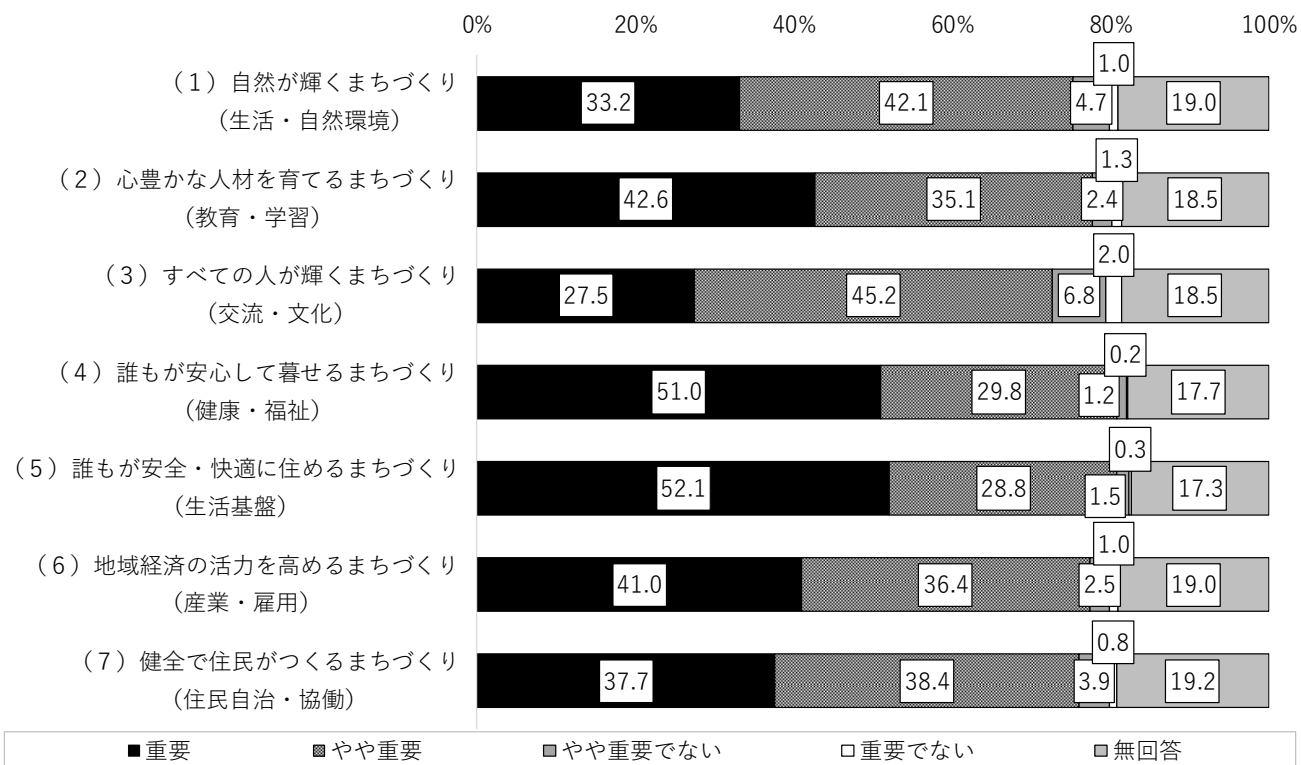
### ■満足度

	割合(%)				
	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
<b>基本目標1 自然と人々が輝くまち</b>					
(1)自然が輝くまちづくり(生活・自然環境) 【生活環境や自然環境の保全など】	8.6	58.5	14.3	2.5	16.0
(2)心豊かな人材を育てるまちづくり(教育・学習) 【学校教育の充実、生涯学習、生涯スポーツの支援など】	5.5	53.3	21.3	3.0	16.8
(3)すべての人が輝くまちづくり(交流・文化) 【人権の尊重、国際交流の推進、芸術・文化の振興など】	5.0	50.0	24.9	2.9	17.3
<b>基本目標2 安心と安全・快適なまち</b>					
(4)誰もが安心して暮せるまちづくり(健康・福祉) 【健康づくり、地域福祉の推進、次世代育成の支援など】	8.4	54.5	19.9	3.1	14.1
(5)誰もが安全・快適に住めるまちづくり(生活基盤) 【交通網の整備、住環境の整備、情報通信基盤の整備など】	5.8	47.9	26.5	5.3	14.5
<b>基本目標3 活力創造と改革のまち</b>					
(6)地域経済の活力を高めるまちづくり(産業・雇用) 【農林業、商工業の振興と雇用創出、観光の振興など】	3.7	35.1	37.0	7.5	16.7
(7)健全で住民がつくるまちづくり(住民自治・協働) 【行財政の健全化、住民自治の確立と支援、協働の推進など】	5.1	42.6	31.2	3.6	17.5



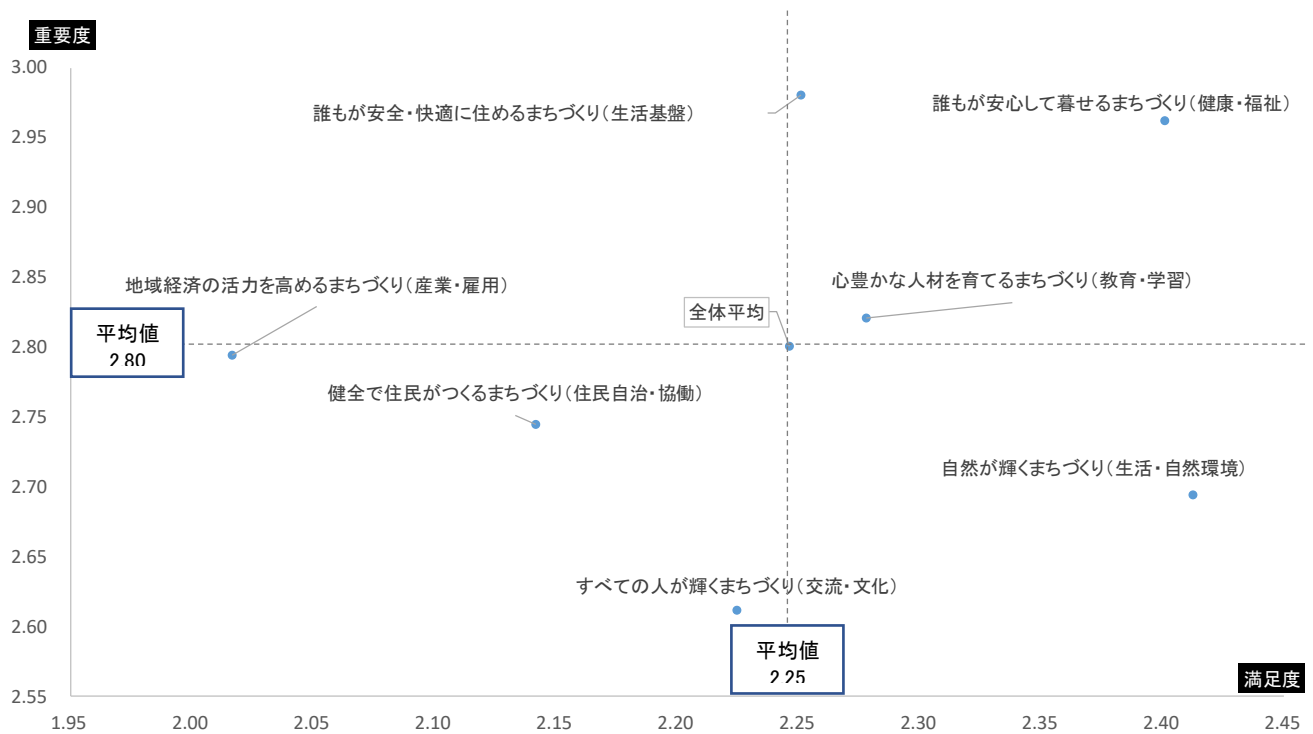
■重要度

	割合(%)				
	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	無回答
<b>基本目標1 自然と人々が輝くまち</b>					
(1)自然が輝くまちづくり(生活・自然環境) 【生活環境や自然環境の保全など】	33.2	42.1	4.7	1.0	19.0
(2)心豊かな人材を育てるまちづくり(教育・学習) 【学校教育の充実、生涯学習、生涯スポーツの支援など】	42.6	35.1	2.4	1.3	18.5
(3)すべての人が輝くまちづくり(交流・文化) 【人権の尊重、国際交流の推進、芸術・文化の振興など】	27.5	45.2	6.8	2.0	18.5
<b>基本目標2 安心と安全・快適なまち</b>					
(4)誰もが安心して暮せるまちづくり(健康・福祉) 【健康づくり、地域福祉の推進、次世代育成の支援など】	51.0	29.8	1.2	0.2	17.7
(5)誰もが安全・快適に住めるまちづくり(生活基盤) 【交通網の整備、住環境の整備、情報通信基盤の整備など】	52.1	28.8	1.5	0.3	17.3
<b>基本目標3 活力創造と改革のまち</b>					
(6)地域経済の活力を高めるまちづくり(産業・雇用) 【農林業、商工業の振興と雇用創出、観光の振興など】	41.0	36.4	2.5	1.0	19.0
(7)健全で住民がつくるまちづくり(住民自治・協働) 【行財政の健全化、住民自治の確立と支援、協働の推進など】	37.7	38.4	3.9	0.8	19.2





## ■CS分析



### ★グラフの見方

満足度は平均より低く 重要度は平均より高い 【重要改善項目】	満足度が平均より高く 重要度も平均より高い
満足度は平均より低く 重要度も平均より低い	満足度は平均より高く 重要度は平均より低い

点数について

#### 満足度

満足: 4点

やや満足: 3点

やや不満: 2点

不満: 1点

#### 重要度

重要: 4点

やや重要: 3点

やや重要でない: 2点

重要でない: 1点

として、各選択肢の点数を、それを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除したものを各施策の得点としている。

満足度、重要度をそれぞれ点数化すると、特に重要改善度が高い(CS分析グラフの左上に位置している)のは「該当なし」であるが、重要度が高いものとして「心豊かな人材を育てるまちづくり(教育・学習)」、「誰もが安心して暮せるまちづくり(健康・福祉)」があげられる。

## 11 自由意見

まちづくりについてのご意見にあった主な意見(要約)※票の数値は意見数－調査票問 38

まちづくり			
空き家の問題	4	コンパクトシティーの実現	1
若者が生家で定住できるまちづくり	1	ボランティアポイントの導入	1
まちづくりは人づくりの意識を持つ	1		

地区			
自治会未加入者への対応	1	美合地区の森林の活用	1
町出身者以外の人にも輪に入れるように	2		

自然			
自然環境の保全	4	土器川に魚を戻してほしい	1
自然をいかしたまちづくり	1		

若者			
若い人の収入確保	1	非正規雇用から正規雇用へ	1
結婚の機会の充実	1		

産業			
工場の誘致	2	企業の誘致	2
スーパーマーケットの誘致	1	第一次産業（農業等）の振興	2
まんのう町の観光資源の活用	4	県外から人を呼べるイベントの誘致	1

子育て・教育			
小中学校のトイレの洋式化	1	小中学校の冷暖房完備	1
子ども園の内容	1	子ども医療費助成の延長	1
子どもの職業体験の充実	1	図書館の蔵書の充実	2
保育の充実（保育料が高い等）	2	出産費用の軽減	1
子どもへの郷土愛を育む教育を	1		

健康・高齢者			
高齢に伴う免許返納の問題	2	高齢になっても住みよいまちづくりを	4
老老介護の問題	1	独居老人の見守りの仕組みづくり	1
高齢者専用の共同住宅施設の新設	1	乳がん検診の対象年齢引き下げ	1
地域の集会所の活性化	1	高齢者の活躍の場を	1
施設			
介護施設の拡充、待ち時間の長さ	2	公共施設（体育館等）の混雑問題	1
公園の新規設置	1		

道路・交通			
街灯の充実	6	道路脇の草刈りの実施	3
危険個所への防犯カメラの設置	1	乗り合いバスの運行希望	6
国道 438 号線の工事が長い	1	道路の危険個所の調査と補修	2
車の運転マナーの向上	1		

情報			
告知放送の質の向上	1	SNS を活用した情報発信	1
町ホームページの充実	1	警報が出た際の学校対応	1
駅や病院の公衆電話の復活	1	町の特産品についての情報の充実	1

その他基盤			
利用する人の立場に立った施設づくり	1	住民税をもっと安く	1
廃校になった学校の有効活用	1	畑、農地の境界線の徹底	1
まちの景観を損ねないまちづくり	1		

美化・ごみ			
鳥獣被害、野犬等の被害	4	ごみ回収の回数増加や見直し	2
産業廃棄物の監視監督の徹底	1		

行政・職員・議員			
職員の質の向上、勤務態度の向上	5	行政と住民との関係性の整理	1
職員の定数の適正化	1	若い職員の活用	1
先進事例の研究	1	議員の答弁態度	1
窓口の土日開庁の実現	1	限られた財源での長期的なまちづくり	1

合併・その他			
町が一体となったイベントがない	3	町名は漢字がいい	1
効率の良いまちづくり	1	旧 3 町が協力し合うこと	1
近隣市町や県との連携の推進	2	外国語の看板について	1
このアンケートは回答が大変	5		

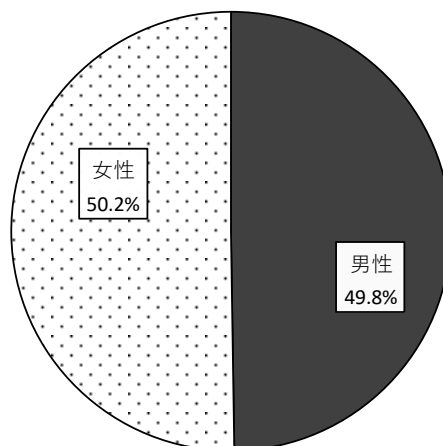
### 3. 調査結果分析【中学生アンケート】

#### 1 あなた自身のことについて

##### 1. 性別—調査票問1

	人数(人)	割合(%)
男性	205	49.8
女性	207	50.2
全体	412	100.0

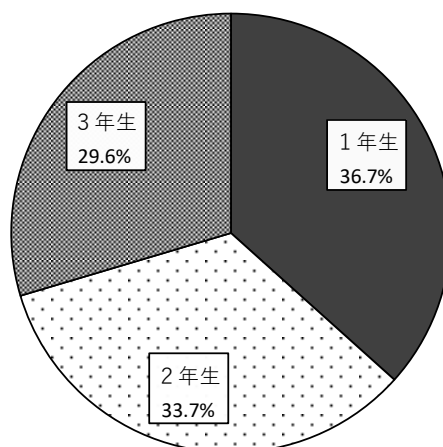
回答者の性別は、女性の割合のほうが0.4ポイント高くなっている。



##### 2. 学年—調査票問2

	人数(人)	割合(%)
1年生	151	36.7
2年生	139	33.7
3年生	122	29.6
全体	412	100.0

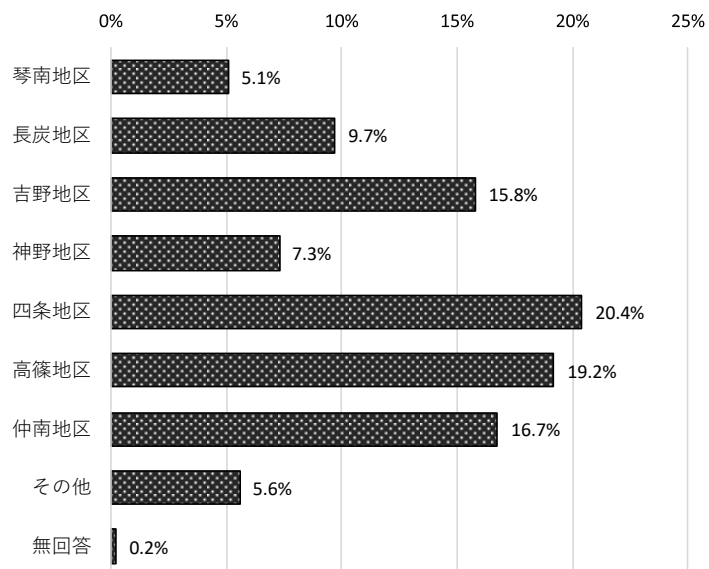
回答者の学年は、1年生の割合が高くなっている。次に2年生の割合が高くなっている。



### 3. 居住地区—調査票問3

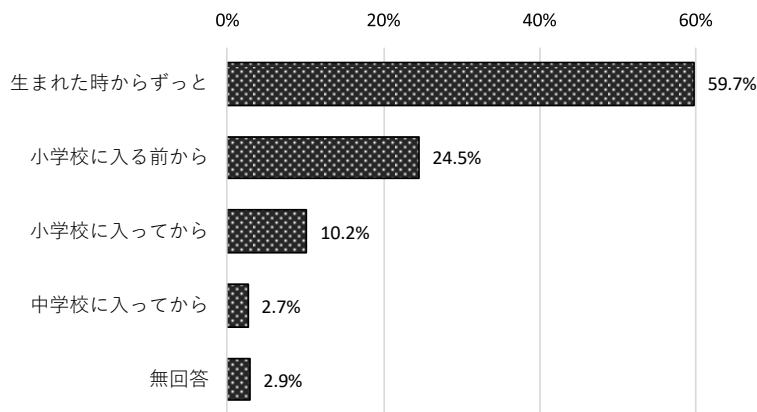
	人数(人)	割合(%)
琴南地区	21	5.1
長炭地区	40	9.7
吉野地区	65	15.8
神野地区	30	7.3
四条地区	84	20.4
高篠地区	79	19.2
仲南地区	69	16.7
その他	23	5.6
無回答	1	0.2
全体	412	100.0

回答者の居住地区は、四条地区、高篠地区、仲南地区の順に割合が高くなっている。



#### 4. 住み始めた時期—調査票問4

	人数 (人)	割合 (%)
生まれた時からずっと	246	59.7
小学校に入る前から	101	24.5
小学校に入ってから	42	10.2
中学校に入ってから	11	2.7
無回答	12	2.9
全体	412	100.0



住み始めた時期は、「生まれた時からずっと」が最も多く 59.7%、「小学校に入る前から」が 24.5%の順に割合が高くなっている。

一方で、「中学校に入ってから」と回答された方の割合は 2.7%となっている。

地区別にみると、「生まれた時からずっと」と回答された方の割合が 70%を超えているのは、琴南地区と仲南地区の 2 地区となっている。

#### 【地区別】

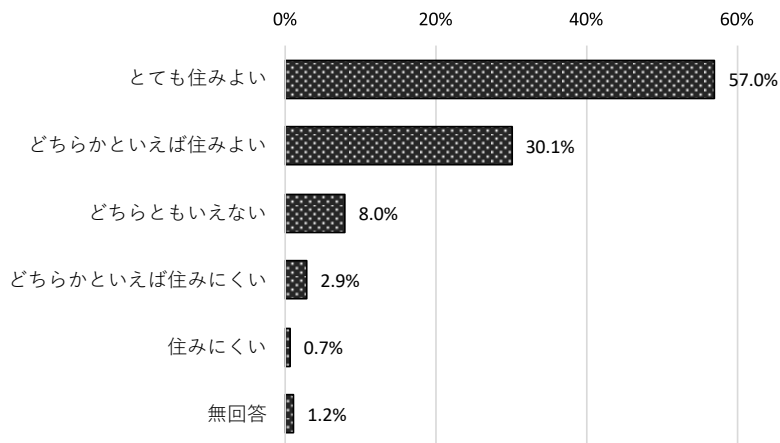
	人数 (人)	割合 (%)				
		生まれた時からずっと	小学校に入る前から	小学校に入ってから	中学校に入ってから	無回答
全体	412	59.7	24.5	10.2	2.7	2.9
琴南地区	21	76.2	14.3	4.8	4.8	0.0
長炭地区	40	65.0	30.0	2.5	2.5	0.0
吉野地区	65	58.5	27.7	12.3	1.5	0.0
神野地区	30	66.7	20.0	13.3	0.0	0.0
四条地区	84	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0
高篠地区	79	45.6	34.2	17.7	2.5	0.0
仲南地区	69	71.0	17.4	10.1	1.4	0.0
その他	23	21.7	8.7	0.0	17.4	52.2

## 2 「暮らしやすさ」について

### 1. まんのう町は住みよいまちか—調査票問5

#### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	一般調査 【今回】 (%)
とても住みよい	235	57.0	19.1
どちらかといえば住みよい	124	30.1	52.1
どちらともいえない	33	8.0	19.4
どちらかといえば住みにくい	12	2.9	5.2
住みにくい	3	0.7	1.8
無回答	5	1.2	2.4
全体	412	100.0	100.0



#### 【学年別】

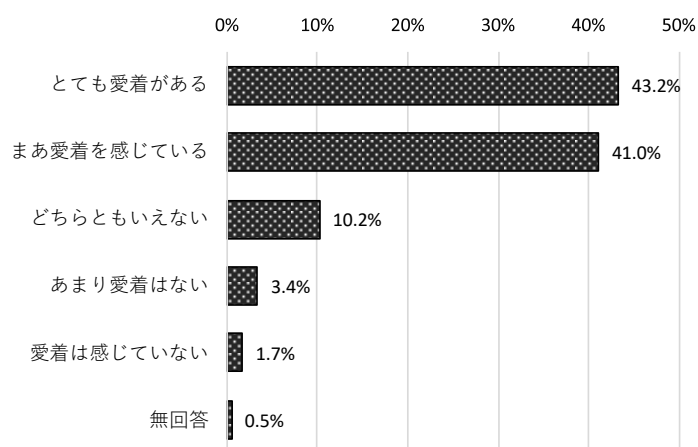
	人数(人)	割合(%)					
		とても 住みよい	どちらか といえば 住みよい	どちらとも いえない	どちらか といえば 住みにくい	住みにくい	無回答
全体	412	57.0	30.1	8.0	2.9	0.7	1.2
1年生	151	57.6	29.1	7.9	2.6	0.7	2.0
2年生	139	59.7	28.8	6.5	3.6	1.4	0.0
3年生	122	53.3	32.8	9.8	2.5	0.0	1.6

回答者のうち、まんのう町を好意的に思っている方の割合(「とても住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計)が87.1%となっている。一般調査と比較すると、15.9ポイント高くなっていることから、中学生はまんのう町を好意的に感じていることがうかがえる。学年別にみると、まんのう町を好意的に思っている方の割合(「とても住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計)は、2年生が最も高く88.5%と高くなっている。

## 2. まんのう町への愛着の有無一調査票問6

### 【全体】

	人数(人)	割合(%)	一般調査【今回】(%)
とても愛着がある	178	43.2	21.8
まあ愛着を感じている	169	41.0	54.3
どちらともいえない	42	10.2	16.1
あまり愛着はない	14	3.4	5.2
愛着は感じていない	7	1.7	1.8
無回答	2	0.5	0.8
全体	412	100.0	100.0



回答者のうち、まんのう町に愛着を感じている方の割合(「とても愛着がある」と「まあ愛着を感じている」の合計)が84.2%となっている。一般調査と比較すると、8.1ポイント高くなっていることから、中学生はまんのう町に愛着を感じていることがうかがえる。地区別にみると、まんのう町に愛着を感じている方の割合(「とても愛着がある」と「まあ愛着を感じている」の合計)は、全ての地区(その他を除く)で80%よりも高くなっている。

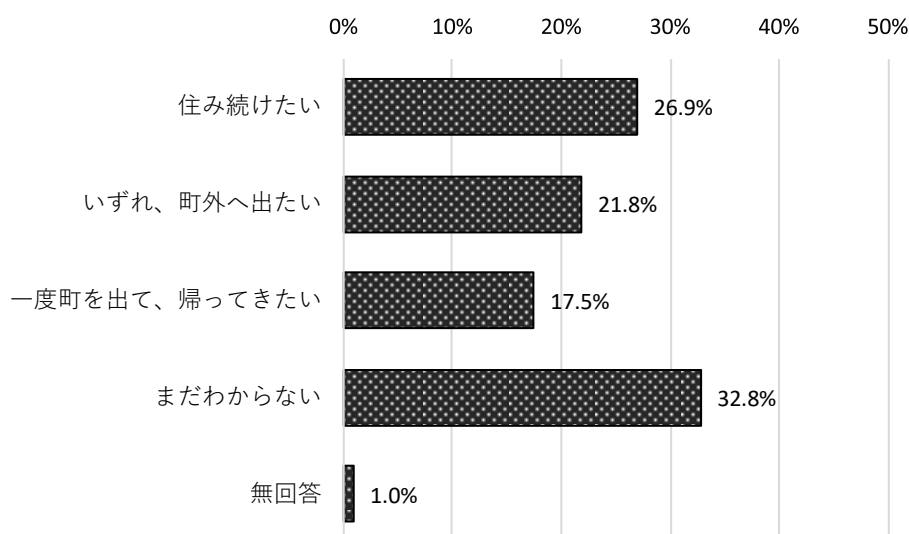
### 【地区別】

	人数(人)	割合(%)					
		とても愛着がある	まあ愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着はない	愛着は感じていない	無回答
全体	412	43.2	41.0	10.2	3.4	1.7	0.5
琴南地区	21	52.4	33.3	14.3	0.0	0.0	0.0
長炭地区	40	32.5	52.5	5.0	10.0	0.0	0.0
吉野地区	65	41.5	40.0	16.9	0.0	1.5	0.0
神野地区	30	43.3	43.3	3.3	3.3	6.7	0.0
四条地区	84	44.0	41.7	10.7	3.6	0.0	0.0
高篠地区	79	48.1	43.0	7.6	0.0	1.3	0.0
仲南地区	69	46.4	36.2	7.2	7.2	2.9	0.0
その他	23	30.4	34.8	21.7	4.3	0.0	8.7



### 3. これからもまんのう町に住み続けたいか—調査票問7

	人数(人)	割合(%)	一般調査 【今回】 (%)
住み続けたい	111	26.9	78.7
いずれ、町外へ出たい	90	21.8	4.5
一度町を出て、帰ってきたい	72	17.5	0.6
まだわからない	135	32.8	15.0
無回答	4	1.0	1.3
全体	412	100.0	100.0



回答者のうち、「まだわからない」と回答した方の割合が最も高く 32.8%となっている。次に「住み続けたい」が 26.9%となっている。

一般調査と比較すると、義務教育期間終了後の自分の進路について様々な可能性を考えているということがうかがえる。

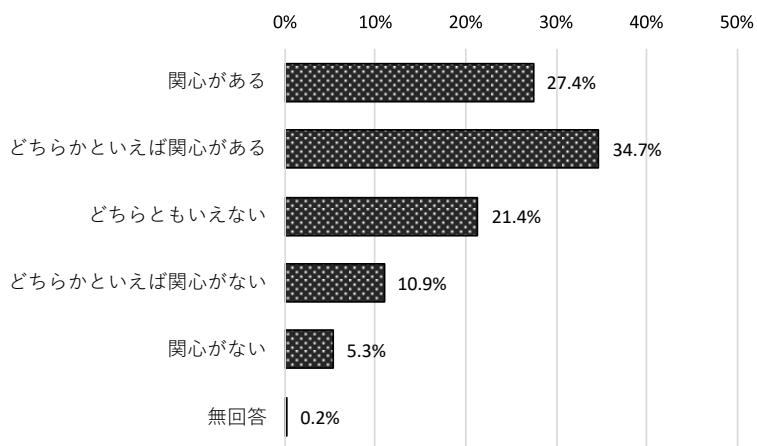
### 4. 町外の友人にまんのう町を紹介するとしたら、どのような紹介をしますか—調査票問8

自由記述形式のため、P91 に掲載している。

### 3 地域活動について

#### 1. ボランティア活動への関心度—調査票問9

	人数(人)	割合(%)
関心がある	113	27.4
どちらかといえば関心がある	143	34.7
どちらともいえない	88	21.4
どちらかといえば関心がない	45	10.9
関心がない	22	5.3
無回答	1	0.2
全体	412	100.0



回答者のうち、ボランティア活動に関心がある方の割合(「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計)が62.1%となっている。

また、今後参加してみたいという希望がある方の割合(「参加したい」「どちらかといえば参加したい」の合計)が、61.2%となっている。

このことから、ボランティアへの関心度や希望度はほぼ同程度の割合となっていることがわかる。

## 2. ボランティア活動への参加希望度—調査票問 10

### 【全体】

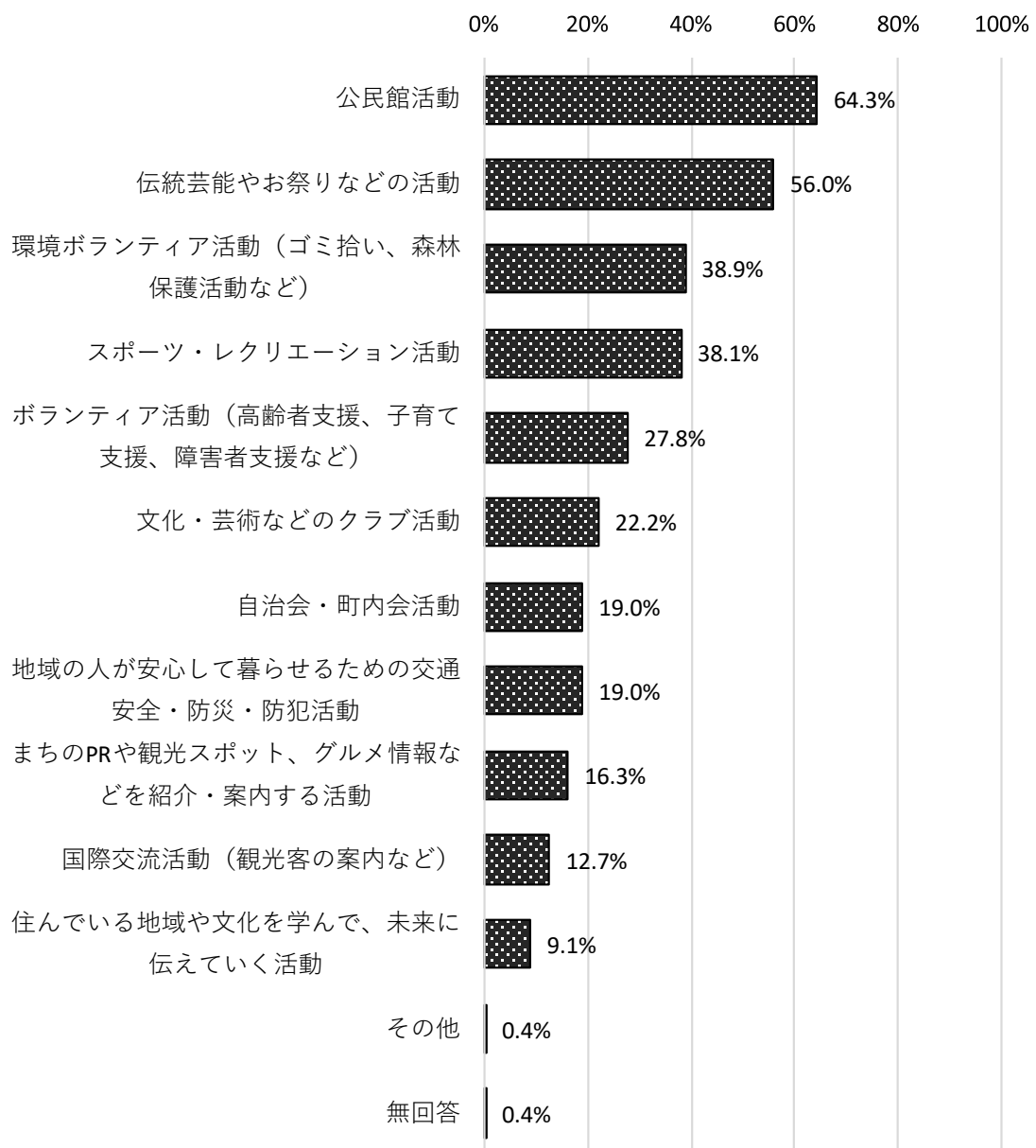
	人数(人)	割合(%)
参加したい	128	31.1
どちらかといえば参加したい	124	30.1
どちらともいえない	111	26.9
どちらかといえば関心がない	28	6.8
関心がない	19	4.6
無回答	2	0.5
全体	412	100.0

## 3. どのようなボランティア活動に参加したいか—調査票問 11

(「2. ボランティア活動に参加希望があるか」において「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
公民館活動	162	64.3
伝統芸能やお祭りなどの活動	141	56.0
環境ボランティア活動(ゴミ拾い、森林保護活動など)	98	38.9
スポーツ・レクリエーション活動	96	38.1
ボランティア活動(高齢者支援、子育て支援、障害者)	70	27.8
文化・芸術などのクラブ活動	56	22.2
自治会・町内会活動	48	19.0
地域の人安心して暮らせるための交通安全・防災・	48	19.0
まちのPR や観光スポット、グルメ情報などを紹介・案	41	16.3
国際交流活動(観光客の案内など)	32	12.7
住んでいる地域や文化を学んで、未来に伝えていく活	23	9.1
その他	1	0.4
無回答	1	0.4
回答数	817	
回答者数	252	

回答者のうち、「公民館活動」と回答された方の割合は 64.3%と最も高くなっている。  
また、「伝統芸能やお祭りなどの活動」が 56.0%となっていることから、身近な地域でボランティア活動してみたいと考える方が多いことがうかがえる。



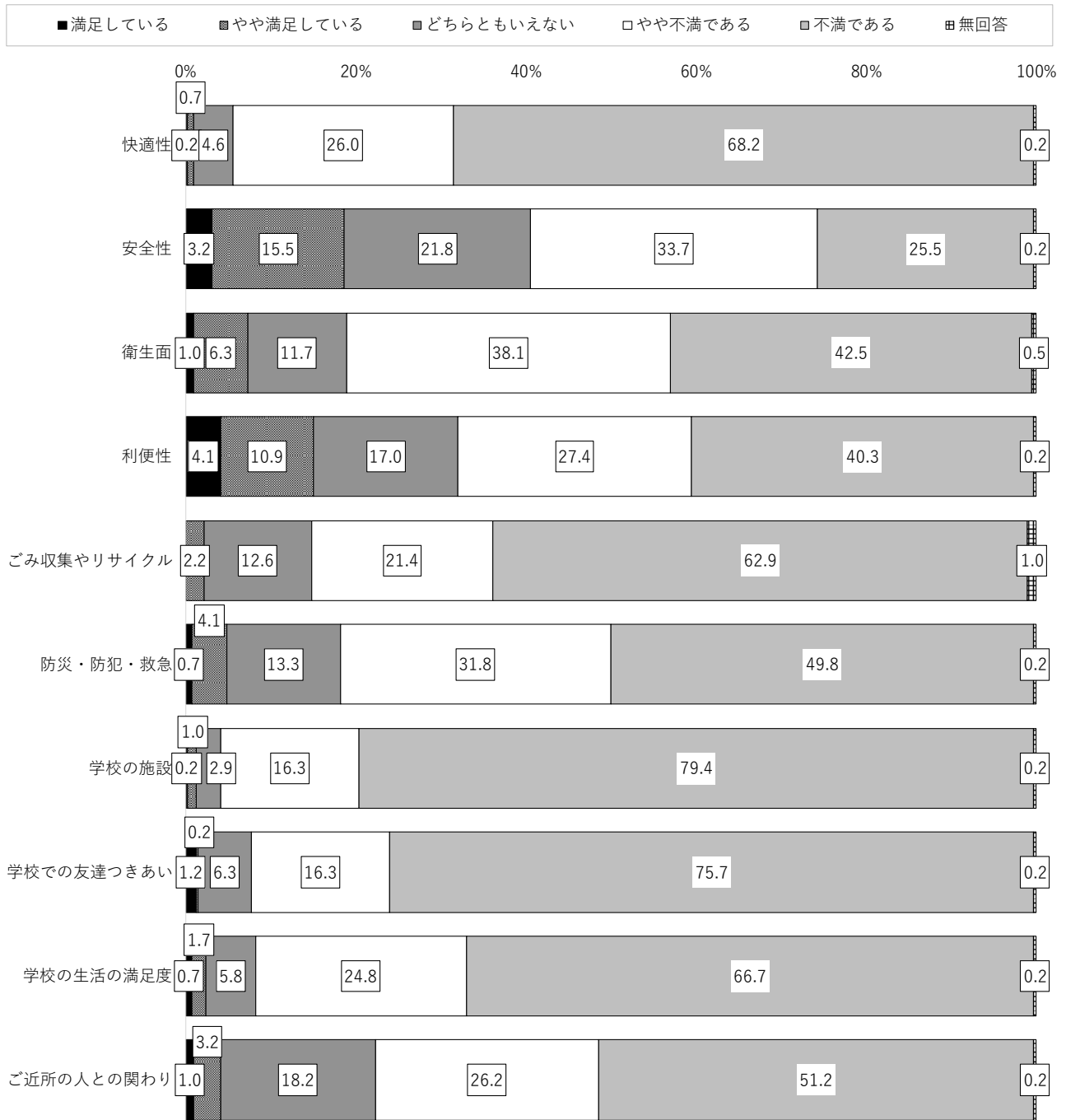
## 4 「まち」の満足度について

### 1. 毎日の生活で感じる「まち」の満足度について—調査票問 12

		割合(%)					
		満足している	やや満足している	いえない どちらとも	やや不満である	不満である	無回答
<b>A:あなたが感じる「まち」の様子について</b>							
①	快適性はどうですか？ (緑がある、静かで暮らしやすいなど)	0.2	0.7	4.6	26.0	68.2	0.2
②	安全性はどうですか？ (交通事故がない、街灯が明るい、犯罪がないなど)	3.2	15.5	21.8	33.7	25.5	0.2
③	衛生面はどうですか？ (ごみが散らかっていない、嫌な臭いがしないなど)	1.0	6.3	11.7	38.1	42.5	0.5
④	利便性はどうですか？ (道路が整備されている、買い物する場所が近いなど)	4.1	10.9	17.0	27.4	40.3	0.2
⑤	ごみ収集やリサイクルについてはどうですか？ (しっかり分別がされて、収集日にごみが出ているなど)	0.0	2.2	12.6	21.4	62.9	1.0
⑥	防災・防犯・救急についてはどうですか？ (避難場所が近い、不審者をみかけないなど)	0.7	4.1	13.3	31.8	49.8	0.2
<b>B:あなたが感じる「学校」や「地域」の様子について</b>							
①	学校の施設はどうですか？ (快適に学習できる、クラブ活動で利用しやすいなど)	0.2	1.0	2.9	16.3	79.4	0.2
②	学校での友だちとのつきあいはどうですか？ (楽しく過ごせる、悩みごとが相談できるなど)	1.2	0.2	6.3	16.3	75.7	0.2
③	全体的に考えて、学校での生活に満足していますか？	0.7	1.7	5.8	24.8	66.7	0.2
④	ご近所の人たちについてはどうですか？ (よく声をかけてくれる、気軽に悩みを相談できるなど)	1.0	3.2	18.2	26.2	51.2	0.2

回答者のうち、満足している(「満足している」と「やや満足している」の合計)と回答された方の割合は「安全性」が、18.7%と最も高くなっている。次に「利便性」が15.0%となっている。

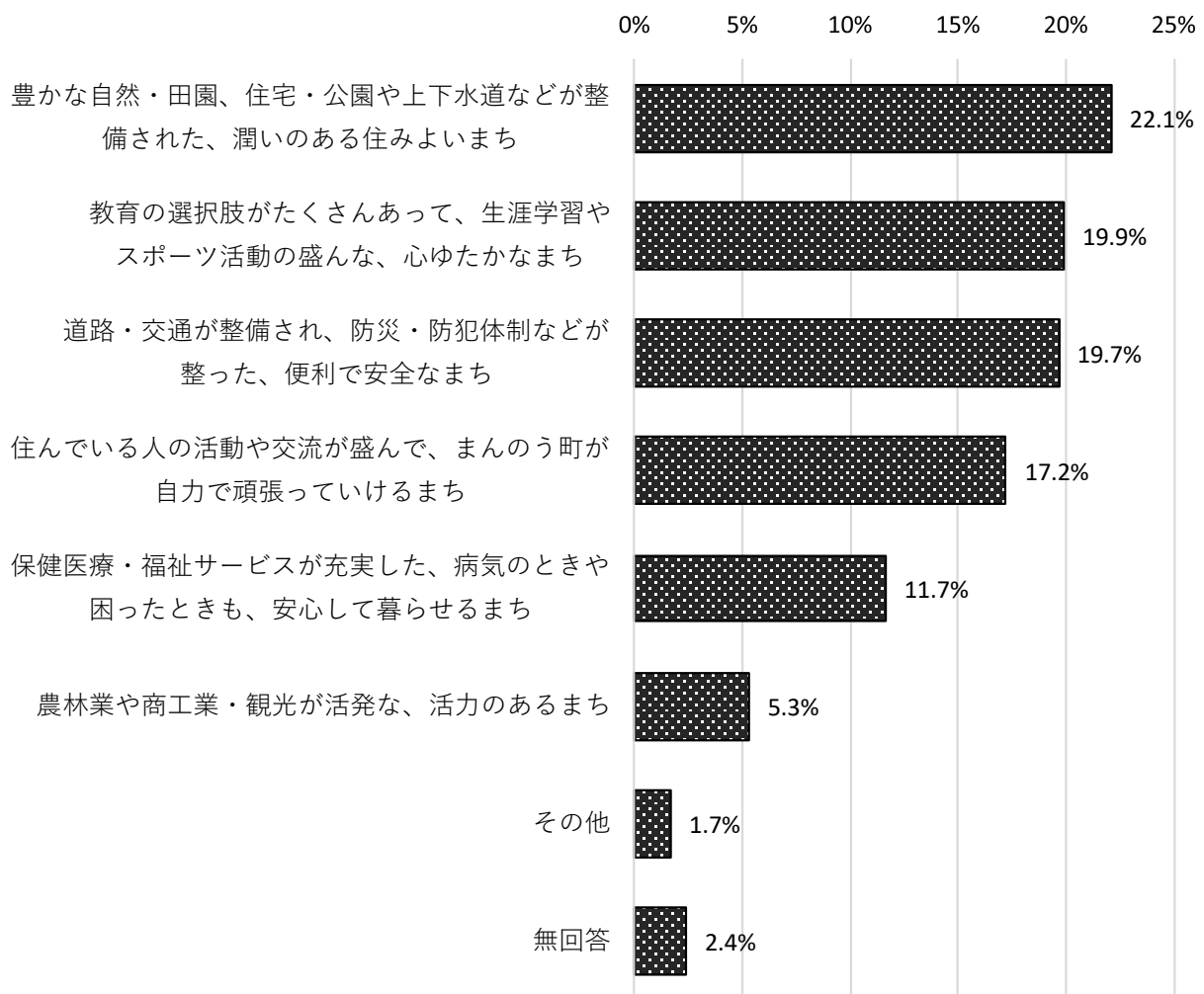
一方で、満足していない(「不満である」「やや不満である」の合計)と回答された方の割合は「学校の施設」が、95.6%と最も高くなっている。次に「快適性」が94.2%となっている。



## 5 これからの「まんのう町」と「あなたの将来」について

### 1. 将来まんのう町がどんなまちになって欲しいか—調査票問 13

	人数(人)	割合(%)
豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち	91	22.1
教育の選択肢がたくさんあって、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち	82	19.9
道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち	81	19.7
住んでいる人の活動や交流が盛んで、まんのう町が自力で頑張っていけるまち	71	17.2
保健医療・福祉サービスが充実した、病気のと看や困ったときも、安心して暮らせるまち	48	11.7
農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち	22	5.3
その他	7	1.7
無回答	10	2.4
全体	412	100.0



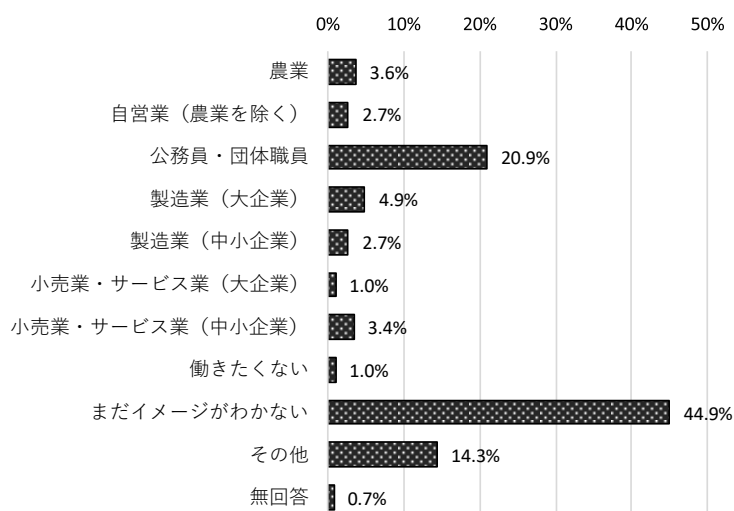
回答者のうち、「豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち」が22.1%となっている。次に「教育の選択肢がたくさんあって、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち」が、19.9%となっている。

## 2. 将来どのような仕事をしたいと考えていますか—調査票問 14

	人数(人)	割合(%)
農業	15	3.6
自営業(農業を除く)	11	2.7
公務員・団体職員	86	20.9
製造業(大企業)	20	4.9
製造業(中小企業)	11	2.7
小売業・サービス業(大企業)	4	1.0
小売業・サービス業(中小企業)	14	3.4
働きたくない	4	1.0
まだイメージがわからない	185	44.9
その他	59	14.3
無回答	3	0.7
全体	412	100.0

回答者のうち、「まだイメージがわからない」と回答された方の割合は 44.9%と最も高くなっている。次に「公務員・団体職員」が 20.9%となっている。

また、性別にみると、男性と女性で最も開きがあるのは「公務員・団体職員」で、女性のほうが 10.5 ポイント高くなっている。一方で、「製造業(大企業)」は男性のほうが 9.8 ポイント高くなっている。



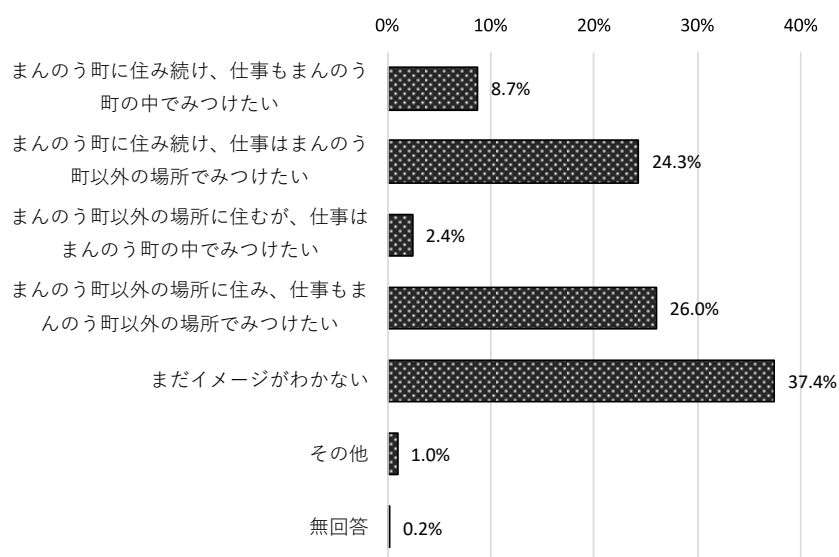
### 【性別】

	人数(人)	割合(%)										
		農業	自営業(農業を除く)	公務員・団体職員	製造業(大企業)	製造業(中小企業)	小売業・サービス業(大企業)	小売業・サービス業(中小企業)	働きたくない	まだイメージがわからない	その他	無回答
全体	412	3.6	2.7	20.9	4.9	2.7	1.0	3.4	1.0	44.9	14.3	0.7
男性	205	5.9	2.4	15.6	9.8	3.9	1.0	1.5	1.0	46.3	11.2	1.5
女性	207	1.4	2.9	26.1	0.0	1.4	1.0	5.3	1.0	43.5	17.4	0.0



### 3. 将来働きたいと思ったときの状況をどのように考えていますか—調査票問 15

	人数(人)	割合(%)
まんのう町に住み続け、仕事もまんのう町の中でみつきたい	36	8.7
まんのう町に住み続け、仕事はまんのう町以外の場所でみつきたい	100	24.3
まんのう町以外の場所に住むが、仕事はまんのう町の中でみつきたい	10	2.4
まんのう町以外の場所に住み、仕事もまんのう町以外の場所でみつきたい	107	26.0
まだイメージがわからない	154	37.4
その他	4	1.0
無回答	1	0.2
全体	412	100.0

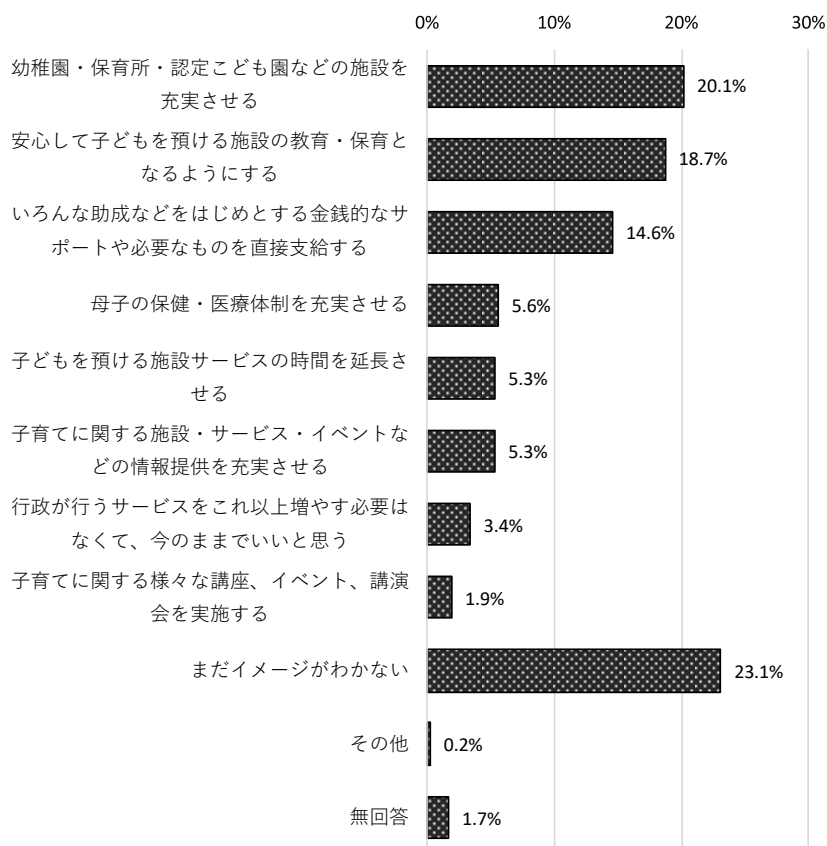


回答者のうち、「まだイメージがわからない」(37.4%)を除くと、「まんのう町以外の場所に住み、仕事もまんのう町以外の場所でみつきたい」が 26.0%となっている。

一方で、まんのう町で仕事を見つきたい(「まんのう町に住み続け、仕事もまんのう町の中でみつきたい」と「まんのう町以外の場所に住むが、仕事はまんのう町の中でみつきたい」の合計)は、11.1%となっており、まんのう町以外の場所で仕事を見つきたい(「まんのう町に住み続け、仕事はまんのう町以外の場所でみつきたい」と「まんのう町以外の場所に住み、仕事もまんのう町以外の場所でみつきたい」の合計)は、50.3%となっている。

4. 将来出産や子育てをする状況になったら、まんのう町に最も力をいれてほしいと思うこと—調査票問 16

	人数(人)	割合(%)
幼稚園・保育所・認定こども園などの施設を充実させる	83	20.1
安心して子どもを預ける施設の教育・保育となるようにする	77	18.7
いろんな助成などをはじめとする金銭的なサポートや必要なものを直接支給する	60	14.6
母子の保健・医療体制を充実させる	23	5.6
子どもを預ける施設サービスの時間を延長させる	22	5.3
子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供を充実させる	22	5.3
行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はなくて、今のままでいいと思う	14	3.4
子育てに関する様々な講座、イベント、講演会を実施する	8	1.9
まだイメージがわからない	95	23.1
その他	1	0.2
無回答	7	1.7
全体	412	100.0



回答者のうち、「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設を充実させる」が 20.1%となっている。次に「安心して子どもを預ける施設の教育・保育となるようにする」が、18.7%となっている。

一方で、「まだイメージがわからない」と回答された方の割合は、23.1%となっている。

性別にみると、男性と女性で回答の割合に開きがあるのは、「安心して子どもを預ける施設の教育・保育となるようにする」が女性のほうが 7.1 ポイント高くなっている。また「まだイメージがわからない」が男性のほうが 10.4 ポイント高くなっている。

【性別】

	人数(人)	割合(%)						
		幼稚園・保育所・認定こども園などの施設を充実させる	子どもを預ける施設サービスの時間を延長させる	安心して子どもを預ける施設の教育・保育となるようにする	子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供を充実させる	子育てに関する助成などをはじめとする金銭的なサポートや必要なものを直接支給する	母子の保健・医療体制を充実させる	子育てに関する様々な講座、イベント、講演会を実施する
全体	412	20.1	5.3	18.7	5.3	14.6	5.6	1.9
男性	205	19.5	4.9	15.1	5.4	14.1	5.9	0.0
女性	207	20.8	5.8	22.2	5.3	15.0	5.3	3.9

	人数(人)	割合(%)			
		行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はなくて、今のままでいいと思う	まだイメージがわからない	その他	無回答
全体	412	3.4	23.1	0.2	1.7
男性	205	4.4	28.3	0.5	2.0
女性	207	2.4	17.9	0.0	1.4

## 6 自由意見

1. 町外の友人にまんのう町を紹介するとしたら、どのような紹介をしますか、の主な意見(要約)－調査票問 8

			意見数
まんのう町は	自然が豊かな	まちです。	99
	自然が多く、明るい		45
	緑が多く豊かな		28
	みんなが優しく、あいさつができる		23
	満濃池、満濃公園のある		12
	明るく元気な		8
	地域の人たちが優しく、仲が良い		7
	災害が少なく、住みやすい		7
	平和な		6
	豊かな		6
	うどんがおいしい		6
	とても住みやすい		5
	空気がきれいで、美味しい		5
	静かでのどか		4
	田畑がいっぱいなのどかな		4
	思いやりのある		3
	子育てしやすい		3
	ひまわりのきれいな		2
	ボランティアがさかんな		2
	助け合いのある		2
	安心・安全な		2
	祭りなどの交流が盛んな		2
	高齢者が多い		1
	勉強に励みやすい		1
	星やホテルがきれいな		1
	何もない		1
	特産物がたくさんある		1
	学校給食がおいしい		1
公園が豊富ですごきれいな	1		
愛着がありとても住みやすい	1		
環境に良い	1		
福祉が充実した、緑豊かな	1		
その他	5		
	合計	296	

2. まんのう町を「元気」にする・「住みやすく」するためのアイデアや主な意見(要約)

※票の数値は意見数－調査票問17

まちづくり			
空き家の問題	1	あいさつ運動	2
遊ぶ場所を増やしてほしい	4		

地区			
近所付き合いを盛んにする	1	美合地区の森林の活用	1
町出身者以外の人も輪に入れるように	1	琴南地区の過疎化対策	1

自然			
自然環境の保全	1		

若者			
若い人の収入確保	3	若い人をもっとまちに呼び込む	1

産業			
ショッピングモールやコンビニ等の誘致	2 2	まんのう町の観光資源の活用	1

子育て・教育			
町内に高校を1校は開校してほしい	1		

健康・高齢者			
お年寄りのことを考えた町づくり	1	高齢者向けのイベントの開催	1

施設			
公園の新規設置と充実	9		

道路・交通			
街灯の充実	5 8	道路脇の草刈りの実施	4
交通事故を減らす	6	道路の危険個所の調査と補修	3

情報			
不審者情報の周知	1		

その他基盤			
施設の充実	1	防災に備えた建物づくり	1
公共施設の故障個所の迅速な修理	1	橋をなおしてほしい	1

美化・ごみ			
ごみ拾い、ごみゼロ運動、分別の徹底	1 2	野焼きの禁止	3

合併・その他			
町が一体となったイベントがない	14	祭りの時などに子供会も協力する	1
新しいことに挑戦する	1	笑顔	1
うどん	1	明るく元気に働き、町民自らまちづくり	1

## 4. 調査票

### 1 一般アンケート

#### ぜひ、みなさまの声を「お聞かせください」

#### 第2次まんのう町総合計画策定のための、住民アンケートのお願い

住民のみなさまには、日頃から町政に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本町では、平成18年3月20日に琴南町、満濃町、仲南町の3町が合併し「まんのう町」が誕生して約12年が経ちました。この間、平成20年3月に、町政の基本となる総合計画を策定し、10年後の将来像を「元気まんまん まんのう町ー改革と協働、輝きのまちー」と定めてまちづくりを進めてまいりました。この総合計画は、10年間の長期展望を描く基本構想と、5年ごとに分野別施策を掲げる基本計画、毎年度の事業を記す実施計画に分かれますが、2年延伸しておりますので平成31年度が最終年度となります。そのため、今年度と平成31年度に渡り「第2次まんのう町総合計画」の策定を進めてまいります。

策定にあたりましては、この計画が本町で生活を営まれているすべての方に関わることもあることから、広く住民みなさまのご意見をお聞きし、施策に反映できるよう努めてまいりたいと考えております。お忙しいところ誠に恐縮でございますが、どうかこの調査の目的をご理解いただきましてご回答くださいますよう、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。なお、調査に際して個人情報の保護は徹底いたします。また、他の目的には使用いたしません。

平成30年11月

まんのう町長 栗田 隆義

#### 調査票を送付させていただいた方

■町内在住の18歳以上の方2,000名

■無作為抽出

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、特定の方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. 設問について、ご自身にはすぐわかない内容であると思われるものがございましたら、その部分については未回答で結構です。回答できる範囲でご回答ください。
6. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、回答期限までにご投函ください。

**回答期限：11月22日（木）まで**

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

まんのう町役場 企画観光課

電話：73-0106 FAX：73-0112 E-mail:kikaku@town.manno.lg.jp

# 1 「あなたご自身」のこゝについて

問1 あなたご自身のこゝについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(〇はひとつ)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性		
(2) 年齢	1. 10・20歳代 5. 60歳代	2. 30歳代 6. 70歳代	3. 40歳代 7. 80歳以上	4. 50歳代
(3) 居住地 (地区名でお答え ください)	1. 美合地区 5. 神野地区 9. 十郷地区	2. 造田地区 6. 四条地区	3. 長炭地区 7. 高篠地区	4. 吉野地区 8. 七箇地区
(4) 居住形態	1. 戸建て(持ち家) 3. 民間の賃貸アパート 5. 社宅・寮	2. 戸建て(借家) 4. 町営住宅 6. その他( )		
(5) 居住歴	1. 町で生まれてずっと住んでいる 3. 町外(県内)の生まれである	2. いったん町を出て、帰ってきた 4. 県外の生まれである		
(6) 居住年数	1. 1年未満 ⇒ (7)へ 3. 5年以上10年未満 5. 20年以上30年未満	2. 1年以上5年未満 4. 10年以上20年未満 6. 30年以上		
(7) - 1 転入(転居)前のお住まい 【(6)で1を回答された方のみ】	1. まんのう町内 5. 坂出市 9. その他( )	2. 琴平町 6. 綾川町	3. 善通寺市 7. 高松市	4. 丸亀市 8. 県内他市町





## 2 町全体に関わる満足度について

問2 まんのう町はあなたにとって住みよいまちですか。(〇はひとつ)

- |                  |                 |              |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. とても住みよい       | 2. どちらかといえば住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば住みにくい | 5. 住みにくい        |              |

問3 あなたが、住む場所で重要な要素として感じている点は何ですか。  
(あてはまるものすべてに〇)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が豊か          | 2. 交通の便がよい           |
| 3. 仕事先や学校までの距離が近い   | 4. 安心安全な環境           |
| 5. 教育・保育サービスの充実度    | 6. 医療・福祉サービスの充実度     |
| 7. 家賃や住宅分譲地などの不動産価格 | 8. 買い物をする店舗の距離や多さ    |
| 9. 移住者への助成制度        | 10. 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 11. その他 ( )         | 12. わからない・特にない       |

問4 あなたは、まんのう町に愛着を感じていますか。(〇はひとつ)

- |             |               |              |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. とても愛着がある | 2. まあ愛着を感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり愛着はない | 5. 愛着は感じていない  |              |

問5 あなたは、これからもまんのう町に住み続けたいですか。(〇はひとつ)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 住み続けたい        | 2. いずれ、町外へ出たい |
| 3. 一度町を出て、帰ってきたい | 4. まだわからない    |

問6 あなたは、将来的にまんのう町外へ引っ越しご予定はありますか。(〇はひとつ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 近々、引っ越し予定である ⇒問7へ      |
| 2. 予定はないが、いずれ引っ越しと思う ⇒問7へ |
| 3. 引っ越し予定はない              |
| 4. わからない                  |

【問6で「1. 近々、引っ越し予定である」「2. 予定はないが、いずれ引っ越しと思う」を選択した方のみ】

問7 引っ越し理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 進学・転勤・就業のため | 2. 結婚のため                |
| 3. 妊娠・出産のため    | 4. 子どもの学校のため            |
| 5. 親の介護のため     | 6. 町の行政サービスに不満足なため      |
| 7. 生活環境がよくないため | 8. 公共交通がよくないため (電車・バス等) |
| 9. 理由はない       | 10. その他 ( )             |

問8 あなたの兄弟姉妹・子ども（18歳以上の方）で、現在、町外に住んでいて、町に帰ってきたいと考えている方はいますか。（○はひとつ）

1. いない	2. まだわからない ⇒問9へ
3. いる ⇒問9へ	

**【問8で「2. まだわからない」「3. いる」と回答された方のみ】**

問9 家族が町に帰ってくるために何が必要とお考えですか。（3つまで○）

1. 働く場所の確保	2. 公共交通機関や道路の充実
3. 交流や結婚機会の充実	4. 住宅や宅地、住環境の整備
5. 子育て支援の充実	6. 地域や学校の教育の充実
7. 娯楽や余暇・文化施設の充実	8. 医療の充実
9. 高齢者福祉の充実	10. まちの魅力・知名度の向上
11. その他（	）
12. 特にない	

問10・11 次の項目について、どの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思えますか。各項目について、それぞれ1～4の番号に1つだけ○をつけてください。

[記入例]

1	2	3	4	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---

項目		問10 満足度				問11 重要度			
		満足	普通	不満	わからない	重要	普通	重要でない	わからない
利便性	(1) 鉄道、バスなどが利用しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(2) 道路が便利である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(3) 食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(4) 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(5) 雇用の機会が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(6) 情報通信網が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
快適性	(7) 自然が豊かで潤いがある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(8) まちの景観や家並みなどが美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(9) 住宅や宅地が取得しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(10) 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(11) 半日～1日過ごせる遊び場や居場所がある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(12) 上水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	(13) 下水道などの排水対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	(14) ごみの収集や資源回収体制が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(15) 騒音・悪臭・振動等の公害防止体制が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4

項目		問 10 満足度				問 11 重要度			
		満足	普通	不満	わからない	重要	普通	重要でない	わからない
安全性	(16) 交通安全対策が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(17) 消防団など消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(18) 水害、土砂災害、地震などの対策が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(19) 街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	3	4	1	2	3	4
保健・福祉	(20) 住民検診や健康指導が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(21) 診療所や病院など医療機関が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(22) 保育所など子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(23) 高齢者や障害者の在宅サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(24) 高齢者や障害者のための施設が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(25) 高齢者の生きがい対策が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
教育・文化	(26) わかる授業など、教育内容が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(27) 小中学校の施設・設備や教育内容が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(28) 子どもから高齢者まで生涯学習活動が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(29) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(30) 文化施設や各種文化鑑賞機会などが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(31) 娯楽(喫茶、飲食含む)やレジャー環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(32) 歴史や伝統が大事にされている	1	2	3	4	1	2	3	4
地域生活	(33) ご近所との付き合いが活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(34) 自治会活動などが活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(35) 各種公共施設が利用しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(36) まちづくりへの参加機会が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
	(37) 広報やホームページ、情報公開が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(38) 祭りやイベントが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(39) まちのイメージがいい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(40) ボランティア活動が活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(41) 国内の他地域との交流が盛んである	1	2	3	4	1	2	3	4

問 12 まんのう町は、平成 18 年 3 月に合併してから、約 12 年たちました。将来に向けて、新たな合併をするかどうか、ということについてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

1. 今後も、近隣の市町と第 2 段階の合併を推進していくべきである
2. 合併はいずれ必要だと考えるが、まんのう町としてまずは自立すべきである
3. どちらともわからない
4. どちらかといえば合併せずに、まんのう町としてやっていくべきである
5. 新たな合併には反対である



問 16 まんのう町が誇れるものとして、あなたが町外に住んでいる知り合いに紹介したいものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. かりんの丘公園	2. 三霞洞溪谷	3. 大川山、竜王山
4. 木戸の馬蹄石	5. 大滝大川県立自然公園	6. 大川山キャンプ場
7. 健康ふれあいの里	8. ことなみ土器どきひろば	
9. 国営讃岐まんのう公園	10. ホタル見公園	
11. 香川県満濃池森林公園	12. 道の駅空の夢もみの木パーク、エピアみかど	
13. 塩入温泉	14. 二宮飛行神社、二宮忠八飛行館	
15. ひまわり畑	16. まんのう天文台	17. かりん会館
18. 満濃池	19. 中寺廃寺跡	
20. その他 ( )		

問 17 まんのう町についてよく知ることができるための情報として、あなたが町のHPで調べてみたことがあるのはどの情報ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. まんのうマップアニメーション	2. まんのうナビゲーション
3. まんのうシアター	4. 空き家情報
5. まんのう町の文化財 (中寺廃寺跡 グーグルストリートビュー)	
6. まんのう町のひまわりちゃん	7. まんのうツーリズム協会
8. その他 ( )	
9. この中にはない	

## 5 健康について

問 18 あなたは、普段、以下のことがあてはまりますか。(それぞれ○はひとつ)

項 目		あてはまる	あてはまらない
1	朝食を食べないことがある	1	2
2	夕食が遅くなったりする	1	2
3	野菜をあまり食べない	1	2
4	糖分や油の多い食べ物をよくとる	1	2
5	間食が多い(おやつや夜食など)	1	2
6	運動不足である	1	2
7	基礎的な体力がない	1	2
8	マラソンや山登りなどの体力がない	1	2
9	太りすぎである	1	2
10	寝不足である	1	2
11	疲れがたまっている	1	2
12	何もやる気がしない	1	2
13	ストレスがたまっている	1	2
14	ものごとに集中できない	1	2
15	イライラしてひどく怒ってしまうことがある	1	2
16	もの忘れがひどい	1	2
17	転びやすくなった	1	2
18	健診で指導を受けた	1	2
19	高血圧・高脂血症・糖尿病である	1	2
20	禁煙ができない	1	2
21	医者にかかっている	1	2

## 6 情報通信について

問 19 あなたは町に関する情報を主に何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 町広報・議会だより	2. 町のホームページ	3. 新聞
4. 役場で直接	5. 議員から	6. 職員から
7. 自治会長から	8. 友人・知人から	9. その他( )

問 20・21 あなたは、普段、パソコンやスマホ(携帯電話)で、電子メールのやりとりやホームページの閲覧をしていますか。(それぞれ○はひとつ)

問 20 パソコンで

問 21 スマホ(携帯電話)で

- |                   |               |   |
|-------------------|---------------|---|
| ① ほぼ、毎日のように利用している | ----- 1 ----- | 1 |
| ② 週1回以上利用している     | ----- 2 ----- | 2 |
| ③ 時々利用している        | ----- 3 ----- | 3 |
| ④ 利用したことがない       | ----- 4 ----- | 4 |

問 22 あなたは町からどのような内容の情報を入手したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 町内のイベント情報	2. 近隣市町のイベント情報
3. まちづくりの方針・計画	4. 町の事業やまちづくりの進行状況
5. 町の財政状況	6. 各種行政サービスの情報
7. クラブ・サークル活動の情報	8. ボランティア活動の情報
9. 議会の内容	10. その他 ( )

## 7 地域活動について

問 23・24 自治会や何らかのグループの組織に加わって、まちづくり活動に参加していますか。また、今後、参加したい(あるいは、続けたい)でしょうか。現在参加している活動、今後参加したい活動についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

項 目	問23	問24
	現在参加していますか	今後参加したい・続けたいですか
1. 自治会・町内会活動	1	1
2. 伝統芸能や祭りなどの保存活動	2	2
3. 保育所・幼稚園・学校（PTA活動など）の行事	3	3
4. 子ども会やスポーツ少年団、青少年の自主活動などの支援	4	4
5. 青年グループ・団体活動	5	5
6. 女性の会など女性グループ・団体活動	6	6
7. 老人クラブ活動	7	7
8. JA、森林組合、商工会などの経済団体活動	8	8
9. スポーツ・レクリエーション活動	9	9
10. 趣味や教養、芸術などのクラブ・サークル活動	10	10
11. 歴史・文化の学習、調査、保存活動	11	11
12. 生涯学習や読書、公民館活動などのボランティア活動	12	12
13. 子どもの遊びや体験活動、教育などのボランティア活動	13	13
14. パソコンの研修などのIT（情報通信）ボランティア活動	14	14
15. 食育など健康づくり、保健・医療、衛生などの保健活動	15	15
16. 子育て支援のボランティア活動	16	16
17. 高齢者や障害者へのボランティア活動	17	17
18. 自然の保護や自然体験、花植えなどのボランティア活動	18	18
19. 里山の保全や植林、林業体験などの森林ボランティア活動	19	19
20. 公園や道路、河川の維持・管理などのボランティア活動	20	20
21. うどん打ち体験や観光ガイドなど観光ボランティア活動	21	21
22. ごみのリサイクルや地球環境保全などの環境ボランティア活動	22	22
23. 共同購入、食べ物の安全性などの消費者活動	23	23
24. 自主防災や防火、防犯、交通安全などのボランティア活動	24	24
25. 特産品・名物料理などの「まんのうブランド」の開発・販売	25	25



項 目	問23	問24
	現在参加していますか	今後参加したい・続けたいですか
26. まちづくり活動（研究会、情報発信、人材育成など）	26	26
27. まちづくりイベントの主催・協力・参加	27	27
28. 行政の各種委員会等への参加	28	28
29. 他地域の人々との交流活動や国際交流	29	29

## 8 少子化対策について

問 25 あなたは、少子化が進むまんのう町において、若者の定住や結婚・子育てのためにどのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

1. 若者の起業支援、既存企業の経営革新の支援、企業誘致などによる若者の雇用の拡大
2. Uターン（帰郷）や移住希望者に対する仕事や住宅などの情報提供
3. 個性的なまちづくりと情報発信、郷土学習による町への誇り意識づくり
4. 若者の交流・交際・結婚機会の拡大に向けたクラブ活動やイベントなどの支援
5. 若者定住に向けたマンションや住宅地などの整備促進
6. 若い世代の自治会活動などの負担の軽減や古いしきたりなどの改善
7. 女性の雇用機会の充実と男女共同参画の充実
8. 保育所や子育てサークル、子育てしやすい職場環境など子育て支援の充実
9. 出産や子どもの医療費の助成制度などの充実
10. 保育料などの減免措置と教育ローンなどの資金援助
11. 学校教育や地域教育、高等教育などの充実
12. その他（ ）

問 26 （結婚している、していないに関わらず）あなたにとって、今いる子どもの人数も含めて、理想的な子どもの数は何人と考えていますか。（○はひとつ）

- |              |                |              |
|--------------|----------------|--------------|
| 1. 1人 ⇒問 27へ | 2. 2人 ⇒問 27へ   | 3. 3人 ⇒問 27へ |
| 4. 4人 ⇒問 27へ | 5. 5人以上 ⇒問 27へ | 6. 子どもはいらない  |

【問26で「1. 1人」～「5. 5人以上」と回答した方のみ】

問27 理想的な子どもの数を実現するうえで、妨げとなることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる    | 2. 家が狭い               |
| 3. 自分の仕事に差し支える         | 4. 子育てを手助けしてくれる人がいない  |
| 5. 子どもを預ける施設が整っていない    | 6. 出産・育児の心理的・肉体的な負担   |
| 7. 年齢的な問題              | 8. 欲しいけれど、できない        |
| 9. 配偶者の家業・育児への協力が見込めない | 10. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足 |
| 11. 妨げになることは、特にない      | 12. その他 ( )           |

問28 今後、出産・育児に関するサービスとして、まんのう町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(○はひとつ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充        |
| 2. 子どもを預ける施設サービスの時間延長            |
| 3. 子どもを預ける施設の教育・保育の質             |
| 4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実 |
| 5. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付      |
| 6. 母子の保健・医療体制の充実                 |
| 7. 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施      |
| 8. その他 ( )                       |
| 9. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない        |

## 9 教育について

問29 子どもが親の保護のもとから次第に離れ、大人になっていくためのいろんな体験を始めるのはいつごろからがよいと考えますか。(○はひとつ)

- |                |                |               |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 小学校5年生ぐらいから | 2. 中学校1年生ぐらいから | 3. 高校1年生ぐらいから |
| 4. 高校卒業後ぐらいから  | 5. わからない       |               |

問30 子どもの教育について重要と考えることはどのようなことですか。(5つまで○)

1. 家事や家業の手伝い、挨拶、早寝早起き朝ご飯などの家庭教育の充実
2. 子どもの自信と自尊心、自立心を育む、ほめて伸ばし、力をつける教育の推進
3. 屋外での集団遊びの充実によるコミュニケーション能力や体力の向上
4. 保育所・幼稚園での幼児教育の充実
5. 興味をかきたてる授業や読書活動など、学ぶ意欲や考える力を高める授業の実施
6. わかる授業や家庭学習習慣の確立による基礎学力の習得
7. 町の自然や歴史、仕事、まちづくり、ボランティア活動などの体験教育の充実
8. 生活習慣病予防に向けた食育やスポーツ習慣確立に向けた教育の充実
9. 町に誇りを持ち、住み続けたいと思うようになる郷土学習の推進
10. いじめのない学校づくりや障害を持つ子どもたちへの支援、教育環境の整備
11. 外国語学習や国際交流など国際的な視野を養う教育の推進
12. 小学校の適正配置の検討(通学区の見直し、統廃合など)
13. 児童生徒の登下校などの安全確保
14. 小・中学校施設の整備や、教育設備の充実
15. 教育費の支援(助成や貸付制度など)
16. その他( )

問31 あなたが、町の社会教育や社会体育に望むことは何ですか。(3つまで○)

1. 若者の居場所づくりや交流・イベント
2. 職業知識や能力を高める学習や地域産業振興のための学習・交流
3. パソコン操作やホームページづくりなどのスクール
4. 趣味やスポーツのクラブ・サークル活動
5. 郷土芸能や歴史・文化を学ぶためのクラブ・サークル活動
6. 文化講演会や各種コンサートなどの充実
7. 競技スポーツ大会などの支援
8. 健康づくりの教室やウォーキングなどのクラブ・サークル活動
9. まちづくりの知識や技術を学ぶためのクラブ・サークル活動
10. 図書館と学校・公民館図書室の有効活用
11. クラブ・サークル活動のための施設の充実
12. スポーツ施設(グラウンドや体育館など)の整備充実
13. クラブ・サークル活動を推進する住民が中心となったNPO組織づくり
14. その他( )

## 10 町政について

問 32 あなたは、子どもや若者、女性、高齢者などの意見が町の政策に反映されていると思いますか。(それぞれ〇はひとつ)

質 問	十分 反映されて いる	ある程度 反映されて いる	あまり 反映されて いない	全く 反映されて いない	わからない
1. 子どもの意見	1	2	3	4	5
2. 若者の意見	1	2	3	4	5
3. 中年・熟年の意見	1	2	3	4	5
4. 高齢者の意見	1	2	3	4	5
5. 女性の意見	1	2	3	4	5

問 33 あなたは、普段町政に対してどのように感じていますか。(それぞれ〇はひとつ)

質 問	そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	そう 思わない	わから ない
1. 役場が利用しやすい(時間・交通)	1	2	3	4	5
2. 広報活動が十分に行われている	1	2	3	4	5
3. 町民と連携して事業が進められている	1	2	3	4	5
4. 仕事が計画的に行なわれている	1	2	3	4	5
5. 行政がリーダーシップを発揮している	1	2	3	4	5
6. 職員の対応が親切である	1	2	3	4	5
7. 職員が明るく、元気である	1	2	3	4	5
8. 職員の対応が迅速である	1	2	3	4	5
9. 効率的に事業が行われ、効果も高い	1	2	3	4	5
10. 職員の節税意識が高い	1	2	3	4	5
11. 公共施設が有効活用されている	1	2	3	4	5

問 34 町の財政状況について、どのようにお考えでしょうか。(〇はひとつ)

1. よい	2. まあまあよい	3. 普通
4. あまりよくない	5. 悪い	6. わからない

問 35 行政改革・財政改革のために、以下のどの項目が重要だとお考えでしょうか(3つまで〇)

1. 効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす
2. 戦略的に重要な事業に人・もの・金を集中して取組み、行政効果をあげる
3. 地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす
4. 若者の定住を促進し、自主財源を増やす
5. 国・県などの補助事業を有効に活用する
6. 業務委託など、民間活用を進める
7. わずらわしい手続きや細かな規制の廃止など、規制緩和を進める
8. 情報化を進め、ムダを省き、事務などの合理化・効率化を進める
9. 町の実情にあった、個性的な事業・行政運営を行う
10. ボランティア活動など、住民参加のまちづくりを進め、支出を減らす
11. 近隣市町と連携を強化して、事業を行う
12. その他 ( )

## 11 各施策の満足度・重要度について

問 36・37 まんのう町が総合計画の体系に基づいて取り組んでいる各分野について、どの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。各項目について、それぞれ1～4の番号に1つだけ○をつけてください。

[記入例]

1	2	3	4	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---

【まちの将来像】 元気まんまん まんのう町 改革と協働、輝きのまち	問 36 満足度				問 37 重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない
基本目標1 自然と人々が輝くまち								
(1) 自然が輝くまちづくり（生活・自然環境） 【生活環境や自然環境の保全など】	1	2	3	4	1	2	3	4
(2) 心豊かな人材を育てるまちづくり（教育・学習） 【学校教育の充実、生涯学習、生涯スポーツの支援など】	1	2	3	4	1	2	3	4
(3) すべての人が輝くまちづくり（交流・文化） 【人権の尊重、国際交流の推進、芸術・文化の振興など】	1	2	3	4	1	2	3	4

【まちの将来像】 元気まんまん まんのう町 改革と協働、輝きのまち	問 36 満足度				問 37 重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない
基本目標2 安心と安全・快適なまち								
(4) 誰もが安心して暮せるまちづくり（健康・福祉） 【健康づくり、地域福祉の推進、次世代育成の支援など】	1	2	3	4	1	2	3	4
(5) 誰もが安全・快適に住めるまちづくり（生活基盤） 【交通網の整備、住環境の整備、情報通信基盤の整備など】	1	2	3	4	1	2	3	4

【まちの将来像】 元気まんまん まんのう町 改革と協働、輝きのまち	問 36 満足度				問 37 重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない
基本目標3 活力創造と改革のまち								
(6) 地域経済の活力を高めるまちづくり（産業・雇用） 【農林業、商工業の振興と雇用創出、観光の振興など】	1	2	3	4	1	2	3	4
(7) 健全で住民がつくるまちづくり（住民自治・協働） 【行財政の健全化、住民自治の確立と支援、協働の推進など】	1	2	3	4	1	2	3	4



# 中学生のみなさんの声を「お聞かせください」

## これからの「まちづくり」に、ぜひ参加をしてください

みなさんは、勉強にクラブ活動、友だちとの交流など充実した毎日を過ごされていることと思います。

さて、まんのう町で生活しているすべての人にとって、住みやすい「まち」をつくるために、本町で「総合計画」を策定します。そこで、中学生のみなさんがまんのう町のことをどのように思っているのか、また、これからどのようなまちになったらいいと考えているかを聞かせていただき、計画づくりの貴重な意見として活かしていきたいと考えています。

なお、調査に際して個人情報の保護は徹底いたします。また、他の目的には使用しませんので、ご協力をお願いします。

平成 30 年 11 月

まんのう町長 栗田 隆義

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、ご本人がお答えください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文の指示に従ってご回答ください。
3. 回答した内容は、個人的な内容や考えになりますので、友達同士でも無理にたずねることはやめましょう。
4. ご記入が済みましたら、先生の指示に従って提出してください。

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

まんのう町役場 企画観光課

電話：73-0106 F A X：73-0112

E-mail:kikaku@town.manno.lg.jp



# 1 「あなたご自身」のことにについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇はひとつ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 何年生ですか。(〇はひとつ)

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 1年生 | 3. 3年生 |
| 2. 2年生 |        |

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。(〇はひとつ)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 琴南地区 | 5. 四条地区    |
| 2. 長炭地区 | 6. 高篠地区    |
| 3. 吉野地区 | 7. 仲南地区    |
| 4. 神野地区 | 8. その他 ( ) |

問4 あなたはまんのう町にいつ頃から住んでいますか。(〇はひとつ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 生まれた時からずっと | 3. 小学校に入ってから |
| 2. 小学校に入る前から  | 4. 中学校に入ってから |



## 2 「暮らしやすさ」について

問5 まんのう町はあなたにとって住みよいまちですか。(〇はひとつ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. とても住みよい      | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない    |                  |

問6 あなたは、まんのう町に愛着を感じていますか。(〇はひとつ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. とても愛着がある   | 4. あまり愛着はない  |
| 2. まあ愛着を感じている | 5. 愛着は感じていない |
| 3. どちらともいえない  |              |

問7 あなたは、これからもまんのう町に住み続けたいですか。(〇はひとつ)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 住み続けたい     | 3. 一度町を出て、帰ってきたい |
| 2. いずれ、町外へ出たい | 4. まだわからない       |

問8 町外の友人にまんのう町を紹介するとしたら、どのような紹介をしますか。

まんのう町は \_\_\_\_\_ まちです。



### 3 地域活動について

問9 あなたは、自分が住んでいる地域の活動（ボランティアなど）に関心がありますか。  
（○はひとつ）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある         | 4. どちらかといえば関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 5. 関心がない         |
| 3. どちらともいえない     |                  |

問10 今後、機会があれば、自分が住んでいる地域の活動（ボランティアなど）に参加  
し  
たいと思いますか。（○はひとつ）

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 参加したい⇒問11へ         | 4. どちらかといえば関心がない |
| 2. どちらかといえば参加したい⇒問11へ | 5. 関心がない         |
| 3. どちらともいえない          |                  |

【問10で「1. 参加したい」「2. どちらかといえば参加したい」と回答された方のみ】

問11 どのような活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 自治会・町内会活動                      |
| 2. 伝統芸能やお祭りなどの活動                  |
| 3. スポーツ・レクリエーション活動                |
| 4. 文化・芸術などのクラブ活動                  |
| 5. 公民館活動                          |
| 6. ボランティア活動（高齢者支援、子育て支援、障害者支援など）  |
| 7. 環境ボランティア活動（ゴミ拾い、森林保護活動など）      |
| 8. 住んでいる地域や文化を学んで、未来に伝えていく活動      |
| 9. まちのPRや観光スポット、グルメ情報などを紹介・案内する活動 |
| 10. 国際交流活動（観光客の案内など）              |
| 11. 地域の人が安心して暮らせるための交通安全・防災・防犯活動  |
| 12. その他（ )                        |



## 4 「まち」の満足度について

問 12 毎日の生活の中で、以下の各項目についてどのくらい「満足」していますか。  
(それぞれ〇はひとつ)

A：あなたが感じる「まち」の様子について

設問項目		満足度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
①	快適性はどうですか？ (緑がある、静かで暮らしやすいなど)	5	4	3	2	1
②	安全性はどうですか？ (交通事故がない、街灯が明るい、犯罪がないなど)	5	4	3	2	1
③	衛生面はどうですか？ (ごみが散らかっていない、嫌な臭いがしないなど)	5	4	3	2	1
④	利便性はどうですか？ (道路が整備されている、買い物する場所が近いなど)	5	4	3	2	1
⑤	ごみ収集やリサイクルについてはどうですか？ (しっかり分別がされて、収集日にごみが出ているなど)	5	4	3	2	1
⑥	防災・防犯・救急についてはどうですか？ (避難場所が近い、不審者をみかけないなど)	5	4	3	2	1

B：あなたが感じる「学校」や「地域」の様子について

設問項目		満足度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
①	学校の施設はどうですか？ (快適に学習できる、クラブ活動で利用しやすいなど)	5	4	3	2	1
②	学校での友だちとのつきあいはどうですか？ (楽しく過ごせる、悩みごとが相談できるなど)	5	4	3	2	1
③	全体的に考えて、学校での生活に満足していますか？	5	4	3	2	1
④	ご近所の人たちについてはどうですか？ (よく声をかけてくれる、気軽に悩みを相談できるなど)	5	4	3	2	1



## 5 これからの「まんのう町」と「あなたの将来」について

問 13 あなたは、将来のまんのう町がどんなまちになって欲しいですか。(〇はひとつ)

1. 住んでいる人の活動や交流が盛んで、まんのう町が自力で頑張っていけるまち
2. 教育の選択肢がたくさんあって、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかなまち
3. 農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち
4. 保健医療・福祉サービスが充実した、病気のと看や困ったときも、安心して暮らせるまち
5. 豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち
6. 道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち
7. その他( )

問 14 あなたは、将来どのような仕事をしたいと考えていますか。(〇はひとつ)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 農業         | 6. 小売業・サービス業(大企業)  |
| 2. 自営業(農業を除く) | 7. 小売業・サービス業(中小企業) |
| 3. 公務員・団体職員   | 8. 働きたくない          |
| 4. 製造業(大企業)   | 9. まだイメージがわからない    |
| 5. 製造業(中小企業)  | 10. その他( )         |

問 15 あなたは、将来働きたいと思ったときの状況を、どのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. まんのう町に住み続け、仕事もまんのう町の中でみつきたい
2. まんのう町に住み続け、仕事はまんのう町以外の場所で見つきたい
3. まんのう町以外の場所に住むが、仕事はまんのう町の中でみつきたい
4. まんのう町以外の場所に住み、仕事もまんのう町以外の場所で見つきたい
5. まだイメージがわからない
6. その他( )

問 16 あなたは、将来出産や子育てをする状況になったとしたら、まんのう町に最も力をいれてほしいと思うのは、次のうちどれですか。(〇はひとつ)

1. 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設を充実させる
2. 子どもを預ける施設サービスの時間を延長させる
3. 安心して子どもを預ける施設の教育・保育となるようにする
4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供を充実させる
5. いろんな助成などをはじめとする金銭的なサポートや必要なものを直接支給する
6. 母子の保健・医療体制を充実させる
7. 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会を実施する
8. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はなくて、今のままでいいと思う
9. まだイメージがわからない
10. その他 ( )

問 17 まんのう町を「元気」にする・「住みやすく」するためにアイデアやご意見があれば、ぜひ教えてください。


**ご協力ありがとうございました。**